

KWANSEI GAKUIN

履修心得

STUDY INFORMATION

2021

関西学院大学

"Mastery for Service"

School of Law and Politics

法学部

2021年度 法学部 履修登録スケジュール

【春学期】

	手続き
4月 1日(木) 9:00 ～ 3日(土) 16:50	申込科目 受付 ☞ 詳細なスケジュールは P.10～確認すること
4月 8日(木)	授業開始
4月 8日(木) 9:00 ～ 12日(月) 16:50	Web での本登録
4月 16日(金) 9:00 ～ 17日(土) 16:50	Web での履修修正
4月 23日(金) 9:00～	教学 Web「時間割照会」で履修内容(科目)確認
5月 25日(火) 9:00 ～ 31日(月) 16:50	履修中止申請(春学期科目・通年科目) 各自 Web での履修中止申請 語学のクラス指定科目のみ事務室で受付

【秋学期】

	手続き
9月 9日(木) 9:00 ～ 10日(金) 16:00	申込科目 受付 ☞ 詳細なスケジュールは P. 12～確認すること
9月 21日(火)	授業開始
9月 21日(火) 9:00 ～ 23日(木) 16:50	Web での本登録
9月 27日(月) 9:00 ～ 28日(火) 16:50	Web での履修修正
10月 2日(土) 9:00～	教学 Web「時間割照会」で履修内容(科目)確認
11月 15日(月) 9:00 ～ 19日(金) 16:50	履修中止申請(秋学期科目) 各自 Web での履修中止申請 語学のクラス指定科目のみ事務室で受付

Web 履修登録・修正時は、登録画面遷移後10分以上操作をしなければタイムアウトになります。
また、アクセスが集中した場合にはアクセス制限がかかることがあります。
これらを認識し、余裕をもって取り組んでください。

目 次

はじめに

履修・学習に関する Web サイト	1
海外渡航する場合には大学に届け出が必要です	4
「ダブルチャレンジ制度」登録システムについて	6
2021年度 申込科目スケジュール	10

概 要

1. 関西学院大学の理念・目的	15
2. Kwansei コンピテンシー	15
3. 2021年度 授業スケジュール	16
4. 授業科目の履修にあたって	18
5. 成績評価・試験規程（抜粋）	29
6. 履修・学習要覧 Web サイトの紹介	31
7. 一般注意事項	32
8. 早期卒業制度について	35
9. 卒業延期制度について	36

カリキュラム

I カリキュラム概要	37
1. 法学部の卒業に必要な単位	37
2. コースの所属	46
コース紹介 ～2021年度以降入学生～	
特修コース（法曹分野・企業法務分野・公務分野）	47
司法・ビジネスコース	50
公共政策コース（経済学部連携）	51
グローバル法政コース	52
法政社会歴史コース	53
コース紹介 ～2020年度以前入学生～	
司法特修コース	54
司法コース	55
企業法務コース	56
公共政策コース（経済学部連携）	57
国際法政コース	58
政治システムコース	59

履修登録

I	履修登録手続きの流れ	61
II	履修登録の注意点	62
1.	履修単位数制限	62
2.	所属による履修の制約	64
3.	クラス指定科目	64
4.	申込科目	65
	(1) 法学部開講申込科目一覧	65
	(2) 再履修登録	69
	(3) 言語科目のクラス変更	69
	(4) 英語の同時履修	69
5.	先修条件	70
6.	専門導入科目の履修制限	72
7.	ペア履修科目	72
8.	専門科目のナンバリング	72
9.	留学プログラム、外国語インテンシブ・プログラム等 履修上の注意	73
10.	他学部履修	75
11.	同一名称科目等	76
12.	資格関連科目	78
13.	隔年開講科目	78
III	全学開講科目	79
1.	2021年度 全学科目 開講一覧・履修登録（事前申込含む）について	79
2.	2021年度 全学科目申込・履修についての諸注意	88

試験・レポート・成績評価

I	試験	103
II	レポート	104
III	成績評価	107

《参考》理念・目的・教育目標、チャペル、法学部内規

I	法学部の理念・目的・教育目標	109
II	チャペルプログラム	114
III	法学部内規	115

はじめに

履修・学習に関する Web サイト

海外渡航する場合には大学に届け出が必要です

「ダブルチャレンジ制度」登録システムについて

2021年度 申込科目スケジュール

履修・学習に関する Web サイト

履修・学習に関する Web サイトには主に次の 4 つがあります。

※「教学 Web サービス」「情報システム Web サービス」は2021年夏に新しいポータルサイトに移行します。
アクセス方法など詳細は2021年夏までに教学 Web サービス等でお知らせします。

履修・学習要覧 Web サイト https://www.kwansei.ac.jp/a_affairs/a_affairs_000660.html

【学部】2021 年度 履修・学習要覧 Web サイト

このサイトは、関西学院大学の学部在学に対して、履修・学習に関する基本的な事項を掲載しています。
■大学院生用 ■は下記リンクをご覧ください。

【大学院】履修・学習要覧Webサイト
関連ページへのリンク

大学院生用はここをクリック

もくじ (学部生用)

1. 大学、学部理念・目的・教育目標
2. 『Kwanseiコンピテンシー』およびD P (学位授与の方針)・C P (教育課程編成・実施の方針)
3. 関西学院大学 学則
4. 授業スケジュール・行事予定カレンダー
5. 授業科目の履修にあたって
6. 成績評価・試験規程
7. 大学学部の授業・試験実施に関する警報発令及び交通機関の運行停止等の場合の取扱要領
8. 全学科目の紹介
9. 各学部内規
10. シラバス (授業実施要綱)
11. 教員等紹介
12. オフィス・アワーについて
13. 学費について
14. 諸規程

授業スケジュール・
行事予定カレンダー

警報発令時の休講等の取り扱い

シラバス

■主な掲載内容

大学学則
授業スケジュール
シラバス (授業実施要綱)
暴風警報、暴風雪警報、特別警報発令時の授業等取扱
全学科目の紹介/各学部内規
講義担当教員/オフィスアワー
諸規程 (成績評価・試験、学費、学位、留学、奨学金、各種施設使用など)

教学 Web サービス <https://webinfo.kwansei.ac.jp/> (2021年夏変更予定)

関西学院大学 Kwansei Gakuin University

日立 太郎 (准学部) (学生) 0 更新 | ログアウト

※ 授業・定期試験に関する緊急情報がある場合はこちら(大学ホームページ)/ In the event of emergency situations, please consult the below page for details regarding class/exam schedule (KGU HOME PAGE)

お知らせ

【注意！】学内での勧誘行為に注意してください。
【注意！】学内での勧誘行為に注意してください。
【注意！】学内での勧誘行為に注意してください。

全学事項 学部・研究科 キャリア 個人伝言

入学案内 05/14 【注意！】学内での勧誘行為に注意してください
入学案内 05/24 【募集】第9期阪神南地域ビジョン委員/兵庫県阪神南市民センター
入学案内 12/02 (就職活動時の注意事項)をミナー等出席時に注意してください
入学案内 08/16 メールの開封について(8/13 22時頃～8/15 16時)
入学案内 07/22 Office 305からのメール転送不具合について(再掲)

授業スケジュール確認

操作方法は「マニュアル」参照

履修登録
申込制科目申込

お知らせ 教務 キャリア English マニュアル

入学案内 成績
申込(推薦)制科目登録 シラバス情報 成績開示
学生情報登録申請 履修カルテ(取組課程用) 教員等紹介
ダブルチャレンジ申請(次画面で「本人情報」を選択)
授業
時間割開示 休講 補講
教室・時間割変更情報

休講・補講
情報確認

警報発令、交通機関の運行停止等が発生した場合の対応について (大学 HP リンク)

■主な機能

履修登録/申込制科目申込
成績照会/履修中止
時間割照会
休講・補講・教室変更 情報確認
お知らせ閲覧
個人呼び出し確認
ダブルチャレンジ申請
学生情報登録申請 など

■メールでの確認

休講・補講、教室・時間割変更等のお知らせは、関学メール (@kwansei.ac.jp) にも送信されます。各自のパソコンまたはモバイル端末のメールアプリにより関学メールを利用することができますので必要に応じて各自で設定を行ってください。ただし、メールで受信できるのは本文のみです。添付ファイルは教学 Web サービスにアクセスして確認してください。

<教学 Web サービスの接続時間について>

教学 Web サービスの各機能の接続時間は以下の通りです。何も操作をしなれば、最後の操作から以下の時間を過ぎると自動的にログアウトされます。

・「お知らせ」10分・「教務」60分(※)・「キャリア」60分(※)

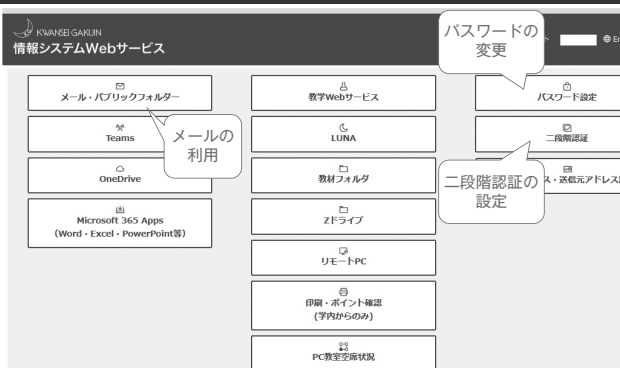
※学部の抽選科目申込期間から履修修正期間までと、成績発表日は、接続時間が「10分」になります。

■アクセスが非常に集中した場合には、一時的にサービスを停止することがあります。アクセス集中が緩和され次第、サービスを再開します。

■教学 Web サービスの操作を終える際には、ブラウザの「×」ボタンではなく、教学 Web サービスの「閉じる」ボタンを押して画面を閉じるようにしてください。

■本運用は学部生だけでなく、大学院生にも適用されます。

情報システム Web サービス <https://webservice.kwansei.ac.jp/> (2021年夏変更予定)



■主な機能

メール利用
(@kwansei.ac.jpのアドレス)
パスワード設定
二段階認証設定
印刷・ポイント確認
掲示板 (パブリックフォルダ) 閲覧
ファイルサーバへのアクセス
など

＜メールアプリからのメール利用について＞

・各自のパソコンまたはモバイル端末から、メールアプリにより関学メールを利用することができます。
利用にあたっては、情報環境機構 Web サイトの「ユーザーズガイド」を参照してください。
<https://ict.kwansei.ac.jp/guide/> (→メールアプリの設定)

LUNA (教授者 - 学習者支援システム) <https://luna.kwansei.ac.jp/> (https→s が必要)

LUNA は、みなさんの日々の学習を支援するシステムです。履修科目や所属のコミュニティにおいて、教員からのお知らせを確認したり、教材を閲覧したり、レポートを提出したり、テストを受けたり、教員や他の履修者とコミュニケーションしたりするなど、様々な学習活動に利用できます。さらには全学共通コンテンツに掲載の教材で自習したり、K.G. ポートフォリオで学びの記録を蓄積することもできます。インターネットにつながった環境があれば、いつでもどこでも利用できます。

■アクセス方法

上記アドレスからログイン、もしくは情報システム Web サービスからアクセスしてください。
また、ポートフォリオ機能を利用する場合は、スマートフォン専用アプリをダウンロードすると、プッシュ通知等の機能を拡充できます。(アプリの利用料は無料ですが、ダウンロードや利用時にかかる通信料は利用者負担になります)

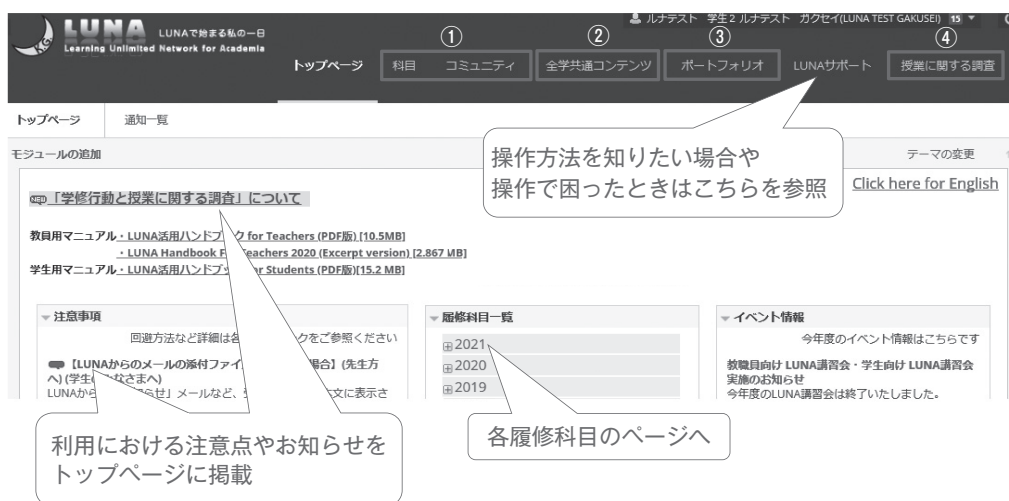
PC からアクセスする場合



スマートフォンアプリをダウンロードする場合



※「Android」[Google Play] は、Google Inc. の商標または登録商標です。
※「Apple」は、米国およびその他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
※「App Store」は Apple Inc. のサービスマークです。
※「iOS」は、米国 Cisco のライセンスに基づき使用されています。
※QR コードは (株) デンソーウェブの登録商標です。



●主な機能 (以下の①から④は、前ページの①から④に対応)

①科目やコミュニティを利用する (PC のみ)

- ・教員からのお知らせを確認する
- ・教材を閲覧する
- ・課題レポートを提出する
- ・テストに解答する
- ・課題レポートおよびテストの点数や提出状況を確認する
- ・掲示板で教員や履修者とコミュニケーションをとる

②全学共通コンテンツを利用する (PC のみ)

- ・情報倫理 自習教材
- ・留学定例報告書・協定校 FactSheet 閲覧サイト
- ・社会学部キーワード集
- ・『いつでも中国語』付属 CD

③ポートフォリオを利用する (PC、モバイル)

- ・アンケートに回答する
- ・自分のことを知る
- ・目標を立てる
- ・学生生活を記録し振り返る
- ・蓄積された情報をダウンロードする

④「学修行動と授業に関する調査」に回答する (PC のみ)

本調査は学生のみなさんの学修行動・成果の振り返り、授業の改善、教育内容・環境の整備を目的として実施し、学期ごとに実施期間が設けられます。学生のみなさんの学修行動の振り返りのための記録になるものですので、責任ある真摯な態度で調査に協力してください。

※利用する機能によっては、モバイル端末（スマートフォン、タブレット等）では正しく動作しません。

■K.G. ポートフォリオについて

ポートフォリオでは、PC やスマートフォンを利用することで、GPA 等のスコア伸長、自身の強みチェック、目標設定とその振り返り、学修行動や成果の把握なども直感的に活用できるようになります。さらに各部署や授業担当者が上記活動記録の一部をみなさんのポートフォリオに登録するなど、バックアップやサポート体制があるのでいつでも気軽に始められます。

日々の活動をより実りあるものにでき、将来の就職活動や大学院進学など、自分のこれからのキャリアを考える時に、強力にサポートしてくれる頼もしいツールです。皆さんのよりよい未来のために、是非、ポートフォリオを役立ててください。

●トップページ

ポートフォリオにログインすると、PC やスマートフォンなどの機器によって適切な表示に自動的に切り替わります。以下は PC での画面になります。スマートフォンの場合は左右別の画面構成となり、トップページが表示されます。



⚠ 掲載している機能やデータ連携は2021年4月現在のものです。

機能やデータ連携を予告なく追加・停止する可能性があります。

学修状況機能のスコアタブにある GPA や履修・修得単位数については、連携が反映されない時期があります。そのため、正式な成績は教学 Web サービスから確認してください。

進級や卒業に必要な単位数や科目等については、「履修心得」や「成績通知書」等を参考に各自で確認してください。

●ポートフォリオの記入内容について

ポートフォリオには、GPA のスコアなど大学がポートフォリオにデータを提供している情報と、キャリアシート、目標など学生のみなさんが新しく入力する情報の2種類があります。

どちらの情報も個人の情報が他の学生に開示されることはありません。ポートフォリオの情報は大学と共有され、みなさんの取り組みを支援するため、権限が与えられた教職員が厳格な管理の下、メニューの各機能の情報を参照することがあります。

海外渡航する場合には大学に届け出が必要です

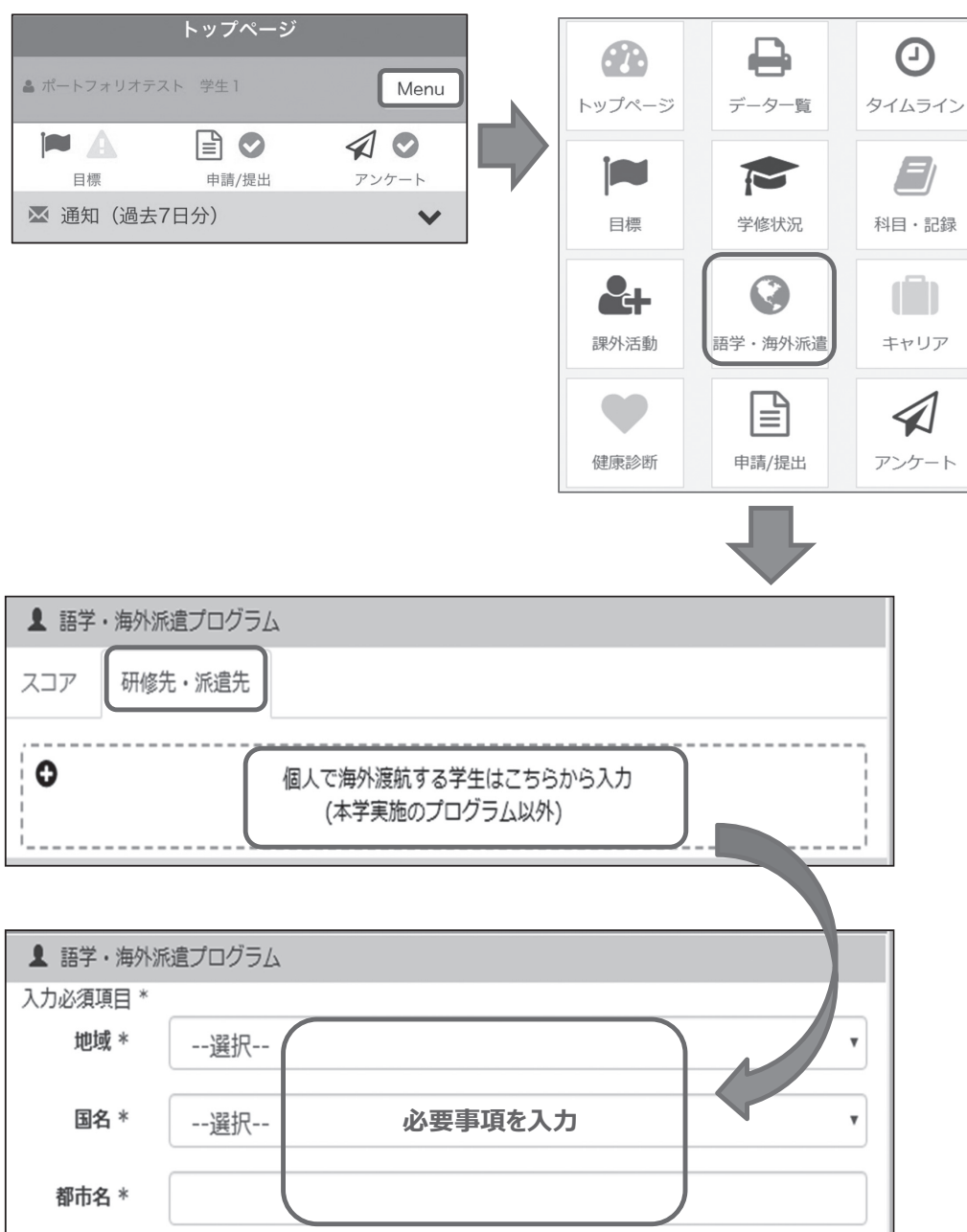
世界各地で発生するテロや自然災害等様々な問題への対応のために、関西学院大学では次の2点について把握することとし、有事発生時の対応に備えています。

- ① 大学主催以外のプログラム等で海外へ渡航する学生のみなさんの渡航状況（大学主催プログラムは国際連携機構、プログラム実施学部等で把握）
- ② 大学主催プログラムの留学等での休暇中の学生のみなさんの旅行状況

上記に該当する場合、ポートフォリオで海外渡航情報の登録をお願いします。（ポートフォリオアプリのダウンロードは本冊子 P. 3 の「履修・学習に関する Web サイトには主に次の4つがあります」から確認ください。）

なお、本件は文部科学省「大学における海外留学に関する危機管理ガイドライン」に基づく対応であり、登録された個人情報は本目的の範囲外で利用することはありません。

<ポートフォリオからの入力方法>





平成26年度文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」採択事業
関西学院大学「グローバル・アカデミック・ポート」構想

Global
Academic
Port

創立以来、「世界市民」の育成をめざして国際教育を積極的に推進してきた関西学院大学。

その豊富な実績と構想が認められ、平成26年度文部科学省の「スーパーグローバル大学創成支援事業」に採択されました。

これを機に、多様性を学ぶ「国際性豊かな学術交流の港」を構築し「ダブルチャレンジ制度」を創設するなど、
国や地域の垣根にとらわれず世界を駆け巡り、競い合い、支え合って協働できる「世界市民」を育てます。

挑め、新たな世界に！ 全学生が挑む「ダブルチャレンジ」

全学生が所属学部の主専攻の学び（ホームチャレンジ）に加え、
異なるものとの出会いの場「アウェイチャレンジ」に取り組み、
グローバル人材に強く求められる「主体性」「タフネス」「多様性への理解」を深めます。
アウェイチャレンジは以下の3つのプログラムから構成されています。
是非、在学中の4年間を通じて多様な『チャレンジ』に取り組み、自らの可能性を拓いてください。

アウェイチャレンジ

インターナショナルプログラム

「国を越え、世界を知る」



海外の大学・フィールドでの挑戦や海外からの学生との共修を通して、
グローバルな視野を身につけます。

例：交換留学、中期留学、外国語研修、インドネシア交流セミナー、
国連セミナー、海外インターンシップ、海外フィールドワークなど

ホームチャレンジ



(各学部・専攻での学び)

アウェイチャレンジ

副専攻プログラム

「学部を出て、 他分野を学ぶ」



主専攻とは異なる学問分野を体系的に学び、
複眼的な視野を身につけます。

例：複数分野専攻制プログラム、
複数分野専攻制特別プログラム＜国連・外交プログラム＞

アウェイチャレンジ

ハンズオン・ラーニング・ プログラム（実践型学習）

「キャンパスを出て、 社会に学ぶ」



地域や企業、行政と連携した実践的なプログラムで思考力・行動力・学習姿勢を身につけます。

例：ハンズオン・アドバンスト、
ハンズオン・インターンシップ、
社会探究実習、社会探究実践演習、
キャリアゼミ、PBL特別演習など

詳しくは『「ダブルチャレンジ」プログラムガイド2021』で
確認してください。

新入生(1年生)には入学式で、2年生以上の学生には教務
機構事務部や各学部・センター事務室で配布しています。



KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY
Global Academic Port



関西学院大学

■お問い合わせ先■

教務機構事務部（「ダブルチャレンジ」プログラム総合窓口）
Phone：0798-54-7479

「ダブルチャレンジ制度」登録システムについて

【2018年度以降入学生対象・新入生（1年生）は秋学期から登録開始】

「ダブルチャレンジ制度」は、変化の激しいグローバル社会を生き抜くために欠かせない「主体性」「タフネス」「多様性への理解」「チャレンジ精神」等を育むための本学オリジナル制度で、本制度を利用した多様なチャレンジを強く推奨しています。

2018年度入学生より、各学期の履修登録に先立って、今後の大学生活で挑戦する（予定の）取組（プログラム・科目）を申請する必要があります。新入生（1年生）は秋学期から登録開始となります。（ダブルチャレンジ申請が完了しないと履修登録ができません！）

【申請にあたっての注意事項】

- 当該学期に申請可能なプログラム・科目は1件のみです。最も挑戦したいプログラム・科目を1つ選択して申請してください。
- この申請を行ったことで当該プログラム・科目の履修登録が終了する訳ではありません。この申請と履修登録は全く別のものです。
実際の科目の履修登録は、定められた期間に適宜申込・登録手続きを行ってください。
- 一旦登録後、申請内容に変更がある場合は随時変更が可能です。また変更の有無にかかわらず毎学期申請内容を確認する必要があります。
- 申請可能な科目は本冊子 P. 8、「ダブルチャレンジ対象科目一覧」で確認してください。
インターナショナルプログラムのうち、国際教育・協力センター（CIEC）が提供するプログラムは「国際教育・協力プログラム募集要項 2021」を参照してください。

■申請画面入口（教学 Web サービス画面）

「履修登録」をクリックすると、申請画面に遷移します。

①最初の申請はここから履修登録を行うには住所情報の確認とダブルチャレンジへの登録手続きが必要です

②一旦申請した後申請変更をする場合はここから

■ 初回のダブルチャレンジ申請画面

初めて申請する場合「履修登録・確認 学生情報登録申請（学生情報登録申請）」の画面より申請してください。

①プログラムの選択（プルダウンメニューより選択）

②科目の選択（プルダウンメニューより選択）

※自身が申請可能な科目は本冊子 P.8、「ダブルチャレンジ対象科目一覧」で確認してください。

③申請内容に誤りがないことを確認し、右下の「申請」ボタンを押下する。

登録完了画面で登録が完了したことを確認する。

■ 2回目以降の申請・確認方法（毎学期確認が必要です）

①以下の画面で登録内容を確認する。

②登録内容に変更がない場合は「確認」ボタンを押下、

登録内容を変更する場合は、修正の上、「申請」ボタンを押下する。

ダブルチャレンジ対象科目一覧

インターナショナルプログラム					
留学プログラム			国際ボランティア・フィールドスタディプログラム		
提供部署	科目名称	期間	提供部署	科目名称	期間
国際教育・協力センター／CIEC	交換留学	1学期間～1年間	国際教育・協力センター／CIEC	国連ユースボランティア	5カ月間
	認定留学	1学期間～1年間		国際社会貢献活動	5カ月間
	長期留学(学部科目履修型)	1学期間～1年間		中期海外インターンシップ	1学期間
	英語中期留学	1学期間		短期海外インターンシップ(アメリカ)	約1カ月間
	フランス語中期留学	1学期間		短期海外インターンシップ(ベトナム)	約1カ月間
	スペイン語中期留学	1学期間		海外フィールドワーク	約1週間
言語教育研究センター	外国語研修(英語、中国語、朝鮮語、スペイン語)	約2週間～6週間		CCC Field Study in Canadian Business	約2週間
	CCC Cross-Cultural Workshop	4週間		CCC Global Career Seminar in Canada	約1週間
社会学部、商学部、国際学部	フランス語海外研修	4週間	国際教育・協力センター／CIEC	インドネシア交流セミナーA	約2週間
	ドイツ語海外研修	4週間		海外異文化体験セミナー	約1週間
神学部	ダブルディグリー留学	1年～2.5年		グローバルPBL	約2週間
	Mission in DialogueA	約1週間		インターンシップ準備演習(オーストラリア)	約10週間
文学部	ドイツ語中期留学	4カ月半		海外社会体験実習(オーストラリア)	約5週間
	中国人民大学法学院交換留学プログラム	1学期間～1年間		海外社会体験実習(マレーシア)	4週間
法学部	エディンバラ大学春季法律英語研修	約3週間		海外社会体験実習(タイ)	2週間
	ビジネスに活かせる海外短期研修プログラム	約1週間～約1カ月間		短期海外インターンシップ	約2週間
理工学部	海外理工学プログラムB(English for Science and Technology)	約1週間		マレー文化研究	12週間
	海外理工学プログラムB(Python Program)	約3週間	国際・外交統括センター	English through Sports	約2週間
人間福祉学部	中国語中期留学	1学期間		国連・外交フィールドワーク	約10日間
	朝鮮語中期留学	1学期間	文学部	国連セミナー	約10日間
国際学部	海外理工学プログラムB(English for Science and Technology)	約1週間		美学芸術学資料研究7	約1週間
	海外理工学プログラムB(Python Program)	約3週間	社会学部	異文化理解(ドイツ)2	約1週間
工学部	海外理工学プログラムB(English for Science and Technology)	約1週間		比較社会演習A	約1週間
	海外理工学プログラムB(Python Program)	約3週間	法学部	海外社会調査A	約1週間
生命環境学部	海外生命環境学プログラムB(English for Science and Technology)	約1週間		海外社会調査B	約1～2週間
	海外生命環境学プログラムB(Python Program)	約3週間	経済学部	法学・政治学グローバル演習A・B・C・D	約1～3週間
				海外学習活動(ドイツインターンシップ)	約1カ月間
			理工学部	海外学習活動(アジア地域の観光開発)	約1カ月間
				海外学習活動(アフリカ研究)	約1カ月間
			総合政策学部	海外学習活動(グローバルリーダーの養成)	約1週間
				海外理工学プログラムA(企業体感プログラム in シリコンバレー)	約1週間
			人間福祉学部	海外理工学プログラムB(Coral & Forest Study in Tropical Area)	約10日間
				海外理工学プログラムB(Introduction to Scientific Diving)	約10日間
			教育学部	海外理工学プログラムB(Geoscience Program)	約1週間
				海外理工学プログラムB(発酵醸造学)	約8日間
			国際学部	フィールドワーク(海外短期)	
				フィールドワーク(海外中期)	
			理工学部	インターンシップ(海外短期)	
				インターンシップ(海外中期)	
			工学部	ソノマ州立大学英語研修&フィールドワーク(オンライン)	約1カ月間
				中国上海・蘇州フィールドワーク	約1週間
			生命環境学部	台湾フィールドワーク	約1週間
				フィリピンフィールドワーク	10日間
			建築学部	社会起業フィールドワーク(海外)	約2週間
				社会起業インターンシップ(国内・海外)	6週間
				人間福祉グローバル演習A～H	約1～2週間
				福祉社会フィールドワーク	約1週間
				人間科学フィールドワーク	約2週間
				海外ボランティア実習(US)アスタントティーチャー(ボランティア)	約2週間
				海外ボランティア実習(オーストラリア幼児教育プログラム)	約2週間
				海外ボランティア実習(セブボランティア)Learn English & Volunteer with Children	約2週間
				EUフィールド・スタディー	約2週間
				Introduction to Business in Asia: Innovation, Leadership, and Strategy	約2週間
				海外理化学プログラムA(企業体感プログラム in シリコンバレー)	約1週間
				海外理化学プログラムB(Coral & Forest Study in Tropical Area)	約10日間
				海外理化学プログラムB(Introduction to Scientific Diving)	約10日間
				海外理化学プログラムB(NTNU-KGU On-line program: 地球と環境)	約1週間
				海外理化学プログラムB(発酵醸造学)	約8日間
				海外工学プログラムA(企業体感プログラム in シリコンバレー)	約1週間
				海外工学プログラムB(Coral & Forest Study in Tropical Area)	約10日間
				海外工学プログラムB(Introduction to Scientific Diving)	約10日間
				海外工学プログラムB(NTNU-KGU On-line program: 地球と環境)	約1週間
				海外工学プログラムB(発酵醸造学)	約8日間
				海外生命環境学プログラムA(企業体感プログラム in シリコンバレー)	約1週間
				海外生命環境学プログラムB(Coral & Forest Study in Tropical Area)	約10日間
				海外生命環境学プログラムB(Introduction to Scientific Diving)	約10日間
				海外生命環境学プログラムB(NTNU-KGU On-line program: 地球と環境)	約1週間
				海外生命環境学プログラムB(発酵醸造学)	約8日間
				建築学国際プログラム	約2週間

ハンズオン・ラーニング・プログラム				副専攻プログラム	
全学科目		学部独自科目		提供部署	プログラム名
開講部署	科目名	開講部署	科目名		
ハンズオン・ラーニングセンター	ハンズオン・アドバンストⅠ・Ⅱ	神学部	キリスト教社会実習	国際教育・協力センター/CIEC	複数分野専攻制特別プログラム(OCS) ※2016年度以降入学生は募集停止
	ハンズオン・インターンシップⅠ・Ⅱ		キリスト教と社会A・B	国連・外交統括センター	複数分野専攻制特別プログラム(国連・外交プログラム)
	ハンズオン・プラクティス		教会と礼拝体験	各学部、言語教育研究センター	複数分野専攻制プログラム
	社会探究実習Ⅰ・Ⅱ(広島・江田島平和FW)	文学部	美学芸術学基礎実習	文学部	文学部内副専攻プログラム
	社会探究実習Ⅰ・Ⅱ(瀬戸内海・豊島環境FW)		地理学地域文化実習A・B	社会学部	社会調査士
	社会探究実践演習Ⅰ・Ⅱ(岡山・倉敷コミュニティカ/バンスカFW)		エクスカッションⅠ・Ⅱ	社会学部	認定心理士(心理調査)
	社会探究実践演習Ⅰ・Ⅱ(姫路・竹田城下町活性化PJ)		臨床心理学実習A(心理実習)	法学部	法曹養成連携プログラム
	社会探究実践演習Ⅰ・Ⅱ(大阪・上本町)	社会学部	日本文学特殊講義5(神戸文学館)		建築士プログラム
	社会探究リサーチ・ペーパーワークA(定家編)・B(定性編)		社会調査実習	総合政策学部	社会調査士 ※2018年度以前入学生対象
	平和学特別演習「ヒロシマ」	法学部	国内フィールドワーク演習A・B・C・D		グローバルキャリアプログラム(GCaP)
	キャリアゼミA・B・C		議員インターンシップ実習		
	霞が関セミナー	経済学部	国内フィールドワーク演習A・B・C・D		
	ライフ・キャリア リーダーシップ実習	商学部	国内フィールドワーク実習		
	ライフ・キャリア発展演習		ビジネスプロジェクト		
	ライフ・キャリア実践演習	理工学部	臨海実験		
	ライフデザインと仕事A(日本企業編)・B(外資系企業編)		地学実験A		
	インターンシップ実習	総合政策学部	地球環境科学実験		
	PBL特別演習002(JETRO×産業研究所連携講座)		フィールドワーク(国内短期)		
	PBL特別演習005(アントレプレナー養成講座)		フィールドワーク(国内中期)		
	PBL特別演習007(阪急阪神HD(株)と読む社会課題)		インターンシップ(国内短期)		
	PBL特別演習008(福島で学ぶ復興と原発問題)		インターンシップ(国内中期)		
	PBL特別演習009(三木市・旧市街地FW)		里山実習		
			総合政策実習(フィールドに出よう！)五感で学ぶ、地域の環境		
			総合政策演習(パークマネジメント)		
			都市政策演習(柏原まちづくりプロジェクト)		
			都市政策演習(ゆるやかなつながりプロジェクト)		
			都市政策演習(都市と建築空間フィールドスタディ)		
			都市政策演習(阪東市竹田地区に緑をいれ、緑をまちづくり)		
			都市財政論(西脇市都市経営フィールドワーク)		
			※2019年度以前開講分のみ対象		
			総合政策トピックスA		
			環境測定実習		
			国際政策実習演習(グローバル化を促す経済でグローバルイノベーションを創出する)		
			メディア制作演習(表現)		
			メディア制作演習(社会情報デザイン)		
			社会政策トピックスB(企業と社会の連携)による社会政策の発展(東・西・中・南・北の連携)		
			公共政策課題研究A		
			※2020年度以降開講分のみ対象		
		人間福祉学部	ソーシャルワーク実習		
			精神保健福祉援助実習		
			社会起業フィールドワーク(国内)		
			社会起業インターンシップ(国内・海外)		
			ソーシャルワーク・インターンシップ		
			医療ソーシャルワーク・インターンシップ		
			社会起業アドバンス・インターンシップ		
			学校ソーシャルワーク実習		
			福祉社会フィールドワーク		
			人間科学フィールドワーク		
			社会起業プラクティス		
			野外教育指導実習Ⅰ		
			ソーシャルワーク実習入門		
			日本のシニアビジネスの課題と展望		
			野外教育実習A		
			野外教育実習B		
			野外教育指導実習Ⅱ		
			社会起業調査実習		
		教育学部	人間科学実習入門		
			実地教育研究(実習)		
			地域社会論		
			教育課程探究実習(地域地域における課題探究と教育実践)		
		国際学部	教育課程探究実習(地域における多文化共生教育実践)		
			ベンチャービジネス創成		
		理学部	地学実験A		
		工学部	地学実験A		
		生命環境学部	臨海実習		
			地球環境科学実験		

【春学期】

2021年度 申込科目スケジュール

2/2

担当 窓口	法 学 部	共通教育センター	スポーツ科学・健康科学教育 プログラム室	ハンズオン・ラーニングセンター (HoLC)	言語教育研究センター	国際教育・協力センター (CIEC)、 日本語教育センター	教職教育研究センター	
4/5 (月)							●3年生対象 教育実習オリエンテーションⅠ ●介護等体験事前指導 (3年生以上) 《博物館実習履修者発表》 教職教育研究センター ●博物館実習履修申込 ●教育実習2次登録 (4年生) ●博物館実習履修申込	
4/6 (火)	《履修者発表》 Webでのみ発表 《追加申込受付》 ▼Web 受付のみ 9:00～11:30 ※追加申込対象クラスは、教学 Web サービス「お知らせ」に発表 (予定) ※追加募集は抽選後定員に満たない場合に行います。 《追加申込受付》 ▼Web 受付のみ 9:00～11:30 《追加申込 履修者発表》 17:00 Webでのみ発表	《履修者発表》 9:00 Webでのみ発表 ■追加申込対象科目は、教育学 Web サービス「お知らせ」に発表 (予定) ※追加募集は一般申込抽選後定員に満たない科目・クラスがある場合に行います。 《追加申込受付》 ▼Web 受付のみ 9:00～11:30 《追加申込 履修者発表》 17:00 Webでのみ発表	《一般申込 履修者発表》 9:00 Webでのみ発表 ■追加申込対象科目は、教育学 Web サービス「お知らせ」に発表 (予定) ※追加募集は一般申込抽選後定員に満たないクラスがある場合に行います。 《追加申込受付》 ▼Web 受付のみ 9:00～11:30 《追加申込 履修者発表》 17:00 Webでのみ発表	《履修者発表》 9:00 Webでのみ発表 ■追加申込対象科目は、教育学 Web サービス「お知らせ」に表示 (予定) ※追加申込受付は抽選後定員に満たないクラスがある場合に行います。 《追加申込受付》 ▼Web 受付のみ 9:00～11:30 《追加申込 履修者発表》 17:00 Webでのみ発表	《履修者発表》 9:00 Webでのみ発表 ■追加申込対象科目は、教育学 Web サービス「お知らせ」に表示 (予定) ※追加募集は一般申込抽選後定員に満たないクラスがある場合に行います。 《追加申込受付》 ▼Web 受付のみ 9:00～11:30 《追加申込 履修者発表》 17:00 Webでのみ発表	《履修者発表》 9:00 Webでのみ発表 ■追加申込対象科目は、教育学 Web サービス「お知らせ」に表示 (予定) ※追加募集は一般申込抽選後定員に満たないクラスがある場合に行います。 《追加申込受付》 ▼Web 受付のみ 9:00～11:30 《追加申込 履修者発表》 17:00 Webでのみ発表	《履修者発表》 9:00 Webでのみ発表 ■追加申込対象科目は、教育学 Web サービス「お知らせ」に表示 (予定) ※追加募集は一般申込抽選後定員に満たないクラスがある場合に行います。 《追加申込受付》 ▼Web 受付のみ 9:00～11:30 《追加申込 履修者発表》 17:00 Webでのみ発表	
4/8 (木)	授業開始						《免許取得のための他学部履修許可発表》 各学部	
4/9 (金)								
4/10 (土)								
随時				●ライフ・キャリアリーディング実習 ●インターンシップ実習 ●ハンズオン・インターンシップⅠ・Ⅱ ●キャリアゼミ B ●平和学特別演習「ヒロシマ」 ●社会探究実習Ⅰ・Ⅱ (瀬戸内海・豊島環境 FW) ●PBL 特別演習002 【JETRO×産業研究所連携講座】 ●PBL 特別演習008 【福島で学ぶ復興と原発問題】 ・募集要項公開：4月より随時公開 ハンズオン・ラーニングセンター窓口および教学 Web サービスにて入手可 ・説明会：4月～随時実施 ・申し込み受付：詳細は「2021年度入学科目申込・履修についての諸注意」を参照のこと				

西宮市大学共通単位講座、EUIJ プログラム、コンソーシアムひょうご神戸講座は、Web での申込はできない。
西宮市大学共通単位講座のセンター科目は、西宮市大学交流センターで実施される科目をさす。
国連・外交関連プログラム室開講科目の申込スケジュールは教学 Web、各科目個別の募集要項等で案内。

2021年度 申込科目スケジュール

【秋学期】 「教学Web サービス」は、2021年夏に新しいポータルサイトに移行します。アクセス方法など詳細は、2021年夏までに教学Web サービス等でお知らせします。 1/2

担当窓口	法 学 部	共通教育センター	スポーツ科学・健康科学教育 プログラム室	ハンズオンラーニングセンター (Hol.C)	言語教育研究センター	国際教育・協力センター（CIEC）、 日本語教育センター	教職教育研究センター	
8/27 (金)							●免許状取得のための他学部履修申込	
8/30 (月)							●免許状取得のための他学部履修申込	
8/31 (火)							●免許状取得のための他学部履修申込	
9/1 (水)							●免許状取得のための他学部履修申込	
9/2 (木)							●免許状取得のための他学部履修申込	
9/3 (金)							●免許状取得のための他学部履修申込	
9/4 (土)								
9/6 (月)			●スポーツ科学・健康科学科目 《優先申込 受付》 対象：教職職員免許状取得のために履修する必要がある3年生以上の未履修者 対象科目： 「体育方法学講義C」 「体育方法学演習C」のみ ▼ Web 受付のみ 9/6(月) 9:00～ 9/7(火) 16:00				●教職実践演習申込 ▼ Web 受付のみ 9/6(月) 9:00～ 9/7(火) 16:00	
9/7 (火)							●教職実践演習申込 ▼ Web 受付のみ 16:00まで	
9/8 (水)								
9/9 (木)	申込科目受付 ※対象科目：P.67参照 ▼9/9(木) 9:00～ 9/10(金) 16:00 Web 受付のみ ☐ 履修者発表：9/14(火) 9:00 Web で発表 ※科目によっては2次募集（追加募集）を行う場合がある。対象科目・クラスは教学Web サービス「お知らせ」で発表する。 ※以下の科目は申込期間・方法が異なる場合があるため、別途掲示等を確認すること。 ・議員インテンシブ実習 ・法学・政治学グローバル演習 ・国際法政実践演習B 4 ・企業法務実践演習B 4 ・法学・政治学国際交流セミナー	●情報科学科目のうち、「文科系学生のための「情報技術入門」」「情報技術概論」を除く全科目 ●AI活用人材育成科目の全科目 ●「国語」学 2 ●人権教育科目005・009・017 ●災害復興学B ●スタディスキルセミナー ▼ Web 受付のみ 9/9(木) 9:00～ 9/10(金) 16:00	《優先申込 履修者発表》 9:00 Web でのみ発表 《一般申込 受付》 対象者：全学部生 対象科目： スポーツ科学・健康科学科目 全科目 ▼ Web 受付のみ 9/9(木) 9:00～ 9/10(金) 16:00	●ライフ・キャリア概論 ●ライフ・デザインと仕事A ●ライフ・デザイン入門演習 ●ライフ・キャリア実践演習 ●ライフ・キャリア発展演習 ●ハンズオン・プラクティス ●社会探究入門 ●社会探究リサーチ・ペーシク B ●社会探究実践演習Ⅰ・Ⅱ ●PBL特別演習005 ●PBL特別演習009 【三木市・市街地 FW】 ▼ Web 受付のみ 9/9(木) 9:00～ 9/10(金) 16:00	●Skills-based English ●Language and Communication ●Culture and Society ●Academic Writing and Presentation ●Project-based Seminar in English ●フランス語インテンシブ初級Ⅲ・中級 ※1 ●ドイツ語インテンシブ初級Ⅲ・中級 ※1 ●フランス語アラカルト（聞く・話す）A ▼ Web 受付のみ 9/9(木) 9:00～ 9/10(金) 16:00 ※1 フランス語インテンシブ初級Ⅲ・中級/ドイツ語インテンシブ初級Ⅲ・中級の先修条件特例措置希望者は言語教育研究センター事務局（教務機関事務部、上ヶ原キャンパス）にて申込 9/9(木) 9:00～ 9/10(金) 16:00	《英語スコアの事前登録が必要な科目》 ●総合日本学習科目 ●CCC Introduction to Multicultural Studies ●CCC Introduction to International Relations ▼ Web 受付とオンラインフォームでの英語スコア提出 9/9(木) 9:00～9/10(金) 16:00 ※申し込む最遅日までに英語スコアの提出を完了しない場合は登録を拒否する場合があります。 《英語スコアの事前登録が必要な科目》 ●English for Cross-Cultural Studies B ●Topics in Canadian Studies A・B ●国際情報分析 ●グローバル社会マネジメントⅠ ●持続可能な未来 ●グローバルスタンダード入門 ▼ Web 受付のみ 9/9(木) 9:00～9/10(金) 16:00 ※その他プログラムの申込方法についてはCIEC ホームページまたは「国際教育・協力プログラム募集要項」を参照のこと	●ビジネス日本語A ●ビジネス日本語基礎 ●日本語教育基礎演習 追加申込 ▼ Web 受付のみ 9/9(木) 9:00～ 9/10(金) 16:00 《教職実践演習履修者発表》 9:00 Web でのみ発表 ▼ Web 受付のみ 9/9(木) 9:00～ 9/10(金) 16:00 ※追加募集は抽選後定員に満たない場合があります。	●教職実践演習 追加申込 ▼ Web 受付のみ 16:00まで
9/10 (金)								

【秋学期】

2021年度 申込科目スケジュール

2/2

担当 窓口	法 学 部	共通教育センター	スポーツ科学・健康科学教育 プログラム室	ハンズオンラーニングセンター (Hol.C)	言語教育研究センター	国際教育・協力センター (CIEC)、 日本語教育センター	教職教育研究センター
9/11 (土)							
9/13 (月)							
9/14 (火)	《履修者発表》 9:00 Web でのみ発表						
9/15 (水)	《追加申込受付》 ▼Web 受付のみ 9:00～11:30 ※追加申込対象クラスは、教学 Web サービス「お知らせ」に発表（予定） ※追加募集は抽選後定員に満たない場合に行います ※追加申込受付は抽選後定員に満たない場合に行います	《履修者発表》 9:00 Web でのみ発表 ▼追加申込対象科目は、教学 Web サービス「お知らせ」に発表（予定） ※追加募集は一般申込抽選後定員に満たない場合に行います 《追加申込受付》 ▼Web 受付のみ 9:00～11:30	《一般申込 履修者発表》 9:00 Web でのみ発表 ▼追加申込対象科目は、教学 Web サービス「お知らせ」に発表（予定） ※追加募集は一般申込抽選後定員に満たない場合に行います 《追加申込受付》 ▼Web 受付のみ 9:00～11:30	《履修者発表》 9:00 Web でのみ発表 ▼追加申込対象科目は、教学 Web サービス「お知らせ」に発表（予定） ※追加申込受付は抽選後定員に満たない場合に行います 《追加申込受付》 ▼Web 受付のみ 9:00～11:30	《履修者発表》 9:00 Web でのみ発表 ▼追加申込対象科目は、教学 Web サービス「お知らせ」に発表（予定） ※追加申込受付は抽選後定員に満たない場合に行います 《追加申込受付》 ▼Web 受付のみ 9:00～11:30	《履修者発表》 9:00 Web でのみ発表 ▼追加申込対象科目は、教学 Web サービス「お知らせ」に発表（予定） ※追加申込受付は抽選後定員に満たない場合に行います 《追加申込受付》 ▼Web 受付のみ 9:00～11:30	《追加申込 教職実践演習 9:00 Web でのみ発表
9/16 (木)	《追加申込 履修者発表》 9:00 Web でのみ発表		《追加申込 履修者発表》 9:00 Web でのみ発表	《追加申込 履修者発表》 9:00 Web でのみ発表	《追加申込 履修者発表》 9:00 Web でのみ発表	《追加申込 履修者発表》 9:00 Web でのみ発表	
9/17 (金)							
9/18 (土)							●3年生対象 教育実習 オリエンテーションⅡ ●介護等体験事前指導 (後期・3年生以上) ●教職課程・博物館学芸員 課程・学校図書館司書教 諭課程・国際バカロレア 教員養成プログラム等説 明会 《免許状取得のための他学 部履修許可発表》 各学部
9/21 (火)	授業開始						
9/22 (水)							
9/23 (木)							
随時				●インターンシップ実習 ハンズオン・インターン シップⅠ・Ⅱ・Ⅲ ●社会探究実習Ⅰ・Ⅱ (新中・高・専修校FW) ●社会探究実習Ⅰ・Ⅱ (正・高・高専校FW) ●キャリアアゼシC ●震が関セミナー ・募集要項公開： 9月より随時公開 ハンズオン・ラーニング センター窓口および教学 Web サービスにて入手可 ・説明会：9月～随時実施 ・申し込み受付：詳細は 「2021年度全学科目申 込・履修についての諸注 意」を参照のこと			

西宮市大学共通単位講座、EJU プログラムは、Web での申込はできません。
西宮市大学共通単位講座のセンター科目は、西宮市大学交流センターで実施される科目をさす。
国連・外交関連プログラム室開講科目の申込スケジュールは教学 Web(※)、各科目個別の募集要項等で案内。(※2021年夏に新しいポータルサイトに移行予定)

概 要

1. 関西学院大学の理念・目的
2. Kwansei コンピテンシー
3. 2021年度 授業スケジュール
4. 授業科目の履修にあたって
5. 成績評価・試験規程（抜粋）
6. 履修・学習要覧 Web サイトの紹介
7. 一般注意事項
8. 早期卒業制度について
9. 卒業延期制度について

1. 関西学院大学の理念・目的

関西学院大学はその理念とするキリスト教主義に基づき、教育基本法および学校教育法の規定するところに従い、広く知識を授けるとともに深く専門の学芸を教授研究し、人格を陶冶することを目的とする。

本学初代学長（第4代院長）C. J. L. ベーツが提唱したスクールモットー“Mastery for Service（奉仕のための練達）”は、関西学院の建学の精神を簡潔に表現するものであり、「社会貢献のためにこそ実力を身につけよ」と解されている。本学は、知性を、そして自らが持つすべての豊かさを、隣人のために用いることを強調するとともに、創立当初から培われてきた国際性と社会貢献への使命感を身につけた世界市民の育成を重視する。

本学は、教育においては、全人的教養および専門的知識・技能を修得させるとともに、広く創造力、課題発見能力、課題解決能力そして実行力を培うことをめざす。また、研究においては、本学として特色ある基礎研究を強化しつつ、応用研究および先端的研究を発展充実させるとともに、研究成果を社会に還元して、社会貢献することをめざす。

2. Kwansei コンピテンシー

関西学院は、キリスト教主義に基づく全人教育によって「“Mastery for Service”を体現する世界市民」を育成することを使命としています。その実現に向けて、すべての学生が卒業時に学部との区別なく共通に身に付けるべき知識・能力・資質を「Kwansei コンピテンシー」と定め、これを大学の教育に通底するものとして位置づけます。

「Kwansei コンピテンシー」は、各学部の教育課程やそれを補完する全学科目等の「正課教育」だけでなく、クラブでのスポーツ・文化・芸術活動、ボランティア活動、寮生活等の「正課外教育」、さらには友人関係、教員・職員との交流、キャンパスの豊かな自然も含めた大学の多様な「環境」によっても育まれます。

（知識）

- 幅広い知識・深い専門性
- 多様性への理解

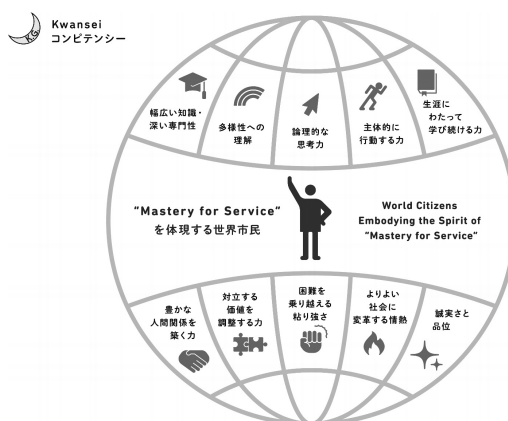
（資質）

- 困難を乗り越える粘り強さ
- よりよい社会に変革する情熱
- 誠実さと品位

（能力）

- 論理的な思考力
- 主体的に行動する力
- 生涯にわたって学び続ける力
- 豊かな人間関係を築く力
- 対立する価値を調整する力

「Kwansei コンピテンシー」



関西学院は、幼稚園から大学・大学院までの教育を通じて、この学院に学ぶすべての者がこれらのコンピテンシーを段階的に身に付け、高めていくことをめざします。

3. 2021年度 授業スケジュール

概要

年・月	日・曜日	行事
2021年 4月	1日(木)～2日(金)	春学期入学式
	1日(木)～5日(月)	定期健康診断（聖和） 全学年対象 土日除く ※詳細は、保健館 HP を確認すること
	3日(土)・5日(月)～7日(水)	履修指導
	8日(木)	春学期・第1クォーター授業開始
	12日(月)～14日(水)	定期健康診断（神戸三田） 土日除く 新入生対象 ※詳細は、保健館 HP を確認すること
	14日(水)～21日(水)	定期健康診断（上ヶ原） 土日除く 新入生対象 ※詳細は、保健館 HP を確認すること
5月	25日(火)・26日(水)	春季・大学合同チャペル 【授業短縮】 上ヶ原・聖和：第1時限終了 午前10時15分 第2時限開始 午前11時15分 三田：第1時限終了 午前10時25分 第2時限開始 午前11時25分
	28日(金)	第2クォーター授業開始 ※月曜日授業は6月7日、火曜日授業は6月8日、水曜日授業は6月9日に開始
	29日(土)	TOEIC® L&R IP 実施日 【対象者】以下の学部・1年次生 (神・文・社会・法・経済・商・人間福祉・教育・国際・理・工・生命環境・建築) および国際学部の3年次生
6月	2日(水)	第1クォーター授業終了 ※金曜日授業は5月21日に終了
7月	16日(金)	春学期補講・試験日（金曜日分）
	17日(土)	春学期補講・試験日（木曜日分）
	19日(月)	授業実施日
	21日(水)	春学期・第2クォーター授業終了 ※金曜日授業は7月9日に終了
	22日(木・祝)	春学期補講・試験日（月曜日分）
	23日(金・祝)	春学期補講・試験日（火曜日分）
	24日(土)	春学期補講・試験日（水曜日分）
	26日(月)～8月3日(火)	春学期定期試験・中間試験（予備日含む）
8月	6日(金)、9日(月・休)	春学期追試験
	10日(火)～9月19日(日)	夏季休業

2021年度 授業日程（春学期）

春 学 期		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
	2021年 4月	12, 19, 26	13, 20, 27	14, 21, 28	8, 15, 22	9, 16, 23, 30
	5月	10, 17, 24, 31	11, 18, 25	12, 19, 26	6, 13, 20, 27	7, 14, 21, 28
	6月	7, 14, 21, 28	1, 8, 15, 22, 29	2, 9, 16, 23, 30	3, 10, 17, 24	4, 11, 18, 25
	7月	5, 12, 19	6, 13, 20	7, 14, 21	1, 8, 15	2, 9

年・月	日・曜日	行事
9月	16日(木)	春学期卒業式
	17日(金)	秋学期入学式
	21日(火)	秋学期・第3クォーター授業開始
	28日(火・創立記念日)	授業実施日
10月	11日(月)	授業実施日
	21日(木)・22日(金)	秋季・大学合同チャペル【授業短縮】 上ヶ原・聖和：第1時限終了 午前10時15分 第2時限開始 午前11時15分 三田：第1時限終了 午前10時25分 第2時限開始 午前11時25分
11月	11日(木)	第3クォーター授業終了 ※火曜日授業は11月2日に終了
	12日(金)	第4クォーター授業開始 ※火曜日授業は11月9日に開始
12月	4日(土)	TOEIC® L&R IP 実施日 【対象者】以下の学部の2年次生 (神・文・社会・法・経済・商・理工・人間福祉・教育)
	6日(月)	大学合同アドベントチャペル【授業短縮】 上ヶ原・聖和：第1時限終了 午前10時15分 第2時限開始 午前11時15分 三田：第1時限終了 午前10時25分 第2時限開始 午前11時25分
	23日(木)	冬季休業前授業終了
	24日(金)～1月5日(水)	冬季休業
	6日(木)	冬季休業明け授業開始
2022年 1月	11日(火)	授業実施なし ※1月10日に遠方で行われる成人の日式典出席者に配慮し授業実施なし
	13日(木)	秋学期補講・試験日(木曜日分)
	14日(金)	秋学期補講・試験日(金曜日分)
	15日(土)	秋学期補講・試験日(水曜日分)
	18日(火)	秋学期・第4クォーター授業終了 ※木曜日授業は1月6日、金曜日授業は1月7日に終了
	19日(水)	秋学期補講・試験日(月曜日分)
	20日(木)	秋学期補講・試験日(火曜日分)
	21日(金)～28日(金)	秋学期定期試験
	8日(火)	秋学期定期試験予備日
2月	12日(土)・14日(月)・15日(火)	秋学期追試験(予備日含む)
	16日(水)～3月31日(木)	春季休業
	18日(金)	秋学期卒業式

※ TOEIC はエデュケーション・テスト・サービス (ETS) の登録商標です。このウェブサイトは ETS の検討を受けまたその承認を得たものではありません。

※西宮上ヶ原キャンパス・神戸三田キャンパスの2年次生以上健康診断は2022年2、3月に実施されます。詳細は決まり次第お知らせします。

2021年度 授業日程(秋学期)

秋学期		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
	9月	27	21, 28 (創立記念日)	22, 29	30	24
	10月	4, 11, 18, 25	5, 12, 19, 26	6, 13, 20, 27	7, 14, 21, 28	1, 8, 15, 22, 29
	11月	1, 8, 15, 22, 29	2, 9, 16, 30	10, 17, 24	4, 11, 18, 25	5, 12, 19, 26
	12月	6, 13, 20	7, 14, 21	1, 8, 15, 22	2, 9, 16, 23	3, 10, 17
	2022年 ※1月	17	18	12	6	7

※成人式(2022年1月10日)の翌日は授業を実施しません。

4. 授業科目の履修にあたって

本学のカリキュラム（教育課程）は、「大学学則」および「学部内規」に基づいて体系的につくられています。本学を卒業するためには、このカリキュラムに沿って単位を修得しなければなりません。履修にあたっての詳細な説明および手続については、本冊子を熟読してください。

1. 授業時間帯

2021年度より、本学における授業は1時限（1コマ）100分とし、授業・試験等の時間帯は次のとおりとします。

(1)通常授業、定期試験・中間試験、補講、授業期間中の集中講義

	西宮上ヶ原キャンパス 西宮聖和キャンパス	神戸三田キャンパス
第1時限	8:50～10:30	9:00～10:40
チャペルアワー	10:30～11:00	10:40～11:10
第2時限	11:00～12:40	11:10～12:50
昼休み	12:40～13:20	12:50～13:30
第3時限	13:20～15:00	13:30～15:10
第4時限	15:10～16:50	15:20～17:00*
第5時限	17:00～18:40	17:05*～18:45

※神戸三田キャンパスにおける第4時限目と第5時限目の間の休み時間は5分となります。

(2)夏季・冬季・春季休業期間中の集中講義

	西宮上ヶ原キャンパス 西宮聖和キャンパス 神戸三田キャンパス
第1時限	9:00～10:40
チャペルアワー	—
第2時限	10:50～12:30
昼休み	12:30～13:10
第3時限	13:10～14:50
第4時限	15:00～16:40
第5時限	16:50～18:30

(3)追試験

	西宮上ヶ原キャンパス 西宮聖和キャンパス 神戸三田キャンパス
第1時限	9:00～10:00
チャペルアワー	—
第2時限	10:20～11:20
昼休み	11:20～12:00
第3時限	12:00～13:00
第4時限	13:20～14:20
第5時限	14:40～15:40

2. 授業時間と単位の関係

(1) 授業時間について

本学では2021年度より1時限（1コマ）の授業時間を100分（実時間）と定めます。また、各学期につき14週に渡り授業を実施します。そのため、例えば週1時限（コマ）開講の授業科目の場合、各学期における合計授業時間数は、 $100分 \times 14週 = 1,400分$ （実時間）となります。

(2) 授業の単位数について

本学では、単位制がとられています。なお、単位数については、文部科学省令「大学設置基準」第21条および大学学則第18条において次のとおり定められています。

「各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間^{*1}の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、原則として次の基準によって計算する。

- ・講義科目及び演習科目については15時間^{*1}^{*2}の授業をもって1単位とする。
- ・言語教育科目、実験科目、実習科目及び実技科目については、30時間^{*1}^{*2}の授業をもって1単位とする。」

※1 日本の大学では、慣習的に「実時間45分」を「1時間の学修時間」とみなしています。この慣行に従い、上述の大学設置基準・学則上の時間数を実際の時間数（実時間）に置き換えると、次のようになります。

大学設置基準・学則上の時間数		実際の時間数（実時間）
45時間	→	2,025分：45(時間) × 45(分)
15時間	→	675分：15(時間) × 45(分)
30時間	→	1,350分：30(時間) × 45(分)

※大学設置基準・学則上の1時間を45分とみなして、実際の時間数（実時間）を算出

※2 週1時限（コマ）開講の授業科目の各学期における合計授業時間数は1,400分（実時間）です。上表から、この1,400分（実時間）という授業時間が、概ね30時間という大学設置基準・学則上での時間数に相当することが分かります。これにより、「15時間の授業をもって1単位とする」講義科目及び演習科目は、週1時限（コマ）開講の場合2単位となり、「30時間の授業をもって1単位とする」言語教育科目、実験科目、実習科目及び実技科目は、週1時限（コマ）開講の場合1単位となることが分かります。

3. 授業外学習時間

(1)必要な学修時間について

前項の「1単位の授業科目を45時間（実時間で2,025分）の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし」との記載から、1単位の授業科目に必要な学修時間は、2,025分（実時間）であり、2単位の授業科目に必要な学修時間は、4,050分（実時間：2,025分×2単位）であることが分かります。

また、いずれの授業科目も、必要な学修時間を1,400分（実時間）の授業時間だけで満たすことはできませんので、本学の学生は、授業への出席（授業時間）のみならず、授業時間外に予習・復習等を行うこと（授業外学習）によって、各授業科目の「必要な学修時間」を確保しなければなりません。

(2)授業外学習時間について

前項・本項の説明および下表のとおり、授業科目ごとに「必要な学修時間」が定められ、結果として授業科目ごとに必要な「授業外学習時間」が決まります。なお、各授業科目において求められる授業外学習の内容は、シラバスの「授業外学習」欄に記載されていますので、必ずシラバスを参照の上、各自で学修を進めてください。

〈授業科目ごとの授業外学習時間例〉

授業科目の種類	必要な学修時間	授業時間	授業外学習時間
週1回開講1単位の言語教育科目	1単位×45時間＝45時間 （実時間で2,025分）	100分×14週＝1,400分 （実時間）	2,025分－1,400分＝625分（実時間） →約45分/週の授業外学習が必要 （625分÷14週＝44.64…分）
週1回開講2単位の講義科目	2単位×45時間＝90時間 （実時間で4,050分）		4,050分－1,400分＝2,650分（実時間） →約190分/週の授業外学習が必要 （2,650分÷14週＝189.28…分）

※本学には、4単位の授業科目や週2回開講の授業科目等、この章で挙げた例以外にも、多様な授業科目が開講されています。

4. 卒業

卒業に必要な単位数や要件は、学部により異なるので、本冊子を参照してください。

5. 成績評価・試験

履修した授業科目は、その学修の成果について試験（定期試験、中間試験および追試験）や平常評価（レポート、授業参加度等）など、授業担当者の教育方針および評価方針に基づいて成績評価が行われ、最終評価において合格することにより、単位が修得できます（各授業科目の成績評価方法は、シラバスの「成績評価」欄に明記）。

なお、本学における授業科目及び卒業論文の成績評価に関しては、大学学則第8条に以下のとおり定められています。

〈2018年度以前入学生〉

本大学における授業科目及び卒業論文の成績評価は、秀又はS（90点以上）・優又はA（80点以上）・良又はB（70点以上）・可又はC（60点以上）、及び、不可又はF（60点未満）とし、秀又はS・優又はA・良又はB、及び、可又はCを合格とする。

〈2019年度以降入学生〉

本大学における授業科目及び卒業論文の成績評価は、S（90点以上）・A+（85点以上）・A（80点以上）・B+（75点以上）・B（70点以上）・C+（65点以上）・C（60点以上）・F（60点未満）とし、S・A+・A・B+・B・C+、及びCを合格とする。

この定めに従い、各キャンパスに設置されている証明書発行機で出力できる成績証明書（有料）には、単位を修得した授業科目の成績評価（S～C）が記載されます（成績評価がF（60点未満）の科目は成績証明書には記載されません）。

また、これとは異なり、各学期の成績発表後に教学 Web サービスで閲覧できる成績通知書（無料）においては、履修済の各授業科目の評価を素点（0点～100点）^{*}で記載しています。

※評点での評価を行っていない一部の授業科目については、成績通知書においても評価（S・A+・A・B+・B・C+・C・F）が記載されます。

成績評価・試験については、P.29～30に記載の成績評価・試験規程（抜粋）を参照してください。なお、定期試験はすべて、授業を開講しているキャンパスにて受験してください。また、追試験における受験要件および成績評価については、同じく P.30に記載の追試験受験要件および成績評価の取り扱いを参照してください。

6. 本学主催の留学プログラムと試験が重複した際の取り扱い

本学主催の留学プログラム^{*1}と試験^{*2}が重なった^{*3}際には、代替的な評価を行うことで全学的に対応します。留学プログラムに参加するために試験が受けられない場合は、教学 Web サービス（※2021年夏に新しいポータルサイトに移行予定）等で大学から案内される申請方法を確認の上、所定の手続きを行ってください。なお、申請のない場合は対象となりませんので注意してください。

- ※1 対象は本学主催の留学プログラムのみ（オンラインプログラム含む）です。学外のプログラムは対象となりません。
- ※2 ここでの試験とは、定期試験、中間試験、追試験、および補講・試験日に平常評価として実施する試験（授業中試験等）を指します。
- ※3 留学期間と試験実施日が重複し、対面での試験が受けられない場合に限り対象となります。留学のための準備等と試験実施日との重複は対象となりません。

7. GPA 制度

(1)制度と設定基準

本学では Grade Point Average（以下、GPA という）制度を実施しています。本制度は、各自が履修した科目の成績評価に対して、一定の Grade Point（以下、GP という）を与え、その合計の加重平均を GPA として提示する成績評価方法です。この制度を通じて、学生自身が自分にとって必要とする科目が何かを考えること、自己の履修を管理し、学習成果がどのレベルに位置するかを把握し、さらなる勉学意欲を高めるための指標とすることが重要です。GPA は、各自の成績表・成績証明書に掲載します。本学での GP の設定基準と、GPA 算出式は以下のとおりです。

なお、GPA の算定対象には、卒業に必要な単位であるかどうかなどに関わらず、本学で開設している全ての科目が含まれます。ただし、認定する科目については、GP を与えず、GPA の算定対象科目としない場合もあります。

【GP の設定基準】

〈2019年度以降入学生〉

100～90点又は S	評価の場合の GP は 4.0
89～85点又は A +	評価の場合の GP は 3.5
84～80点又は A	評価の場合の GP は 3.0
79～75点又は B +	評価の場合の GP は 2.5
74～70点又は B	評価の場合の GP は 2.0
69～65点又は C +	評価の場合の GP は 1.5
64～60点又は C	評価の場合の GP は 1.0
59～ 0点又は F	評価の場合の GP は 0

〈2018年度以前入学生〉

100～90点又は S	評価の場合の GP は 4
89～80点又は A	評価の場合の GP は 3
79～70点又は B	評価の場合の GP は 2
69～60点又は C	評価の場合の GP は 1
59～ 0点又は F	評価の場合の GP は 0

【GPA 算出式】

$$\text{GPA} = \frac{[(\text{科目の単位数}) \times (\text{その科目の評価のGP})] \text{の総和}}{(\text{履修登録した単位数}) \text{の総和}}$$

(2)履修の中止

本制度の主旨に則り、授業開始約 2 カ月後の時点において、各学部等が定めた科目において、所定の手続き（教学 Web サービス（※2021年夏に新しいポータルサイトに移行予定）で申請）をすることにより履修の中止をすることができる制度も併せて設けています。

(3)成績優秀者の顕彰

成績優秀者を学期毎に掲示にて顕彰しています（顕彰する基準等については各学部にて異なる）。また、学期ごとの顕彰とあわせて、GPA 上位 5 % の者に対し、第 2・3・4 学年度末に顕彰しています。第 2・3 学年度末には 1 年間、第 4 学年度末には 4 年間の GPA について顕彰しています。特に、4 年間の GPA 上位 5 % の卒業生には、卒業式に学長名の GPA 表彰状を授与します。その他、学部によっては、成績優秀者に対して履修単位数制限の緩和措置を行っている場合があるので、履修単位数制限、履修登録のページなどで確認してください。

8. 授業形態

2021年度から、授業の形態が次の 4 つとなります。なお、2021年度の授業は基本的に対面授業で実施されますが、一部の授業科目においてはオンライン授業で実施されることがあります。また、各授業科目の授業形態は、シラバスの「授業方法」欄に明記しています。

(1)対面授業

- ・指定された学期の指定された曜日・時限に、指定された教室、指定されたキャンパスにおいて、授業担当者と履修者が対面する形式で行われる授業。

(2)同時双方向型オンライン授業 ※以下、同時双方向型と表記

- ・オンライン授業の一形態。指定された学期の指定された曜日・時限に授業がオンライン上でライブ配信され、履修者は配信された授業に参加（出席）する。ライブ配信であるため、双方向（授業担当者⇄履修者）のコミュニケーションが可能。
- ・対面授業と同様に、曜日・時限、教室、キャンパスの設定があるため、授業の一部を対面授業で実施することがある。
- ・配信後に設問解答、添削指導、質疑応答、学生同士の意見交換の場などによる十分な指導やサポートが行われる。

(3)オンデマンドA型オンライン授業（時間割設定あり） ※以下、オンデマンドA型と表記

- ・オンライン授業の一形態。指定された学期の指定された曜日・時限までに、予め収録された授業が配信され、履修者は配信後の任意の時間に授業を視聴する。
- ・対面授業と同様に、曜日・時限、教室、キャンパスの設定があるため、授業の一部を対面授業で実施することがある。
- ・配信後、オンラインで授業担当者と質疑応答・意見交換等のやり取りができる機会が設定される。

(4)オンデマンドB型オンライン授業（時間割設定なし） ※以下、オンデマンドB型と表記

- ・オンライン授業の一形態。シラバスで明記された時期までに、予め収録された授業が配信され、履修者は任意の時間に授業を視聴する。
- ・配信後、オンラインで授業担当者と質疑応答・意見交換等のやり取りができる機会が設定される。

9. シラバス

シラバスとは「各授業科目の詳細な授業計画」を指します。本学のシラバスは教学 Web サービス（※2021年夏に新しいポータルサイトに移行予定）から検索・閲覧ができ、授業目的、到達目標、授業計画、授業外学習、教科書、成績評価方法等の基礎的な情報をはじめ、次の事項を含む様々な授業に関連する情報が集約されているため、履修計画を立てる際に参照してください。

- ・授業形態（詳細は上記「8. 授業形態」参照）：「授業方法」欄で確認してください。
- ・オンデマンドB型の配信時期：各回の「授業外学習」欄で確認してください。
- ・新型コロナウイルスの感染状況等により定期試験や定期試験に代わるリポートが実施できなくなった場合の代替評価方法：「成績評価備考」欄で確認してください。

10. 科目ナンバリング（科目ナンバー）

科目ナンバリングとは授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みです。対象とするレベルが示されているので、適切な授業科目を選択する助けとなります。また、国内外の他大学で行われているナンバリングとの照合によって、単位互換の促進、提携校とのカリキュラムの対照作業にも役立てることができます。

本学のナンバリング体系は以下のとおりです。詳細については各学部・センターのカリキュラム説明を参照してください。

ナンバー	位置づけ	位置づけ詳細
100	学士課程において基礎的な内容を取り扱う科目	・初年次の入門的、基礎的な知識を修得する専門教育科目 ・初年次の必修科目、基礎的な総合教育科目・全学科目
200	学士課程において基盤となる科目	・各専門分野の基本的な内容を扱う専門教育科目 ・学際的、発展的内容を扱う総合教育科目・全学科目
300	学士課程において応用的要素の強い科目	・各専門分野の実践的・応用的要素が強い内容を扱う専門教育科目 ・特定のテーマ、分野に関する実践的・応用的要素が強い内容を扱う総合教育科目・全学科目
400	学士課程において最も専門性の高い科目	・各専門分野で学部学生が学修する最終段階の水準科目（卒業研究、卒業論文など） ・大学院開設科目と連携して開講している科目

11. 履修基準年度

各授業科目には、単位とともに履修基準年度が定められています。履修基準年度とはその授業科目を履修できる最低学年度を表すものです。

履修基準年度1年・・・第1・2・3・4学年度生が履修できます。

履修基準年度2年・・・第2・3・4学年度生が履修できます（1学年度生は履修不可）。

履修基準年度3年・・・第3・4学年度生が履修できます（1・2学年度生は履修不可）。

履修基準年度4年・・・第4学年度生が履修できます（1・2・3学年度生は履修不可）。

12. 各授業形態のシステム上の設定

システム上の授業形態ごとの設定は下表のとおりとなります。シラバス上や履修申請時において、画面上ではこの設定に従い、下表の括弧（ ）内の例のように表示がされます。

〈システム上の設定一覧（括弧内は画面上の表示例）〉

授業形態		学期	曜日・時限	教室	キャンパス
対面授業		指定あり (春学期)	指定あり (月曜1時限)	指定あり (B-101)	指定あり (西宮上ヶ原キャンパス)
オンライン授業	同時双方向型	指定あり (春学期)	指定あり (月曜1時限)	指定あり (B-101)	指定あり (西宮上ヶ原キャンパス)
	オンデマンドA型	指定あり (春学期)	指定あり (月曜1時限)	指定あり (B-101)	指定あり (西宮上ヶ原キャンパス)
	オンデマンドB型	指定あり (春学期)	指定なし (集中・その他)	指定なし (オンライン)	指定なし (オンライン)

※同時双方向型およびオンデマンドA型は共にオンライン授業ですが、曜日・時限、教室、キャンパスの設定があり、一部の授業では指定された曜日・時限に、指定された教室、キャンパスで対面授業が実施されることもあります。

※オンデマンドB型は、曜日・時限の設定をせず、教室、キャンパスはいずれもオンライン教室、オンラインキャンパスとします。シラバス上や履修申請時における画面上では、一律、上表の括弧内のような表示となります。

13. キャンパス間の移動を伴う履修

西宮上ヶ原・西宮聖和・神戸三田およびオンラインの各キャンパス間の移動を伴う履修に関し、以下のとおり取り扱います。

まず、同時双方向型およびオンデマンドA型で実施される授業科目については、曜日・時限、開講キャンパスおよび教室の設定があるため、下表の取り扱いの対象となります。

〈対面授業・同時双方向型・オンデマンドA型の取り扱い〉

キャンパス	履修の取り扱い
西宮上ヶ原・西宮聖和 ⇔ 神戸三田	連続した授業の履修は不可。
西宮上ヶ原 ⇔ 西宮聖和	連続した授業の履修は不可。ただし、チャペルアワーを挟んだ1時限目と2時限目、および昼休みを挟んだ2時限目と3時限目の連続履修は可能。

次に、オンデマンドB型で実施される授業科目は、曜日・時限の設定はなく、開講キャンパスおよび教室がいずれも「オンライン」となるため、下表のとおりすべての授業科目と連続しての履修が可能です。

〈オンデマンドB型の取り扱い〉

キャンパス	履修の取り扱い
オンライン ⇔ 西宮上ヶ原・西宮聖和・ 神戸三田・オンライン	連続した授業であっても履修は可。

※オンラインキャンパスとなるのは、オンデマンドB型のみです。

《ご参考》

キャンパス間の移動を伴う履修の一例

時限	受講キャンパス	授業形態	
1 時限目	神戸三田	対面授業	× 履修不可
チャペルアワー			
2 時限目	西宮上ヶ原	同時双方向型	○ 履修可
昼休み			
3 時限目	西宮聖和	オンデマンドA型	○ 履修可
4 時限目	オンライン	オンデマンドB型	
5 時限目	神戸三田	対面授業	○ 履修可

14. 暴風警報・暴風雪警報・特別警報発令、交通機関運行遅延など不測の場合の措置

取り扱いについては、大学学部の授業・試験実施に関する警報発令及び交通機関の運行停止等の場合の取扱要領（抜粋）を参照してください。

オンライン授業は警報等が発令された場合であっても休講とはなりません、以下のような場合は休講となります。

- ・履修者を対面で受講するグループとオンラインで受講するグループに分け、授業を実施している場合
- ・一部対面授業で実施するオンライン授業で、その回を対面授業で実施している場合

ただし、自宅等の地域に避難準備・避難勧告・避難指示が発令される等、身の危険を感じる場合は、避難するなど適切な行動をとってください。欠席の取扱いについては、大学として担当教員に配慮をお願いしています。

大学学部の授業・試験実施に関する警報発令及び交通機関の運行停止等の場合の取扱要領（抜粋）

この取扱要領は、警報発令及び交通機関の運行停止等の場合の、学部における授業・試験実施について定めるものである。

- 1 別表のいずれかの地域・市町村に暴風警報、暴風雪警報、特別警報（大雨、暴風、高潮、波浪、暴風雪、大雪）が発令されている間は授業・試験を行わない。なお、取り扱いの詳細は第2項以下に定める。また、中止となった定期試験・中間試験については原則として試験予備日に振り替えて実施する。
- 2 暴風警報、暴風雪警報、特別警報が発令された場合の授業・試験実施については次のとおりとする。

授業・試験実施キャンパス〈西宮上ヶ原・西宮聖和〉

6:00までに別表の地域全ての暴風警報、暴風雪警報、特別警報が解除されたとき	平常通り授業・試験を行う。
8:00までに解除されたとき	第2時限から授業・試験を行う。
10:30までに解除されたとき	第3時限から授業・試験を行う。
12:00までに解除されたとき	第4時限から授業・試験を行う。
12:00を過ぎても解除されないとき	全日休講・全日試験中止とする。

授業・試験実施キャンパス〈神戸三田〉

6:00の時点で解除されないとき	全日休講・全日試験中止とする。
------------------	-----------------

- 翌日の6:00以降の暴風警報、暴風雪警報、特別警報の発令が見込まれる場合は、学長の判断により、第2項に準じて休講・試験中止とする時限を決定することがある。
- 特別警報に位置付ける警報（津波、火山、地震（地震動））が発令された場合は学長の判断による。
- 交通機関の運行遅延・停止が発生した場合あるいは運行停止が予告された場合は、対象路線・運行開始予定時刻等を考慮のうえ、措置するキャンパスを含めた対応を学長の判断により決定する。
- 本取扱要領に定めのない事態については、学長の判断による。
- この取扱要領の改廃は、大学評議会において決定する。

(略)

別表

	地 域	市町村
兵庫県	阪 神	神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町
	北播丹波	西脇市、丹波篠山市、丹波市、多可町
	播磨南東部	明石市、加古川市、三木市、高砂市、小野市、加西市、加東市、稲美町、播磨町
大阪府	大阪市	大阪市
	北大阪	豊中市、池田市、吹田市、高槻市、茨木市、箕面市、摂津市、島本町、豊能町、能勢町
	東部大阪	守口市、枚方市、八尾市、寝屋川市、大東市、柏原市、門真市、東大阪市、四條畷市、交野市
	南河内	富田林市、河内長野市、松原市、羽曳野市、藤井寺市、大阪狭山市、太子町、河南町、千早赤阪村
	泉 州	堺市、岸和田市、泉大津市、貝塚市、泉佐野市、和泉市、高石市、泉南市、阪南市、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町

15. 授業の録音・撮影、授業の資料等の使用

授業担当者が作成した資料や教材、データ、授業内容は授業担当者の著作物です。受講生が授業の録音・撮影を希望する場合、あるいは授業の資料等の使用を希望する場合は、事前に授業担当者の許可を得てください。

16. 授業に関する調査

「学修行動と授業に関する調査」は、次の3点を目的として実施しています。①学生の学修行動・成果の振り返り、②授業の改善、③教育内容・環境の整備。学生は責任ある態度で回答することが求められます。調査の方法は授業により異なり、授業中にアンケート用紙等を用いて行う場合とLUNA（Web）を利用して行う場合があります。

17. 教職課程等

取得を希望する免許等により次のとおりとなります。

■ 中学校、高等学校の教育職員 1 種免許状

入学時に開催される教職課程説明会および教職教育研究センター窓口等にて配付する『教職課程等履修要項』を参照してください。ただし、教育学部の学生は教育学部の履修心得を参照してください。

■ 幼稚園、小学校、特別支援学校の教育職員 1 種免許状及び保育士の各資格

教育学部の履修心得を参照すること。ただし、これらの資格取得は教育学部生に限られます。

■ 学校図書館司書教諭・博物館学芸員・国際バカロレア教員資格（IBEC）の各資格

入学時に開催される教職課程説明会および教職教育研究センター窓口等にて配付する『教職課程等履修要項』を参照してください。ただし、教育学部の学生は教育学部の履修心得を参照してください。なお、国際バカロレア教員資格（IBEC）は2019年度以降入学生のみ取得可能です。

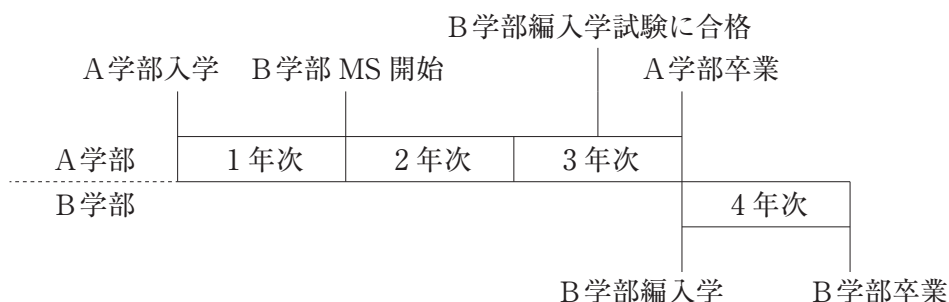
18. 複数分野専攻制〔Multidisciplinary Studies（略称：MS）〕

この制度は、他学部や学部以外のセンター等から提供されたプログラムのもと、学部の枠を越えた学問領域を学ぶことによって、幅広い知見と深い専門性を備えた学生を輩出するために設けられています。単なる他学部履修とは異なり一定の体系づけられたプログラムを履修することにより、自学部の学習に軸足を置きながらも、他学部のカリキュラムをまとまった形で学ぶことができます。プログラムの内容、募集要領等詳細については、入学時に配付している『複数分野専攻制への扉』を参照してください。

19. マルチプル・ディグリー制度（略称：MD）

この制度は、上記の MS を利用して、2つの学部を卒業（2つの学位を取得）することができる制度です。制度の概要は、「A学部在学中にB学部提供のMSプログラムを履修し、1つ目のA学部を卒業、その後B学部に編入学制度で入学し、A学部在学中に修得した単位の一部とB学部提供のMSプログラムで修得した単位についてB学部で認定を受け、B学部卒業要件の残りの単位を修得して2つ目のB学部を卒業する」というものです。B学部に編入学制度で入学するには、早期卒業制度を利用する場合は3年次の秋学期に、通常卒業の場合は4年次の秋学期に編入学試験を受験し、合格することが必要です。成績優秀者で早期卒業制度を利用できる場合は、A学部を3年で卒業し、最短の4年間で2つの学位を取得することができます。2つの学位を取得するケースとしては以下のとおりです。なお、「早期卒業制度」が適用される学部、「4年次編入」制度が設置されている学部は限られており、該当する学部を各ケースに示しています。詳細は教務機構事務部または学部事務室へ問い合わせてください。

■ 4年で2学位を取得するケース（最短：「早期卒業制度」と「4年次編入」の併用）



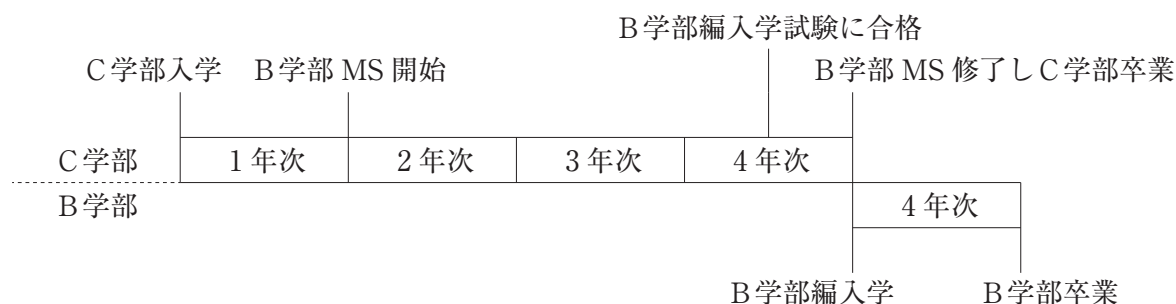
A学部：社会・法・経済・商・人間福祉・国際学部が該当。

1年次に入学後、A学部所定のカリキュラムを履修しながら、2・3年次開始のB学部MSプログラムを履修し、「早期卒業制度」により3年間で卒業。

B学部：神・文・社会・法・経済・商・国際学部が該当。

A学部を3年間で卒業後、B学部4年次に編入学し、B学部の卒業要件のうちの残りの単位を1年間で修得して卒業。

■ 5年で2学位を取得するケース（その1：「通常卒業」と「4年次編入」の併用）



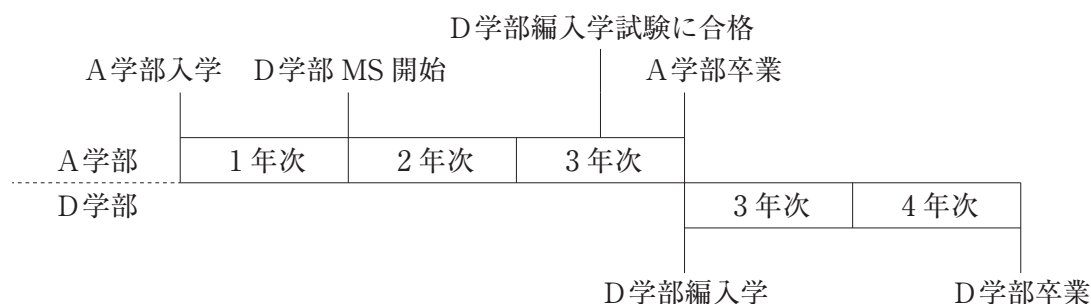
C学部：神・文・社会・法・経済・商・人間福祉・教育・国際学部が該当。

1年次に入学後、C学部所定のカリキュラムを履修しながら、2・3年次開始のB学部MSプログラムもあわせて修了し、4年間で卒業。

B学部：神・文・社会・法・経済・商・国際学部が該当。

C学部を4年間で卒業後、B学部4年次に編入学し、B学部の卒業要件のうちの残りの単位を1年間で修得して卒業。

■ 5年で2学位を取得するケース（その2：「早期卒業制度」と「通常（3年次）編入」の併用）



A学部：社会・法・経済・商・人間福祉・国際学部が該当。

1年次に入学後、A学部所定のカリキュラムを履修しながら、2・3年次開始のD学部MSプログラムを履修し、「早期卒業制度」により3年間で卒業。

D学部：文・社会・経済・国際学部が該当。

A学部を3年間で卒業後、D学部3年次に編入学し、D学部の卒業要件のうちの残りの単位を2年間で修得して卒業。

5. 成績評価・試験規程（抜粋）

- 第1条 この規程は、本大学学生の成績評価及び試験等について必要な事項を定めることを目的とする。
- 第2条 授業科目及び卒業論文の成績は、試験等の方法により学修の成果について、これを評価する。
- 第3条 試験は定期試験、中間試験及び追試験に分ける。
- 第4条 定期試験は春学期末及び秋学期末の所定の期間に一定の時間割により行う。
- 第5条 中間試験は通年の授業科目について、春学期末の所定の期間に一定の時間割により行うことができる。
- 第6条 追試験は定期試験にさいして病気その他やむを得ない事由により受験できなかった者に対し、当該授業科目について行うことができる。
- 第7条 定期試験、中間試験及び追試験は筆記又は口答とし、報告又は論文をもって代えることができる。本学主催の留学プログラムに参加するために定期試験、中間試験及び追試験を受験できない者には、個別に成績評価を行う。
- 第8条 定期試験、中間試験及び追試験はすべて当該学部教授会が担当する。
- 第9条 定期試験、中間試験又は追試験を受験する者は試験場において、原則として本大学所定の学生証を机上に置いて受験しなければならない。
- 第10条 追試験を受けるためには、受験することができなかった事由の証明書又は報告書（病気による場合は医師の診断書）を添えて追試験願を学部長宛に提出し、教授会の承認を得なければならない。
- 2 追試験を受ける者は、所定の受験料を学院財務課に納入しなければならない。ただし、次の者については受験料を免除する。
- 1 学校保健安全法施行規則に定める「学校において予防すべき感染症」のため登校停止となった者
 - 2 裁判員制度により、候補者として裁判員等選任手続に参加する者又は裁判員・補充裁判員として職務に従事する者
 - 3 公共交通機関の遅延又は運行停止等の事由により、定期試験を受験することができなかった者
- 第11条 定期試験、中間試験又は追試験にさいして自然災害、公共交通機関の遅延若しくは運行停止等の事由により受験できない者が多数発生すると判断される場合には、全学的な対応として、当該授業科目について代替試験を行うことができる。
- 2 代替試験は教務機構長の判断により行う。
 - 3 代替試験の実施は当該学部教授会が担当する。
 - 4 本規程第7条及び第9条はこれを代替試験に準用する。
 - 5 追試験の代替試験については、論文に代えることができる。
- 第12条 代替試験を受けるためには、受験することができなかった事由を証明又は説明する書面を添えて代替試験願を学部長宛に提出しなければならない。
- 2 代替試験については受験料を徴収しない。
- 第13条 定期試験、中間試験、追試験及び代替試験によらず、平常評価による成績評価を行うことができる。
- 第14条 成績評価及び成績評価に対して与えるグレードポイントは次のとおりとする。
- 〈2018年度以前入学生〉
- 1 成績評価は、秀又はS（90点以上）・優又はA（80点以上）・良又はB（70点以上）・可又はC（60点以上）、及び、不可又はF（60点未満）とし、秀又はS・優又はA・良又はB、及び、可又はCを合格とする。

- 2 グレードポイントは、秀又はS（90点以上）は4、優又はA（80点以上）は3、良又はB（70点以上）は2、可又はC（60点以上）は1、及び、不可又はF（60点未満）は0とする。

〈2019年度以降入学生〉

- 1 成績評価は、S（90点以上）・A+（85点以上）・A（80点以上）・B+（75点以上）・B（70点以上）・C+（65点以上）・C（60点以上）・F（60点未満）とし、S・A+・A・B+・B・C+、及びCを合格とする。
- 2 グレードポイントは、S（90点以上）は4.0、A+（85点以上）は3.5、A（80点以上）は3.0、B+（75点以上）は2.5、B（70点以上）は2.0、C+（65点以上）は1.5、C（60点以上）は1.0、及びF（60点未満）は0とする。

第15条 追試験の成績は原則として減点する。

第16条 代替試験の成績は減点しない。ただし、追試験の代替試験の成績は、追試験に準じて取り扱う。

第17条 成績評価の結果は一定の期間内に授業科目担当教員によって、教授会に報告されなければならない。

第18条 次の者は試験等を受け、成績評価を得ることができない。

- 1 履修の届出をしていない者
- 2 学費未納者
- 3 教授会において受験することを不適当と認めた者

第19条 この規程に基づいて、各学部は運用のための内規を定めることができる。

備考

- 1 第10条第2項の受験料は、1科目について1,000円とする。
- 2 第14条に定める他に、認定する科目についてはグレードポイントを与えず、Pと表記する。

追試験受験要件および成績評価の取り扱い（各学部の内規を併せて参照すること）

追試験受験要件	成績評価	受験料
(1) 二親等以内の親族の死亡	100%	1,000円
(2) 本人の病気	80%	1,000円
(3) 試験当日の事故	80%	1,000円
(4) 学校において予防すべき感染症による登校停止	100%	免除
(5) 裁判員制度により、候補者として裁判員等選任手続に参加又は裁判員・補充裁判員として職務に従事する場合	100%	免除
(6) 公共交通機関の遅延又は運行停止等	100%	免除
(7) 学生連盟加盟団体に所属する学生が、各競技等の国内統括団体主催競技会等に参加資格を有し、春学期・秋学期定期試験期間と競技会等の日程が重複する場合	100%	1,000円
(8) その他、追試験を受けるに相当する理由と教授会が認めるもの	80%	1,000円
上記(1)、(4)、(5)、(6)、(7)の場合を除き追試験の評点は20%を減じる。 (1)～(6)及び(8)については、証明書、診断書又はその事由を説明する書面等を提出し、(7)については、事前に学生活動支援機構が定めた手続を行うこと。		

6. 履修・学習要覧 Web サイトの紹介

本学では、大学での学びに関する基本的な事項をまとめた「履修・学習要覧 Web サイト」(https://www.kwansei.ac.jp/a_affairs/a_affairs_000660.html)を提供しており、次の内容等が掲載されています。科目を履修するにあたって最低限の情報が掲載されているので、必ず目を通しておいください。

■大学、学部理念・目的・教育目標

■『Kwansei コンピテンシー』および DP（学位授与の方針）・CP（教育課程編成・実施の方針）

■関西学院大学 学則

学則とは大学の構成、カリキュラム、卒業、休学、編入学、学生心得など関西学院大学での学生生活の大もととなる規則です。本学の学生は必ず目を通しておいください。また、その他の諸規程（学費、成績評価・試験、警報発令時の授業等の取扱、奨学金、諸施設利用、留学に関する規程等）も本サイトに掲載しています。なお、各学部等事務室のカウンターにも閲覧用資料を設置しているので参照してください。

■全学科目の紹介（教職等資格関連科目の説明含む）

全学科目とは、学部以外のセンター等が提供している科目で、基本的に全ての学部の学生が履修することができます。学部を超えて、他の学部の学生と一緒に学ぶことができるなど、学部提供の科目とは異なった魅力があります。

■各学部内規

■シラバス（授業実施要綱）

P.23「9. シラバス」を参照してください。

■教員等紹介

教員等の教育研究内容等を閲覧することができます。

■オフィス・アワー

大学の出会いのなかで最も大きなものの一つが、教員との出会いです。ゼミナール（演習）や講義の担当者である教員とは日常の大学生活のなかでコミュニケーションをとることはできますが、講義での疑問点や関心のある問題への取り組み方などの勉学に関すること、そのほか学生生活に関することなど相談事があれば、積極的に本学の専任教員と直接話し合い、指導を受けることによって、より深いコミュニケーションをとることができます。

そして、専任教員への積極的なアプローチの場として設けられているのが、オフィス・アワーであり、各教員のオフィス・アワー時間帯を本サイトに掲載しています（教員所属の学部等掲示板にも掲出しています）。専任教員は、オフィス・アワーとして設けられた時間帯に、特別の所用がない限り個人研究室など所定の場所にいます。

なお、役職についている専任教員のオフィス・アワーは予約制となるので、役職者に面会を希望する場合には、関係事務室に前もって問い合わせてください。

7. 一般注意事項

1. 学生証

学生証は常に携帯してください。試験や手続きの際は、必ず学生証の呈示が求められますので、紛失・汚損等の場合は早急に取扱窓口にて再発行手続きをとってください（再発行手数料が必要）。

キャンパス	西宮上ヶ原	神戸三田	西宮聖和
取扱窓口	学生課	キャンパス事務室	教育学部

2. 掲示・教学Webサービス(※)

大学における学生への連絡・通知は掲示および教学 Web サービス(※)によることを原則としています。

登校時には必ず掲示板を、また定期的に教学 Web サービス(※)を確認してください。掲示・教学 Web サービス(※)を見なかったという理由で責任を逃れることはできません。

他学部開講科目および全学科目等についての掲示は、当該学部や関連センター等の掲示板で行われますので、十分に注意してください。

なお、事務室への電話による問い合わせには一切応じません。

(※)教学 Web サービスは2021年夏に新しいポータルサイトに移行します。アクセス方法や上記ルールの変更など詳細は2021年夏までに教学 Web サービス等でお知らせします。

3. 学部事務室開室時間

キャンパス	学 部	事務室開室時間
西宮上ヶ原	神・文・社会・法・経済・商・人間福祉・国際	月～金曜日 8:50～11:30、12:30～16:50
西宮聖和	教育	
神戸三田	理工・総合政策・理・工・生命環境・建築	月～金曜日 9:00～11:30、12:30～17:00

※土曜日は事務室を開室しません。

なお、夏季休業中、冬季休業中の事務室開室日および時間については、掲示により通知します。

4. 各種変更手続き

保証人、氏名等に変更が生じた場合、速やかに所属学部事務室に届け出てください。

現住所の変更については、教学 Web サービス(※)で修正してください。

(※)2021年夏から新しいポータルサイトに移行します。

5. パソコンの利用

学内ではパソコン教室や図書館でパソコンを利用することができます。ただし、パソコン教室は授業で使用する可能性があるため、授業利用時以外（オープン利用時）のみ使用できます。各キャンパスのパソコン教室等の利用状況は、<http://pcstatus.kwansei.ac.jp/pclist/pc/>の「PC 教室空席状況」で確認することができます。

また、個人所有のデバイス（スマートフォン、タブレット、ノートパソコンなど）を学内のネットワークに接続して利用することもできます。

6. 証明書等

■証明書発行機の設置場所

設 置 場 所		台数	利 用 時 間 帯
西宮上ヶ原	学生サービスセンター 1階	2台	月～金曜日 8:50～16:50
	大学図書館 1階	1台	
	G号館 1階	1台	
神戸三田	I号館 1階	1台	月～金曜日 9:00～17:00
	VI号館 1階	1台	
大阪梅田	アプローズタワー 14階 (ラウンジ)	2台	月～金曜日 10:30～21:00 土曜日 10:30～20:00 日曜日 10:30～17:00
西宮聖和	I号館 1階 (教育学部・短期大学事務室前)	2台	月～金曜日 8:50～16:50

注) メンテナンス等により利用時間帯であっても使用できない場合がありますので注意してください。

利用に際しては、本人確認のため「学生証」およびパスワードが必要です。パスワードは入学時に仮パスワードとして各人の誕生日（1月7日生まれの場合は「0107」）があらかじめ発行機に登録されています。仮パスワードは、できるだけ早く任意のパスワードに各人で変更（証明書発行機で変更可能）を行ってください。

■証明書発行機で発行する証明書

○：発行可 ×：証明書発行機による発行不可

種 類	和 文	英 文
在学証明書	○	○
成績証明書	○	○
卒業見込・成績証明書 (発行開始日は掲示で告知)	○	○
健康診断証明書 (保健館のホームページに発行方法を掲載)	○	×
教育職員免許状取得見込証明書 (発行開始日は掲示で告知)	○	×
学割証	○	×
卒業・学士学位証明書 (発行期間は掲示で告知)	○	○

■上記以外の各種申込書

証明書発行機で関係する各種「申込書」を購入のうえ、所属学部等事務室に申し込んでください。発行は、原則として申し込みの翌日、証明書の種類によっては作成に2日以上かかる場合もあるため、余裕を持って申し込んでください。

7. 授業の欠席

本学には「公欠」制度はありません。病気や身内の死亡等をやむを得ず授業を欠席する場合も、その扱いは授業担当者の判断となります。やむを得ず授業を欠席する場合は、事前（不可能であれば事後）に直接授業担当者に相談してください。

■「学校保健安全法施行規則」に定める「学校において予防すべき感染症」のための登校停止の場合

罹患または罹患した疑いがある場合は、学内感染を予防するため登校停止としていますので、ただちに次の URL または QR コードから申請をしてください。教務上の配慮を行います。

<https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=MATZn9TuPk6aWibNINnls33MiX2EzHdLv45lgt7jE2ZUMUEwWkpSTlpZSEclQk1aVUwzRTc3TzRTMCQlQCN0PWcu>

※ログインを求められますので、関学の ID・パスワードを入力してログインしてください。



なお、主治医から登校許可が出たら、「学校感染症・登校許可証明書」を記載してもらい、必ず登校時に学部事務室へ提出してください。届出がない場合は、登校停止期間が確定できないため、教務上の配慮はできません。詳細は教務機構ホームページ（https://www.kwansei.ac.jp/a_affairs）「感染症への対応について」を確認してください。

■裁判員制度による候補者として裁判員等選任手続きへの参加や裁判員・補充裁判員として職務に従事する場合

呼出状を持参のうえ、所属学部事務室に申し出てください。教務上の配慮を行います。

8. 授業の長期欠席

病気等によって1ヵ月以上授業を欠席する場合は、所属学部事務室に連絡の上、必要な手続きを行ってください。

9. 学 費

春学期と秋学期の2回に分けて学費を納入するシステムをとっています。

保証人の方に学費納入用紙を郵送しますので、各学期の納入期限までに納入してください。納入期限は曜日により前後することがありますので、詳しくは学費納入用紙を参照してください。

〈学費納入期限〉 春学期：5月19日

秋学期：11月9日

なお、学則で別途定める期限までに学費を納入できない場合には除籍となります。詳細については学費納付規程を確認してください。

〈延納手続〉

期限までに納入することができない場合は納入期限を延長することができます。

納入期限までに所属学部事務室で詳細確認の上手続きをしてください。

10. 各種相談

相談がある場合は、所属学部事務室、所属する演習の担当教員、各教員のオフィス・アワーを利用してください。その他、学生生活の各種相談は学生生活支援機構、留学の相談は国際教育・協力センター、就職の相談はキャリアセンターで受け付けています。

また、総合支援センター学生支援相談室ではカウンセラーによる相談も行っています。健康上の問題については保健館を利用してください。

8. 早期卒業制度について

所定の単位を優秀な成績をもって修得した者については、早期に本学の大学院で教育を受けることができるよう、次の条件を満たした場合、在学期間3年での早期卒業制度を設けています。希望者は法学部事務室に「早期卒業願」（法学部所定用紙）を提出することが必要です。

本学法学部の学生で本学部で3年以上在学し（休学期間を除く）、次の3つの条件を満たす者。

1. 卒業に必要な単位をすべて修得していること。
2. 卒業に必要な単位に含むことのできる科目の平均点が80点以上またはGPAが2.50以上であること。
3. 本学大学院法学研究科の前期課程一般入学試験、前期課程特別入学制度入学試験または本学大学院司法研究科の入学試験または本学大学院経営戦略研究科の入学試験またはマルチプル・ディグリー制度による本学他学部の編入学試験に合格すること。

※ GPAの計算方法はP.21～、平均点の計算方法はP.107を参照すること。

早期卒業を志望するセメスター	申請締切日
春学期（9月）卒業	6月末日
秋学期（3月）卒業	2月末日

※なお、締切日が事務室休業日の場合は、翌業務日までとします。

9. 卒業延期制度について

学部に4年以上在学し、卒業に必要な単位を修得した場合でも、卒業延期願を所属学部に申請し許可されれば、1回に限り卒業を延期することができます（最大1年）。

ただし、卒業延期期間中も含め、8年を越えて在学することはできません。

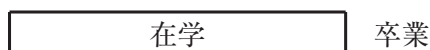
また、休学期間は、在学年数に算入されません。

卒業延期の条件

- ◎卒業延期の申請はセメスター単位で最大2セメスター（1年間）まで。
- ◎2セメスター延期の場合は、初めの1セメスターを休学することができる。
（別途「休学願」の提出が必要です）

ケース1：1セメスターを延期する場合

卒業延期開始・・・→半年後



ケース2：2セメスターを延期する場合

卒業延期開始・・・→1年後



ケース3：2セメスターを延期し、かつ初めの1セメスターを休学する場合

卒業延期開始・・・→1年後



申請手続き

所属学部の事務室で「卒業延期願」を受け取り、必要事項を記入、学生本人・保証人連署のうえ、所属学部の事務室に提出してください。

ただし、「卒業延期願」を申請しても、卒業判定の結果、卒業の要件を満たさなかった場合は、申請は無効となります。次回以降の卒業スケジュールで卒業を延期する必要がある場合は、改めて申請してください。

卒業要件を満たすセメスター	申請締切日
春学期（9月）卒業	8月末日
秋学期（3月）卒業	2月末日

※なお、締切日が事務室休業日の場合は、翌業務日までとします。

カリキュラム

I カリキュラム概要

1. 法学部の卒業に必要な単位
2. コースの所属

I カリキュラム概要

法学部では「ソーシャル・アプローチ」の教育理念に基づき、広く人々のために貢献できる人物を育むためのカリキュラム（教育課程）が編成されています。法学部のカリキュラムは、「大学学則」および「法学部内規」に基づいて体系的に設計されており、原則として、入学時に施行されている規則が卒業するまで適用されます。

1. 法学部の卒業に必要な単位

法学部における卒業に必要な最低単位数は、下表のとおりです。なお、法学部におけるカリキュラムの詳細は、「教育課程表（巻末）」にまとめられています。入学年度や学科によって適用される教育課程表が異なるため、十分に注意してください。

【2021年度以降入学生】

- 法学部における卒業に必要な単位数は次のとおりです。

科 目 群	卒業必要単位数
基礎科目群	40
教職等関連科目 （学校図書館司書教諭課程・ 国際バカロレア教員養成プログラム関連科目を含む）	
他学部開設科目	
専門科目群	74
任意の科目	10
合 計	124※

※卒業必要単位数124単位のうち、必ず2単位以上法学部演習科目から修得すること。

（教育課程表には科目名称の前に“◎”を付記）

科目は巻末の教育課程表に掲載しています。

〈履修上の注意〉 年度によって開講されない科目があります。

入学年度によって履修上のルールが異なる場合がありますので履修心得で確認してください。

一部の科目は卒業単位に算入されませんので注意してください。

（教育課程表には科目名称の前に“□”を付記）

基礎科目群・教職等関連科目・他学部開設科目

- 卒業に必要な単位数は次のとおりです。

科 目 群			必修科目	選択必修科目	選択科目	合計
基礎科目群	キリスト教科目		4 単位	—	20単位	40単位
	言語科目		8 単位	8 単位		
	教養科目	教養教育科目／全学科目（言語教育科目／スポーツ科学・健康科学科目／情報科学科目／AI 活用人材育成科目／グローバルスタディーズ科目／ライフデザイン科目／基盤・学際科目）	—			
教職等関連科目		—				
他学部開設科目			—			

専門科目群

- 卒業に必要な単位数は次のとおりです。

法律学科

専門科目群				
卒業必要単位数				
①専門導入科目		6 単位		
②専門基幹科目	②-1 実定法科目	10単位	左記12単位を含み 16単位 ※ 1	左記40単位を含み 68単位 ※ 3
	②-2 政治学科目			
③演習科目		スタディスキル演習 2 単位必修		
④コース専門科目		(選択したコースより) 24単位		
⑤選択専門科目				

政治学科

専門科目群				
卒業必要単位数				
①専門導入科目		6 単位		
②専門基幹科目	②-1 政治学科目	10単位	左記14単位を含み 16単位 ※ 2	左記40単位を含み 68単位 ※ 3
	②-2 実定法科目	2 単位		
③演習科目		スタディスキル演習 2 単位必修		
④コース専門科目		(選択したコースより) 24単位		
⑤選択専門科目				

※ 1 法律学科

②専門基幹科目、③演習科目の必修、選択必修合計12単位を含み、16単位必要です。
つまり、各区分の必修、選択必修単位を修得した上で、②、③の区分から、さらに4単位修得しなければなりません（研究演習Ⅰにて残り4単位を充足させることが望ましい）。

※ 2 政治学科

②専門基幹科目（政治学科目・実定法科目）、③演習科目の必修、選択必修合計14単位を含み、16単位必要です。
つまり、各区分の必修、選択必修単位を修得した上で、②、③の区分から、さらに2単位修得しなければなりません（研究演習Ⅰにて残り2単位を充足させることが望ましい）。

※ 3 ②専門基幹科目、③演習科目、④（選択した）コース科目、⑤選択専門科目の区分から、必修、選択必修合計40単位を含み、68単位必要です。
つまり、各区分の必修、選択必修単位を修得した上で、②、③の区分、④（選択した）コース科目や、他コース科目、⑤選択専門科目の区分から、さらに28単位修得しなければなりません。
自分が選択したコース以外のコース科目を、各自の学習ニーズに合わせて修得したり、研究演習や実践演習などの演習科目を多く履修したりして残りの28単位を修得してください。

①専門導入科目

法律学や政治学をはじめて学ぶ1年生を対象に、本格的に専門科目を学修するための基本的な知識を身につけ、実際に起こった事件や身近にある具体的な問題を通して、法律学や政治学の果たす役割に関心を向けるための科目群です。コースと関連の深い科目もあり、今後学びたい分野を見つける手がかりになる科目群です。

- 卒業に必要な単位数……6単位

法律学科

履修基準年度	専門導入科目	
1年	現代の人権	2
	ビジネスと法	2
	国際社会と法	2
	犯罪と法	2
	法のしくみと考え方	2
	地域政策入門A	2
	地域政策入門B	2

政治学科

履修基準年度	専門導入科目	
1年	現代の人権	2
	国際社会と法	2
	政治学入門A	2
	政治学入門B	2
	地域政策入門A	2
	地域政策入門B	2

〈履修上の注意〉 専門導入科目は、研究演習Ⅰを履修登録した年度以降は履修することができません（卒業に必要な専門導入科目6単位は、研究演習Ⅰの履修登録前に修得してください）。

②専門基幹科目

法学、政治学を学ぶ上で不可欠な基本知識をつける科目群です。主要な法律の入門科目や政治の歴史や思想を学びます。

- 卒業に必要な単位数……法律学科／10単位
政治学科／②-1 政治学科目より10単位
②-2 実定法科目より2単位

法律学科

履修基準 年度	専門基幹科目	
	実定法科目	政治学科目
1 年	日本国憲法 2 憲法 A（基本的人権総論） 2 刑法概論 A（総論） 2 民法入門 2 民法総則 4	
2 年	憲法 B（基本的人権各論） 2 刑法概論 B（各論） 2	政治学原論 A 2 比較政治 2 行政学 A 2 国際政治論 A 2

政治学科

履修基準 年度	専門基幹科目	
	政治学科目	実定法科目
1 年	政治史 A 2 政治史 B 2 政治思想 2	日本国憲法 2 憲法 A（基本的人権総論） 2 民法入門 2
2 年	政治学原論 A 2 政治過程論 2 比較政治 2 行政学 A 2 国際政治論 A 2	憲法 B（基本的人権各論） 2

③演習科目

- スタディスキル演習 2 単位が必修です。

法律学科・政治学科

履修基準年度	演習科目
1 年	スタディスキル演習【必修】 2 基本演習 2
2 年	専門導入演習 2 模擬裁判演習 4
3 年	法学研究演習 I 4 政治学研究演習 I 4 法政文化研究演習 I 4
4 年	法学研究演習 II 4 政治学研究演習 II 4 法政文化研究演習 II 4

〈履修上の注意〉

法律学科生は政治学研究演習を、政治学科生は法学研究演習を履修することはできません。

研究演習 I の選択は、履修前年度の10月から開始します。先修条件に注意してください。

※研究演習 I の先修条件は P. 71 を参照

④コース専門科目

多岐にわたる法学・政治学の分野について、各コースのコンセプトに沿って体系的に学修できるように、各授業を設置しています。

- 卒業に必要な単位数は、選択したコースより24単位です。

各コースは、到達目標（学修によりどのような力を身につけることができるか）に応じて、専門科目の学修を効率的、体系的に行えるように設けられています。

【2020年度以前入学生】

- 法学部における卒業に必要な単位数は次のとおりです。

科 目 群	卒業必要単位数
基礎科目群	40
教職等関連科目 (学校図書館司書教諭課程・ 国際バカロレア教員養成プログラム関連科目を含む)	
他学部開設科目	
専門科目群	74
任意の科目	10
合 計	124※

※卒業必要単位数124単位のうち、必ず2単位以上法学部演習科目から修得すること。

(教育課程表には科目名称の前に“◎”を付記)

科目は巻末の教育課程表に掲載しています。

〈履修上の注意〉 年度によって開講されない科目があります。

入学年度によって履修上のルールが異なる場合がありますので履修心得で確認してください。

一部の科目は卒業単位に算入されませんので注意してください。

(教育課程表には科目名称の前に“□”を付記)

基礎科目群・教職等関連科目・他学部開設科目

- 卒業に必要な単位数は次のとおりです。

科 目 群			必修科目	選択必修科目	選択科目	合計
基礎科目群	キリスト教科目		4 単位	—	20単位	40単位
	言語科目		8 単位	8 単位		
	教養科目	教養教育科目／全学科目（言語教育科目／スポーツ科学・健康科学科目／情報科学科目／AI 活用人材育成科目／グローバルスタディーズ科目／ライフデザイン科目／基盤・学際科目）	—			
教職等関連科目		—				
他学部開設科目			—			

専門科目群

- 卒業に必要な単位数は次のとおりです。

法律学科

専門科目群（計74単位以上）				
卒業必要単位数				
①専門導入科目		6 単位		
②専門基幹科目	②-1 実定法科目	8 単位	左記18単位を含み 22単位 ※ 1	左記42単位を含み 68単位 ※ 2
	②-2 政治学科目			
③基礎法科目		8 単位		
④演習科目		スタートアップ演習 2 単位必修		
⑤コース専門科目		(選択したコースより) 20単位		
⑥選択専門科目				

政治学科

専門科目群（計74単位以上）				
卒業必要単位数				
①専門導入科目		6 単位		
②専門基幹科目	②-1 政治学科目	10単位	左記18単位を含み 22単位 ※ 1	左記42単位を含み 68単位 ※ 2
	②-2 実定法科目	6 単位		
③基礎法科目				
④演習科目		スタートアップ演習 2 単位必修		
⑤コース専門科目		(選択したコースより) 20単位		
⑥選択専門科目				

※ 1 ②専門基幹科目、③基礎法科目、④演習科目の必修、選択必修合計18単位を含み、22単位必要です。

つまり、各区分の必修、選択必修単位を修得した上で、②、③、④の区分から、さらに4単位修得しなければなりません（研究演習Ⅰにて残り4単位を充足させることが望ましい）。

※ 2 ②専門基幹科目、③基礎法科目、④演習科目、⑤（選択した）コース科目、⑥選択専門科目の区分から、必修、選択必修合計42単位を含み、68単位必要です。

つまり、各区分の必修、選択必修単位を修得した上で、②、③、④の区分、⑤（選択した）コース科目や、他コース科目、⑥選択専門科目の区分から、さらに26単位修得しなければなりません。

自分が選択したコース以外のコース科目を、各自の学習ニーズに合わせて修得したり、研究演習や実践演習などの演習科目を多く履修したりして残りの26単位を修得してください。

①専門導入科目

法律学や政治学をはじめて学ぶ1年生を対象に、本格的に専門科目を学修するための基本的な知識を身につけ、実際に起こった事件や身近にある具体的な問題を通して、法律学や政治学の果たす役割に関心を向けるための科目群です。コースと関連の深い科目もあり、今後学びたい分野を見つける手がかりになる科目群です。

- 卒業に必要な単位数……6単位

法律学科

履修基準年度	専門導入科目	
1年	現代の人権	2
	ビジネスと法	2
	国際社会と法	2
	犯罪と法	2
	法のしくみと考え方	2
	地域政策入門A	2
	地域政策入門B	2

政治学科

履修基準年度	専門導入科目	
1年	現代の人権	2
	国際社会と法	2
	政治学入門A	2
	政治学入門B	2
	地域政策入門A	2
	地域政策入門B	2

〈履修上の注意〉 専門導入科目は、研究演習Ⅰを履修登録した年度以降は履修することができません（卒業に必要な専門導入科目6単位は、研究演習Ⅰの履修登録前に修得してください）。

②専門基幹科目

法律学、政治学を学ぶ上で不可欠な基本知識をつける科目群です。主要な法律の入門科目や政治の歴史や思想を学びます。

- 卒業に必要な単位数……法律学科／8単位
政治学科／②-1 政治学科目より10単位
②-2 実定法科目と③基礎法科目合わせて6単位

法律学科

履修基準年度	専門基幹科目	
	実定法科目	政治学科目
1年	日本国憲法 2	
	憲法A（基本的人権総論） 2	
	刑法概論A（総論） 2	
	民法入門 2	
	民法総則 4	
2年	憲法B（基本的人権各論） 2	政治学原論A 2
	刑法概論B（各論） 2	比較政治 2
		行政学A 2
		国際政治論A 2

政治学科

履修基準年度	専門基幹科目	
	政治学科目	実定法科目
1年	政治史A 2	日本国憲法 2
	政治史B 2	憲法A（基本的人権総論） 2
	政治思想 2	民法入門 2
2年	政治学原論A 2	憲法B（基本的人権各論） 2
	政治過程論 2	
	比較政治 2	
	行政学A 2	
	国際政治論A 2	

③基礎法科目

法や法学を社会との関係で理論的・歴史的に学ぶ科目群です。

- 卒業に必要な単位数……法律学科／8単位
政治学科／②-2 実定法科目と合わせて6単位

法律学科・政治学科

履修基準年度	基礎法科目			
2年	法社会学A	2	日本近代法史A	2
	法社会学B	2	日本近代法史B	2
	西洋法史A	2	ジェンダーと法A	2
	西洋法史B	2	ジェンダーと法B	2
	日本法史A	2		
	日本法史B	2		
3年	法理学A	2	東洋法史A	2
	法理学B	2	東洋法史B	2
	法思想史A	2	ローマ法A	2
	法思想史B	2	ローマ法B	2

〈履修上の注意〉 司法特修コースの学生は基礎法科目の履修基準年度3年の科目を2年生から履修することができます。

④演習科目

- スタートアップ演習2単位が必修です。

法律学科・政治学科

履修基準年度	演習科目	
1年	スタートアップ演習【必修】	2
	基本演習	2
2年	法政教養演習	2
	模擬裁判演習	4
3年	法学研究演習Ⅰ	4
	政治学研究演習Ⅰ	4
	法政文化研究演習Ⅰ	4
4年	法学研究演習Ⅱ	4
	政治学研究演習Ⅱ	4
	法政文化研究演習Ⅱ	4

〈履修上の注意〉

法律学科生は政治学研究演習を、政治学科生は法学研究演習を履修することはできません。

研究演習Ⅰの選択は、履修前年度の10月から開始します。先修条件に注意してください。

※研究演習Ⅰの先修条件はP.71を参照

⑤コース専門科目

多岐にわたる法律学・政治学の分野について、各コースのコンセプトに沿って体系的に学修できるように、各授業を設置しています。

- 卒業に必要な単位数は、選択したコースより20単位です。

各コースは、将来の進路や学習目標を想定して、それぞれ合わせた専門科目の学修を効率的、体系的に行えるように設けられています。

移行措置（2020年度以前入学生）

2021年度入学生からのカリキュラム改編に伴い、旧科目の一部が段階的に新しい科目名で開講されます。2020年度以前入学生は、読み替えの移行措置を受けることになりますので、注意してください。

（☞ 読み替え措置対象科目の一覧は P.76参照）

2. コースの所属

(1) コースの趣旨とコース選択（入学年度・学科によって選択できるコースが異なります）

【2021年度以降入学生】

法学部では、到達目標（学修によりどのような力を身につけることができるか）に応じて5つのコースを設置しています。自分が身につけたい力、興味・関心に応じて選択してください。

また、皆さんの効果的な学修をサポートするために、各コースに“履修モデル”を設計しています。履修モデルを参考に、多様に提供されている授業の中から、各自のニーズに適した授業を選択してください。

（☞ コースの詳細は P. 47～53 参照）

	特修 (法曹分野 企業法務分野 公務分野)	司法・ビジネス	グローバル法政	公共政策	法政社会歴史
法律	○選抜制※	○	○	○	○
政治	○選抜制※	×	○	○	○

〈選択方法〉

2年生秋開始。2年生秋学期履修登録時に Web で選択。2年生秋学期に休学、留学などでコース選択ができなかった場合は、復学、帰学時に必ず法学部事務室へ申し出てください。コース変更は3年生秋学期の履修登録期間時に可能です。希望する場合は、法学部事務室へ申し出てください。

※特修コースのみ、定員50名の選抜制コースです。1年生秋学期に出願受付、選考を行い、2年生春開始となります。（☞ 詳細は、P. 47 参照）

※特修コースは、コース変更ができません。

【2020年度以前入学生】

法学部では、各自の興味関心や将来の進路・目標に応じて学びたい分野を追求できるよう、6つのコースを設置しています。各コースのコンセプトを理解した上で、自身に適したコース・授業を選択して、皆さんの学修を有意義なものとしてください。

（☞ コースの詳細は P. 54～59 参照）

	司法特修	司法	企業法務	公共政策	国際法政	政治システム
法律	○選抜制※	○	○	○	○	×
政治	×	×	×	○	○	○

〈選択方法〉

2年生秋開始。2年生秋学期履修登録時に Web で選択。2年生秋学期に休学、留学などでコース選択ができなかった場合は、復学、帰学時に必ず法学部事務室へ申し出てください。コース変更は3年生秋学期の履修登録期間時に可能です。希望する場合は、法学部事務室へ申し出てください。

※司法特修コースのみ、2年生春開始、定員40名の選抜制コースです。（☞ 詳細は、P. 54 参照）

※司法特修コースは、コース変更ができません。

コース紹介 ～2021年度以降入学生～

特修コース（法曹分野・企業法務分野・公務分野）

I. コースの趣旨

特修コースでは、法曹・企業法務・公務の各業界のプロフェッショナルをめざします。分野ごとの高度な専門知識の修得に加え、実務家教員による双方向型授業により、実社会で活躍できる実践力・応用力を身につけます。2年生春学期からスタートする、総定員50名の選抜制コースです。

II. 定員・応募要件・選考スケジュール

定 員：50名（3分野一括募集）

応募者が定員を超えた場合は、成績（GPA・平均点・取得単位）に基づいて選考を行います。

応募要件：1年生秋学期終了時点で、24単位以上の修得且つ GPA2.50以上の者

※選抜制コースであるため、特修コースへの所属後のコース変更は一切認められません。

〈スケジュール〉

10月以降：特修コース説明会（出願書類配布開始）

1月上旬：出願受付締切

2月下旬：選考結果発表（特修コース所属決定者には3月下旬に学修ガイダンスを開催）

III. 志望分野の選択

2年生秋学期に志望分野の希望調査を実施します。自身が進む方向性を明確化して、その後の学修計画をより具体化する機会となります。また、分野の選択は、特修コース生限定科目（履修基準年度3年生）の履修抽選に際して参考情報として用いられます。

IV. 大学院進学、早期卒業を視野に入れた学修

特修コースでは、各分野の専門的知識・スキルの向上をめざして学修に取り組めますが、さらなる高度化のために大学院進学という道も推奨します。法曹分野においては関西学院大学大学院司法研究科（ロースクール）、企業法務分野および公務分野においては関西学院大学大学院法学研究科へ進学することにより、法曹その他の高度専門職業人、または研究者になるために、法学部の学修で培った力にさらに磨きをかけることができます。また、早期卒業制度を利用することにより、法学部入学から最短5年間で大学院を修了することが可能となります。

V. 各分野の概要・履修モデル

①法曹分野

市民に寄り添う心豊かな法曹（裁判官・検察官・弁護士）をめざして、法学の専門教員および現役弁護士等の実務家教員からのきめ細かな実践的指導により、法曹として働くうえで必要不可欠な高度な法律知識と思考力の修得に加え、価値観や判断力を養います。

将来、法曹となることを志す場合は、法曹養成連携プログラムへの登録を推奨します。

〔想定される進路先〕裁判官・検察官・弁護士

〈履修モデル〉

法曹モデル 〈合計94単位（）科目含む〉			
	専門導入・専門基幹・演習・他コース専門・選択専門	特修コース	
1年	現代の人権 犯罪と法 法のしくみと考え方 日本国憲法 憲法A（基本的人権総論） 刑法概論A（総論） 民法入門 民法総則	2 2 2 2 2 2 2 4	
2年	憲法B（基本的人権各論） 刑法概論B（各論）	2 2	民法発展演習 2 憲法発展演習 2 憲法C（統治機構論） 2 刑法各論 2 債権総論 4 債権各論 4 物権法 4 （行政法概論） (2)
3年以上	（法学研究演習I） (4)	民事訴訟法発展演習 2 ライティング演習 2 法曹特修実践演習B 2 法曹特修実践演習D 2 不法行為法 2 親族法 2 民事訴訟法 4 （国家補償法） (2)	ケースメソッド民法演習 2 法曹特修実践演習A 2 法曹特修実践演習C 2 刑事訴訟法B（証拠・公判法） 2 担保物権法 2 相続法 2 （行政争訟法） (2)

※政治学科生は、【政治学科目】の卒業必要単位数に注意すること。

～法曹養成連携プログラム（学部内副専攻プログラム）～

関学ロースクールとの連携により設計された“法曹養成連携プログラム”は、最短5年（法学部3年+ロースクール2年）での司法試験合格をめざすことができる文部科学省認定の法曹コースカリキュラムです。

プログラムにおいて指定された科目（憲法、民法、刑法、商法、民事訴訟法、刑事訴訟法、行政法）についての知識と能力の修得により、ロースクールにおける学修への円滑な接続を図ることを目的としています。プログラムの修了要件を満たすことで、関西学院大学司法研究科が実施する「特別選抜入学試験」の受験資格を得ることができます。

〈登録要件〉

2019年度以降に関西学院大学法学部へ入学し、特修コースまたは司法特修コースに所属する者
※希望者は所定の期間に登録手続きを行ってください。

〈法曹養成連携プログラム表（教育課程）〉

学年	学期	必修科目		選択必修科目		選択科目	
		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位
1年	秋学期	憲法A（基本の人権総論）	2				
		刑法概論A（総論）	2				
		民法総則	4				
2年	春学期	憲法B（基本の人権各論）	2	法曹入門	2	行政法概論 ※1	2
		刑法概論B（各論）	2	民法発展演習	2		
		刑法総論	2	刑法発展演習	2		
		物権法	4				
	秋学期	憲法C（統治機構論）	2	憲法発展演習	2	行政作用法 ※1	2
		刑法各論	2				
		刑事訴訟法A（捜査法）	2				
		債権総論	4				
		債権各論	4				
		会社法A	4				
3年	春学期	刑事訴訟法B（証拠・公判法）	2	司法特修実践演習B	2	国家補償法 ※2	2
		担保物権法	2	ケースメソッド民法演習	2		
		親族法	2	ライティング演習	2		
		民事訴訟法	4				
	秋学期	不法行為法	2	民事訴訟法発展演習	2	行政争訟法 ※2	2
		相続法	2	司法特修実践演習A	2		
				司法特修実践演習C	2		
				司法特修実践演習D	2		
合計		50		8		0	

※1 法曹養成連携プログラム修了には必須としないが、単位を修得した場合は、関西学院大学司法研究科入学後に個別免除科目の対象とする。ただし、2科目両方の単位を修得すること。

※2 法曹養成連携プログラム修了には必須としないが、単位を修得した場合は、関西学院大学司法研究科入学後に個別免除科目の対象とする。ただし、2科目両方の単位を修得すること。

〈修了要件〉 原則として3年次終了時点で、次のa～dの要件をすべて満たさなければならない。

- 法曹養成連携プログラム表の必修科目50単位を修得すること。
- 法曹養成連携プログラム表の選択必修科目8単位以上を修得すること。
- a、bの必修科目および選択必修科目のGPAが2.50以上であること。
- 本学法学部の早期卒業の要件を満たしていること。

※プログラム登録者で、法曹養成連携プログラム指定科目と語学が重複した場合、可能な範囲での語学のクラス変更を認めます。

※プログラムの修了可否は、卒業には影響しません。

②企業法務分野

企業経営、取引・契約、知的財産管理など、多方面で企業を支える法務のスペシャリストをめざします。ビジネスパーソンにとって必要不可欠となる正確な法律知識を養うとともに、演習型授業でケーススタディから企業法務の現場を学び、実践的な対応力を身につけます。

〔想定される進路先〕 民間企業（製造・情報通信・金融・保険・サービス業 等）

〈履修モデル〉

企業法務モデル 〈合計92単位〉			
	専門導入・専門基幹・演習・他コース専門・選択専門	特修コース	
1年	ビジネスと法 2 国際社会と法 2 犯罪と法 2 ----- 日本国憲法 2 憲法A（基本的人権総論） 2 民法入門 2 民法総論 4		
2年	憲法B（基本的人権各論） 2	企業法務特修入門 2 憲法発展演習 2 物権法 4 債権各論 4 企業会計入門A（簿記） 2 会社法A 4 民事訴訟法概論 2	民法発展演習 2 民事訴訟法発展演習 2 債権総論 4 企業法務入門 2 企業会計入門B（財務諸表） 2 英米法A 2 労働法概論 2
3年以上	法学研究演習 I 4	商法発展演習 2 企業法務特修実践演習A 2 税法B 2 商法総論・商行為法 2 知的財産法A 2 金融商品取引法 2 国際取引法A 2 倒産処理法 2 経済法 2	国際ビジネス法発展演習 2 企業法務特修実践演習B 2 担保物権法 2 会社法B 2 有価証券法 2 国際私法A 2 国際経済法 2 労働法A 2

※政治学科生は、【政治学科目】の卒業必要単位数に注意すること。

③公務分野

より良い社会の実現に向けて主体的に行動する公務のプロフェッショナルをめざします。社会を形成する法律・政治・経済の専門知識を獲得し、現代社会の課題を的確に分析する力を磨くとともに、実務家教員によるアクティブラーニングを通して、これらの課題を解決するための政策を立案・実施する力を養います。

〔想定される進路先〕 国家公務員、地方公務員

〈履修モデル〉

公務モデル（法律学科） 〈合計84単位〉			
	専門導入・専門基幹・演習・他コース専門・選択専門	特修コース	
1年	地域政策入門A 2 現代の人権 2 ビジネスと法 2 ----- 日本国憲法 2 憲法A（基本的人権総論） 2 民法入門 2 民法総論 4 刑法概論A（総論） 2 ----- 基本演習 2		
2年	憲法B（基本的人権各論） 2 刑法概論B（各論） 2 行政学A 2	公務特修入門 2 憲法発展演習 2 憲法C（統治機構論） 2 行政作用法 2 債権総論 4 物権法 4 公共政策学概論 2	民法発展演習 2 公共政策発展演習 2 行政法概論 2 国家補償法 2 債権各論 4 不法行為法 2
3年以上	法学研究演習 I 4	行政法発展演習 2 公務特修実践演習B 2 行政争訟法 2 会社法A 4 公共政策論 2 行政学B 2	公務特修実践演習A 2 担保物権法 2 労働法概論 2 地域政策論 2

※上記以外に、【基礎科目】として「霞が関セミナー」の修得を推奨する。

公務モデル（政治学科） 〈合計70単位〉			
	専門導入・専門基幹・演習・他コース専門・選択専門	特修コース	
1年	政治学入門A 2 政治学入門B 2 地域政策入門A 2 地域政策入門B 2 ----- 日本国憲法 2 憲法A（基本的人権総論） 2 政治史B 2 ----- 基本演習 2		
2年	政治学原論A 2 政治過程論 2 行政学A 2 国際政治論A 2 ----- 国際政治論B 2	公務特修入門 2 憲法発展演習 2 憲法C（統治機構論） 2 行政作用法 2 行政学B 2 公共政策学概論 2	民法発展演習 2 公共政策発展演習 2 行政法概論 2 国家補償法 2 公共政策論 2
3年以上	政治学研究演習 I 4	行政法発展演習 2 公務特修実践演習B 2 行政争訟法 2 財政学A 2 公共経済学 2	公務特修実践演習A 2 地域政策論 2 財政学B 2 地域政策トピックス 2

※上記以外に、【基礎科目】として「霞が関セミナー」の修得を推奨する。

コース紹介 ～2021年度以降入学生～

司法・ビジネスコース

I. コースの概要

司法・ビジネスコースは、基本六法科目（憲法・刑法・民法・商法・刑事訴訟法・民事訴訟法）の学修を中心に取り組み、社会で起こりうるさまざまな事柄に対して、法的な根拠に基づき論理的にアプローチをする基本的な思考力を養います。さらに、企業社会で生じるさまざまな問題に対しても、法的・国際的な観点からの確に判断するためのバランス感覚や専門的で広範な法律知識を身につけます。これらの学修を通して、健全な市民感覚を身につけ、法的素養を社会へ還元する力を修得します。

II. 履修モデル

市民生活の法律学修モデル						
〈合計84単位〉						
		司法・ビジネスコース				
専門導入・専門基幹・演習・他コース専門・選択専門						
1年	ビジネスと法	2				
	犯罪と法	2				
	法のしくみと考え方	2				
	日本国憲法	2				
	憲法A（基本的人権総論）	2				
	刑法概論A（総論）	2				
	民法入門	2				
2年	民法総則	4				
	基本演習	2				
	憲法B（基本的人権各論）	2	憲法C（統治機構論）	2	刑事訴訟法A（捜査法）	2
	刑法概論B（各論）	2	刑事政策A（犯罪・非行と法）	2	物権法	4
	専門導入科目	2	債権総論	4	債権各論	4
			不法行為法	2	消費者と法	2
			会社法A	4	民事訴訟法概論	2
3年以上			労働法概論	2		
	法学研究演習Ⅰ	4	刑法総論	2	税法A	2
			刑事訴訟法B（証拠・公判法）	2	刑事政策B（犯罪学）	2
			司法福祉	2	親族法	2
			相続法	2	民事訴訟法	4
			労働法A	2	労働法B	2
			商法総則・商行為法	2		

法律実務学修モデル							
〈合計84単位〉							
	専門導入・専門基幹・演習・他コース専門・選択専門	司法・ビジネスコース					
1年	ビジネスと法	2					
	犯罪と法	2					
	現代の人権	2					

	日本国憲法	2					
	憲法A（基本的人権総論）	2					
	刑法概論A（総論）	2					
	民法入門	2					
2年	民法総則	4					

	基本演習	2					
	2年	憲法B（基本的人権各論）	2	刑事訴訟法A（捜査法）	2	物権法	4
刑法概論B（各論）		2	債権総論	4	債権各論	4	
専門導入科目		2	不法行為法	2	司法書士による法律実務入門	2	
			企業法務入門	2	会社法A	4	
			民事訴訟法概論	2	労働法概論	2	
3年以上		法学研究演習Ⅰ	4	税法A	2	刑事訴訟法B（証拠・公判法）	2
				担保物権法	2	親族法	2
				相続法	2	知的財産法B	2
			商法総則・商行為法	2	会社法B	2	
			民事訴訟法	4	民事執行法	2	
			労働法A	2	司法・ビジネス実践演習B	2	

ビジネス社会の法律学修モデル						
〈合計84単位〉						
	専門導入・専門基幹・ 演習・他コース専門・ 選択専門		司法・ビジネスコース			
1 年	ビジネスと法	2				
	犯罪と法	2				
	法のしくみと考え方	2				
	日本国憲法	2				
	憲法A（基本的人権総論）	2				
	民法入門	2				
	民法総則	4				
	基本演習	2				
2 年	憲法B（基本的人権各論）	2	物権法	4	債権総論	4
	企業法務入門	2	債権各論	4	不法行為法	2
	専門導入科目	2	会社法入門B（財務諸表）	2	企業会計入門B（財務諸表）	2
			会社法A	4	民事訴訟法概論	2
			労働法概論	2	法社会学B	2
3 年 以上	法学研究演習Ⅰ	4	税法A	2	税法B	2
			担保物権法	2	知的財産法A	2
			会社法B	2	保険法	2
			有価証券法	2	金融商品取引法	2
			民事訴訟法	4	民事執行法	2
			労働法A	2	労働法B	2
			経済法	2	司法・ビジネス実践演習A	2

国際ビジネス法務学修モデル						
〈合計84単位〉						
専門導入・専門基幹・演習・他コース専門・選択専門		司法・ビジネスコース				
1年	ビジネスと法	2				
	国際社会と法	2				
	現代の人権	2				

	日本国憲法	2				
	憲法A（基本的人権総論）	2				
	民法入門	2				
2年	民法総則	4				

	基本演習	2				
	憲法B（基本的人権各論）	2	物権法	4	債権総論	4
	国際政治論A	2	債権各論	4	企業法務入門	2
	-----		不法行為法	2	会社法A	4
	専門導入科目	2	民事訴訟法概論	2	労働法概論	2
3年以上			英米法A	2	西洋法史A	2
	法学研究演習Ⅰ	4	税法B	2	知的財産法A	2
			商法総則・商行為法	2	会社法B	2
			海商法	2	国際私法A	2
			国際取引法A	2	国際取引法B	2
			国際経済法	2	民事訴訟法	4
			EU法	2	中国法A	2
		司法・ビジネス実践演習B	2			

コース紹介 ～2021年度以降入学生～

公共政策コース（経済学部連携）

I. コースの概要

公共政策コースでは、公共的な課題を解決するための政策、法制度を学ぶとともに、そのあり方について考察します。とくに地域における公共的課題に取り組む能力を身に付けるためには、法学、政治学はもちろん、経済学の素養が必要となります。経済学部との連携による「法律・政治・経済」の3分野の学修によって、公共的課題解決に必要な専門性と多面的な分析力、課題解決の実行力を身につけ、豊かな社会を築く担い手となることをめざします。

II. 履修モデル

政策法務を学びたい学生向けの履修モデル（法学科向け） 〈合計80単位〉			
	専門導入・専門基幹・演習・他コース専門・選択専門	公共政策コース	
1年	地域政策入門A 2 現代の人権 2 ビジネスと法 2 日本国憲法 2 憲法A（基本的人権総論） 2 民法入門 2 民法総論 4 刑法概論A（総論） 2 基本演習 2		
2年	憲法B（基本的人権各論） 2 政治学原論A 2 行政学A 2 専門導入演習 2 債権総論 4 債権各論 4 物権法 4 不法行為論 2	憲法C（統治機構論） 2 行政作用法 2 公共政策学概論 2 行政学B 2 財政学A 2	行政法概論 2 国家補償法 2 公共政策論 2 地域政策論 2 地方財政論 2
3年以上	法学研究演習I 4 担保物権法 2	行政争訟法 2 都市法 2 自治体法務 2 地方自治論 2	地方自治法 2 環境法または社会保障法 2

公共政策を学びたい学生向けの履修モデル（両学科向け） 〈合計76・78単位〉			
	専門導入・専門基幹・演習・他コース専門・選択専門	公共政策コース	
1年	地域政策入門A 2 地域政策入門B 2 犯罪と法 2 または政治学入門A 2 日本国憲法 2 憲法A（基本的人権総論） 2 民法入門 2 または政治史A・B 計4 基本演習 2 経済学基礎A 2 経済学基礎B 2		
2年	憲法B（基本的人権各論） 2 政治過程論 2 政治学原論A 2 行政学A 2 専門導入演習 2	行政法概論 2 国家補償法 2 行政学B 2 公共政策論 2 NPO/NGOと市民社会 2 財政学A 2 社会保障論A 2 地域政策演習A 2	行政作用法 2 公共政策学概論 2 地域政策論 2 公共経済学 2 都市経済論 2 地域政策演習B 2
3年以上	法学研究演習I 4 または政治学研究演習I 4	行政争訟法 2 都市法 2 地方自治論 2 政策評価論 2 公共政策実践演習A 2	環境法または社会保障法 2 政治学原論B 2 公共政策実践演習B 2

地域政策を学びたい学生向けの履修モデル（政治学科向け） 〈合計76単位〉			
	専門導入・専門基幹・演習・他コース専門・選択専門	公共政策コース	
1年	地域政策入門A 2 地域政策入門B 2 政治学入門A 2 政治学入門B 2 政治史A 2 政治史B 2 日本国憲法 2 憲法A（基本的人権総論） 2 基本演習 2	議員インターンシップ実習 2	
2年	政治学原論A 2 政治過程論 2 比較政治 2 行政学A 2 憲法B（基本的人権各論） 2 専門導入演習 2	行政法概論 2 行政学B 2 公共政策学概論 2 NPO/NGOと市民社会 2 社会保障論B 2 都市経済論 2 地域政策演習A 2 国内フィールドワーク演習C 2または4	行政作用法 2 公共政策論 2 地域政策論 2 地域経済論 2 地域政策演習B 2
3年以上	政治学研究演習I 4	都市法 2 自治体法務 2 地方自治論 2 地域政策トピックス 2 公共政策実践演習A 2	地方自治法 2 環境法 2 政策評価論 2 公共政策実践演習B 2

地域ガバナンスを学びたい学生向けの履修モデル（両学科向け） 〈合計78～82単位〉			
	専門導入・専門基幹・演習・他コース専門・選択専門	公共政策コース	
1年	地域政策入門A 2 地域政策入門B 2 犯罪と法 2 または政治学入門A・B 計4 日本国憲法 2 憲法A（基本的人権総論） 2 民法入門 2 または政治史A・B 計4 基本演習 2	議員インターンシップ実習 2	
2年	憲法B（基本的人権各論） 2 政治学原論A 2 政治過程論 2 行政学A 2 専門導入演習 2	憲法C（統治機構論） 2 行政作用法 2 行政学B 2 公共政策論 2 NPO/NGOと市民社会 2 地方財政論 2 自治体経営論 2 地域政策演習A 2	行政法概論 2 国家補償法 2 公共政策学概論 2 地域政策論 2 現代政治分析 2 公共経済学 2 地域政策演習B 2
3年以上	法学研究演習I 4 または政治学研究演習I 4	都市法 2 自治体法務 2 地方自治論 2 財政トピックス 2 公共政策実践演習A 2	地方自治法 2 環境法 2 政策評価論 2 公共政策実践演習B 2

コース紹介 ～2021年度以降入学生～

グローバル法政コース

I. コースの概要

グローバル法政コースでは、言語・文化・風習・思想など、国や地域によって異なるさまざまな価値観の理解を土台に、「グローバル社会」における法と政治の機能・役割について、日本と海外諸国との比較を踏まえながら深く学んでいきます。現代に必要な「国際協力」を基盤とした平和で公平な社会の実現に向けて、多角的な視野を生かした判断力、異なる意見や対立する考えを解決に導く調整力を身につけ、世界を舞台に活躍できる資質を養います。

II. 履修モデル

グローバル社会の法を学ぶ（法律学科向け）						
〈合計84単位〉						
		専門導入・専門基幹・演習・他コース専門・選択専門	グローバル法政コース			
1年	現代の人権	2				
	国際社会と法	2				
	法のしくみと考え方	2				

	日本国憲法	2				
	憲法A（基本的人権総論）	2				
	刑法概論A（総論）	2				
	民法入門	2				
2年	民法総則	4				

	基本演習	2				
	憲法B（基本的人権各論）	2	憲法C（統治機構論）	2	債権総論	4
	政治学原論A	2	債権各論	4	物権法	4
	国際政治論A	2	不法行為法	2	国際法総論A	2
	-----		西洋法史A	2	英美法A	2
	専門導入演習	2	民事訴訟法概論	2	国際機構論	2
3年以上	ジェンダーと法	2				
	法学研究演習Ⅰ または法政文化研究演習Ⅰ	4	国際法各論A	2	国際法各論B	2
			国際人権法	2	国際私法A	2
			国際私法B	2	国際取引法A	2
			国際取引法B	2	国際経済法	2
			英米法B	2	中国法A	2
			ローマ法A	2	グローバル法政実践演習A	2

※上記以外に【基礎科目群】として「グローバルスタディーズ科目」の修得を推奨する。

グローバル社会の政治を学ぶ（政治学科向け）						
〈合計84単位〉						
	専門導入・専門基幹・演習・他コース専門・選択専門	グローバル法政コース				
1年	現代の人権	2				
	国際社会と法	2				
	政治学入門B	2				

	日本国憲法	2				
	憲法A（基本的人権総論）	2				
	民法入門	2				
	政治思想	2				
2年	政治史B	2				
	基本演習	2				

	憲法B（基本的人権各論）	2	憲法C（統治機構論）	2	国際法総論A	2
	政治学原論A	2	英米法A	2	表象文化論	2
	政治過程論	2	政治学原論B	2	行政学B	2
	比較政治	2	国際政治経済論	2	国際機構論	2
	国際政治論A	2	外交史A	2	外交史B	2
3年以上	専門導入演習	2	西洋政治史	2	国際経済政策	2

	ジェンダーと法	2				

	政治学研究演習Ⅰ	4	国際法総論B	2	国際人権法	2
	または法政文化研究演習Ⅰ		国際経済法	2	国際政治論B	2
			国際協力論	2	政治心理学	2
			外交政策論	2	アメリカ地域の政治	2
		アジア地域の政治	2	東アジアの政治	2	
		ヨーロッパ地域の政治	2	中東・アフリカ地域の政治	2	

※上記以外に【基礎科目群】として「グローバルスタディーズ科目」の修得を推奨する。

国際協力と平和構築を学ぶ（両学科向け）						
〈合計82単位〉						
専門導入・専門基幹・演習・他コース専門・選択専門		グローバル法政コース				
1年	現代の人権	2				
	国際社会と法	2				
	地域政策入門A	2				
	政治学入門B	2				

	日本国憲法	2				
	憲法A（基本的人権総論）	2				
2年	民法入門	2				
	政治史B	2				
	基本演習	2				
	憲法B（基本的人権各論）	2	憲法C（統治機構論）	2	債権総論	4
	政治学原論A	2	国際法総論A	2	西洋法史B	2
	比較政治	2	文化共生論	2	行政学B	2
	行政学A	2	NPO/NGOと市民社会	2	国際機構論	2
3年以上	国際政治論A	2	外交史A	2	国際経済政策	2

	専門導入演習	2				
	ジェンダーと法	2				

3年以上	法学研究演習Ⅰ		国際法総論B	2	国際法各論B	2
	または政治学研究演習Ⅰ	4	国際人権法	2	EU法	2
	または法政文化研究演習Ⅰ		中国法A	2	東洋法史A	2
			外交政策論	2	国際政治論B	2
			東アジアの政治	2	国際協力論	2
			中東・アフリカ地域の政治	2	グローバル法実践演習B	2

※上記以外に【基礎科目群】として「グローバルスタディーズ科目」の修得を推奨する。

グローバル社会のガバナンスを学ぶ（両学科向け）						
〈合計84単位〉						
	専門導入・専門基幹・演習・他コース専門・選択専門	グローバル法政コース				
1年	現代の人権	2				
	国際社会と法	2				
	地域政策入門A	2				
	政治学入門B	2				

	日本国憲法	2				
	憲法A（基本的人権総論）	2				
2年	民法入門	2				
	政治史B	2				

	基本演習	2				
	憲法B（基本的人権各論）	2	憲法C（統治機構論）	2	国際法総論A	2
	政治学原論A	2	英米法A	2	西洋法史A	2
	比較政治	2	言語政策論	2	国際機構論	2
3年以上	行政学A	2	政治学原論B	2	NPO/NGOと市民社会	2
	国際政治論A	2	外交史B	2	国際経済政策	2

	専門導入演習	2				

	ジェンダーと法	2				
	法学研究演習Ⅰ または政治学研究演習Ⅰ または法政文化研究演習Ⅰ	4	国際法総論B	2	国際法各論B	2
		国際人権法	2	国際私法A	2	
		国際取引法A	2	法思想史A	2	
		ローマ法B	2	国際政治論B	2	
		外交政策論	2	国際協力論	2	
		アメリカ地域の政治	2	東アジアの政治	2	
		グローバル法政実践演習A	2	グローバル法政実践演習B	2	

※上記以外に【基礎科目群】として「グローバルスタディーズ科目」の修得を推奨する。

コース紹介 ～2021年度以降入学生～

法政社会歴史コース

I. コースの概要

法政社会歴史コースでは、法律と政治を中心にして、時代を越えて継承されてきたもの、移り変わるもの、さらに多様な文化の違いを越えて通用するもの、異なってくるものを見極めていきます。今ある法律や政治現象も広く深い文脈のなかに置くことで、私たちは初めてその意味や改革の可能性を見いだすことができます。日々の政治や法の動きを、人々の営みの広がりや深さのなかで分析することで、「今」に必要な新たな考えを導き出し、未来の社会を創造する資質を修得します。

II. 履修モデル

現代法の成り立ち学修モデル（法律学科向け） 〈合計84単位〉			
専門導入・専門基幹・演習・他コース専門・選択専門	法政社会歴史コース		
1年	現代の人権	2	
	国際社会と法	2	
	犯罪と法	2	
	法のしくみと考え方	2	
	日本国憲法	2	
	憲法A（基本的人権総論）	2	
	刑法概論A（総論）	2	
2年	民法入門	2	
	民法総則	4	
	基本演習	2	
	憲法B（基本的人権各論）	2	法社会学A 2 法社会学B 2
	刑法概論B（各論）	2	西洋法史A 2 西洋法史B 2
	政治学原論A	2	日本法史A 2 日本法史B 2
	政治過程論	2	日本近代法史A 2 日本近代法史B 2
3年以上	専門導入演習	2	憲法C（統治機構論） 2 刑事訴訟法A（捜査法） 2
	法学研究演習I または法政文化研究演習I	4	民事訴訟法概論 2 文化社会学 2
			文化共生論 2
			近代啓蒙論 2
			法理学A 2 法理学B 2
			東洋法史A 2 東洋法史B 2
			ローマ法A 2 ローマ法B 2
			法思想史A 2 法思想史B 2
			国際人権法 2 刑事訴訟法B（証拠・公判法） 2

政治システム学修モデル（政治学科向け） 〈合計84単位〉			
専門導入・専門基幹・演習・他コース専門・選択専門	法政社会歴史コース		
1年	地域政策入門A	2	議員インターンシップ実習 2
	地域政策入門B	2	
	政治学入門A	2	
	政治学入門B	2	
	日本国憲法	2	
	政治思想	2	
	政治史A	2	
2年	政治史B	2	
	基本演習	2	
	政治学原論A	2	政治学原論B 2 行政学B 2
	政治過程論	2	NPO/NGOと市民社会 2 公共政策学概論 2
	比較政治	2	西洋政治史 2 日本政治史 2
	行政学A	2	政治哲学 2 西洋政治思想史 2
	国際政治論A	2	外交史B 2 地方自治論 2
3年以上	専門導入演習	2	憲法C（統治機構論） 2 公共政策論 2
	法学研究演習I または法政文化研究演習I	4	地域政策論 2
			法思想史A 2 政策評価論 2
			現代政治分析 2 政治心理学 2
			日本政治思想史 2 メディアと政治 2
			東アジアの政治 2 アメリカ地域の政治 2
			ヨーロッパ地域の政治 2 法政社会歴史実践演習A 2
			法政社会歴史実践演習B 2

法と政治の教養学修モデルⅠ（両学科向け） 〈合計84単位〉			
専門導入・専門基幹・演習・他コース専門・選択専門	法政社会歴史コース		
1年	現代の人権	2	
	法のしくみと考え方	2	
	国際社会と法	2	
	政治学入門A	2	
	政治学入門B	2	
	日本国憲法	2	
	憲法A（基本的人権総論）	2	
2年	政治史A	2	
	政治史B	2	
	基本演習	2	
	憲法B（基本的人権各論）	2	法社会学A 2 法社会学B 2
	比較政治	2	国際政治論A 2 日本近代法史A 2
	政治学原論A	2	日本法史B 2 日本近代法史B 2
	政治過程論	2	西洋政治史 2 政治哲学 2
3年以上	専門導入演習	2	日本政治史 2
	ジェンダーと法	2	外交史A 2 外交史B 2
	法学研究演習I または政治学研究演習I または法政文化研究演習I	4	法理学A 2 法思想史A 2
			東洋法史A 2 東洋法史B 2
			中国法A 2 国際人権法 2
			ローマ法B 2 現代政治分析 2
			中東・アフリカ地域の政治 2 メディアと政治 2
			アメリカ地域の政治 2 法政社会歴史実践演習A 2
			アジア地域の政治 2
			または東アジアの政治 2

法と政治の教養学修モデルⅡ（両学科向け） 〈合計84単位〉			
専門導入・専門基幹・演習・他コース専門・選択専門	法政社会歴史コース		
1年	現代の人権	2	
	国際社会と法	2	
	法のしくみと考え方	2	
	犯罪と法	2	
	政治学入門A	2	
	政治学入門B	2	
	日本国憲法	2	
2年	憲法A（基本的人権総論）	2	
	政治思想	2	
	基本演習	2	
	憲法B（基本的人権各論）	2	法社会学A 2 法社会学B 2
	国際政治論A	2	日本近代法史A 2
	政治学原論A	2	憲法C（統治機構論） 2 西洋政治史 2
	政治過程論	2	NPO/NGOと市民社会 2 政治哲学 2
3年以上	専門導入演習	2	日本政治史 or 外交史A 2 西洋政治思想史 2
	ジェンダーと法	2	文化社会学 2 表象文化論 2
	法学研究演習I または政治学研究演習I または法政文化研究演習I	4	近代啓蒙論 2
			法理学A 2 法思想史A 2
			法理学B 2 法思想史B 2
			国際人権法 2 中国法B 2
			現代政治分析 2 日本政治思想史 2
			政治心理学 2 イスラームの法と社会 2
			法政社会歴史実践演習B 2

コース紹介 ～2020年度以前入学生～

司法特修コース

I. コースの概要

主に法曹（裁判官・検察官・弁護士）をめざしてロースクールへの進学を希望する学生が集まり、発展的、且つより高いレベルで法律を学ぶことができます。他コースよりも早い2年生春学期からスタートする、定員40名の選抜型コースです。

II. 定員・募集要件、選考スケジュール

定 員：40名

応募者が定員を超えた場合は、成績（GPA・平均点・取得単位）に基づいて選考を行います。

定員に満たない場合でも、1年次の年間修得単位数が24単位未満の者は、本コースに入れません。

募集要件：法律学科1年生

法曹（裁判官・検察官・弁護士）をめざしロースクール進学を希望する学生を歓迎していますが、それ以外の学生でも可能です。ただし本コースでは、高い意識で勉学に励む方を求めています。

1年次秋学期に、司法特修コースに関する説明会を実施します。

書 類 配 付……………11月中旬

選考書類提出……………1月上旬

選考結果発表……………2月下旬

III. 司法特修コース独自の授業

履修基準年度	春	秋
2年次	法曹入門 ★ 民法発展演習 ★ 刑法発展演習 ★	憲法発展演習 ★ 民事訴訟法発展演習 司法特修実践演習 A（商法）
3年次	ケースメソッド民法演習 ライティング演習（刑法） 司法特修実践演習 B（憲法）	司法特修実践演習 C（民事訴訟法） 司法特修実践演習 D（刑事訴訟法）

★は、履修必修科目です。

IV. 早期卒業に向けて（履修緩和制度）

- ・履修制限単位数が24単位→28単位に緩和されます。
- ・基礎法科目、コース科目について、履修基準年度3年次科目が2年次から履修できます。
- ・司法特修コースの「演習科目」と語学とが重複した場合、語学のクラス変更を認めます。

☞ 早期卒業のための要件は、P. 35参照

V. 法曹養成連携プログラム（詳細は P. 48を参照）

法科大学院（ロースクール）との円滑な接続を図るために設置されたプログラムです。司法特修コースに所属する希望者は所定の手続により、登録することが可能です。本プログラムを修了した場合、法科大学院特別選抜入学試験による法科大学院への進学が可能となります。

〈修了要件〉 原則として3年次終了時点で、次のa～dの要件をすべて満たさなければならない。

- 法曹養成連携プログラム表の必修科目50単位を修得すること。
- 法曹養成連携プログラム表の選択必修科目8単位以上を修得すること。
- a、bの必修科目および選択必修科目のGPAが2.50以上であること。
- 本学法学部の早期卒業の要件（P. 35）を満たしていること。

※プログラム登録者で、法曹養成連携プログラム指定科目と語学が重複した場合、可能な範囲での語学のクラス変更を認めます。

※プログラムの修了可否は、卒業には影響しません。

コース紹介 ～2020年度以前入学生～

司法コース

I. コースの趣旨

司法書士や裁判所職員（裁判所書記官、裁判所事務官など）を志望する学生を対象とするコースです。基本六法科目（憲法・刑法・民法・商法・刑事訴訟法・民事訴訟法）を中心に学習しますが、司法の担い手となると同時に健全な市民感覚を持つためには幅広い教養が必要です。スペシャリストとしての専門性とジェネラリストとしての広汎性を養うため、司法コースでは各試験の試験科目以外にも幅広い科目の履修が要求されます。

憲法ブロック・刑事法ブロック・民事法ブロックに加え、企業法務コアブロックや各人の興味関心に合った他コースから科目履修することが可能であり、ひとりひとりのニーズに柔軟に応えられるようになっています。

II. 実践演習の内容

司法実践演習は、3年生春学期から履修することができます。担当者としては、主として専任教員、学外実務家、ロースクール教員が予定されています。少人数制をとっているため、より近い距離で「学び」を追求できる機会を提供します。

III. 履修モデル

【モデル1】 司法書士の資格獲得をめざしており、憲法ブロック・刑事法ブロック・民事法ブロック・企業法務ブロックを中心に履修。市民にもっとも身近な「法律のかかりつけ医」としての責務を果たすために必要な専門知識を得たい。

	コース専門科目		他コース科目・選択専門科目	
2年	憲法C（統治機構論）	2	企業会計入門A（簿記）	2
	司法書士による法律実務入門	2	企業会計入門B（財務諸表）	2
	物権法	4	経営学	2
	民事訴訟法概論	2		
	債権総論	4		
3年	刑法総論	2	知的財産法	2
	担保物件法	2	保険法	2
	親族法	2		
	相続法	2		
	商法総則・商行為法	2		
	民事訴訟法	4		
	民事執行法	2		

【モデル2】 裁判所職員（事務官、書記官）をめざしており、憲法ブロック・刑事法ブロック・民事法ブロック・企業法務ブロックを中心に専門知識を身につけ、社会を多角的に見る視点を獲得したい。

	コース専門科目		他コース科目・選択専門科目	
2年	憲法C（統治機構論）	2	行政法概論	2
	憲法訴訟論	2	国と地方関係論	2
	物権法	4	社会保障論A	2
	民事訴訟法概論	2		
	債権総論	4		
3年	債権各論	4	国家補償法	2
	刑法総論	2	環境法	2
	刑法各論	2		
	担保物件法	2		
	親族法	2		
	民事訴訟法	4		

コース紹介 ～2020年度以前入学生～

企業法務コース

I. コースの趣旨

主として企業で活躍することをめざす学生を対象とするコースです。企業に勤務すると、それぞれの部署や役職において、個人が企業のために判断することを求められます。ときには企業不祥事として社会的な糾弾を受けないようバランス感覚ある判断が必要になります。本コースは、企業社会で生じるさまざまな問題に適確に対処することができるよう、確かな法学的素養に裏付けられた判断力を有する企業人を養成することを目的とします。

その一方、企業社会で活躍することをめざす学生だけではなく、広く社会のあらゆる領域において法学的素養を身につけた市民としての役割を担おうとする学生にも適したコースです。企業をはじめ、各種の組織や団体に就職して、将来的に専門知識をもつリーダーとして活躍することが、このコースが想定する卒業後の一般的な進路となります。

II. 実践演習の内容

企業法務コースの目的である「確かな法的素養に裏付けられた判断力を有する企業人を養成する」ために、企業社会において直面する諸問題を具体的に検討するのが企業法務実践演習A・Bです。いずれの科目も、企業法務に詳しい弁護士が担当します。

III. 履修モデル

【モデル1】 民間企業への就職をめざし、政治や経済にも関心があるAさんの履修例。

	コース専門科目		他コース科目・選択専門科目	
2年	消費者と法	2	都市経済論	2
	企業会計入門A（簿記）	2		
	経営学	2		
	会社法A	4		
	労働法概論	2		
	コース導入演習	2		
3年	税法A	2	政治社会学	2
	知的財産法A	2	政策評価論	2
	知的財産法B	2	メディアと政治	2
	商法総則・商行為法	2		
	会社法B	2		
	倒産処理法	2		
	労働法A	2		
	経済法	2		
	企業法務実践演習A	2		

【モデル2】 民間企業で国際取引業務に携わることを希望するBさんの履修例。

	コース専門科目		他コース科目・選択専門科目	
2年	企業会計入門A（簿記）	2	国際法総論A	2
	経営学	2	国際政治経済論	2
	会社法A	4		
	労働法概論	2		
	英米法A	2		
	コース導入演習	2		
3年	商法総則・商行為法	2	国際法各論A	2
	国際私法A	2	外交政策論	2
	国際取引法A	2	国際協力論	2
	国際取引法B	2		
	国際経済法	2		
	EU法	2		
	中国法A	2		
	企業法務実践演習A	2		

コース紹介 ～2020年度以前入学生～

公共政策コース（経済学部連携）

I. コースの趣旨

公共政策（経済学部連携）コースでは、公共的な課題を解決するための政策、法制度を学ぶとともに、そのあり方について考察します。とくに地域における公共的課題に取り組む能力を身に付けるためには、法律学、政治学はもちろん、経済学の素養が必要となります。そのため、法学部は経済学部と連携してこのコースを作り上げ、法律学、政治学、経済学の3つの学問分野の科目をコース専門科目として提供しています。

将来の進路として、国家公務員や地方公務員、教員、警察官などが考えられます。そのほか、民間部門でも公共的な課題と関わりの深い職種（NPO・NGO 職員、シンクタンク職員、ジャーナリストなど）をめざす人にとっても必要な専門知識・能力を取得できます。

II. 実践演習の内容

公共政策コース実践演習は、現場で活躍する公務員、NPO 職員、地方議会議員、ジャーナリストなどが担当します。この演習では、具体的な課題を取り上げ、これを分析して解決するための政策・制度を考えることで、実践的な観点から公共政策を学びます。

III. 履修モデル

【モデル1】 地方公務員をめざしている。公務員試験の勉強をするため、法律学の科目を中心に履修したい。そのほか、必要となる政治学や経済学の知識も身に付けたい。

	コース専門科目	他コース科目・選択専門科目
2 年	行政法概論 2	憲法C（統治機構論） 2
	行政作用法 2	債権総論 4
	行政学B 2	刑事政策A（犯罪・非行と法） 2
	公共政策論 2	
	公共政策学概論 2	
	財政学A 2	
	コース導入演習 2	
3 年	国家補償法 2	税法A 2
	地方自治法 2	
	社会保障法 2	
	都市法 2	
	自治体法務 2	
	公共政策実践演習A 2	

【モデル2】 公共政策に関わる民間シンクタンクの職員をめざしている。政治学と経済学の科目を中心に履修したい。必要となる法律学の知識も身に付けたい。

	コース専門科目	他コース科目・選択専門科目
2 年	行政法概論 2	政治学原論B 2
	行政学B 2	
	公共政策論 2	
	公共政策学概論 2	
	地域政策論 2	
	NPO／NGO と市民社会 2	
	都市経済論 2	
	コース導入演習 2	
3 年	地方自治論 2	現代政治分析 2
	地方政治論 2	政治社会学 2
	政策評価論 2	メディアと政治 2
	地域政策トピックス 2	政治心理学 2
	公共政策実践演習B 2	

コース紹介 ～2020年度以前入学生～

国際法政コース

I. コースの趣旨

国際法政コースは、広義の国際関係や外国事情を学ぶことにより、世界の中の日本を知り、国際的な知識・技能を持つ有能な市民育成をめざします。日本と比較した海外諸国の法律・政治の習得に加え、外国語・外国文化をじっくりと学習します。

国際社会に知的関心を持ち、将来はそのような場で活動したいと希望する学生は、このコースを選択することが望まれます。コース卒業生の進路としては、一般企業や国家・地方公務員での国際業務担当者の他に、国際的ジャーナリスト、シンクタンク研究員、国際公務員（国連やその他の国際機関）などが考えられます。

また、国際関係を学べる大学院への進学や留学にも積極的に挑戦できるでしょう。

II. 実践演習の内容

実践演習では、国際的な仕事に従事した経験を持つ講師による体験的・具体的な学習を予定しており、将来のキャリアを考える上で重要な視点を与えてくれるでしょう。

III. 履修モデル

【モデル1】 民間企業で国際的な実務に関わりたい。

	コース専門科目		他コース科目・選択専門科目	
2年	英米法 A	2	債権各論	4
	国際経済政策	2	会社法 A	4
	コース導入演習	2	民事訴訟法概論	2
3年	国際私法 A	2	知的財産法 A	2
	国際私法 B	2	知的財産法 B	2
	国際取引法 A	2		
	国際取引法 B	2		
	国際経済法	2		
	英米法 B	2		
	中国法 A	2		
	EU 法	2		
	中国法 B	2		
	国際法政実践演習 A	2		

【モデル2】 公務員として国際的な業務に関わりたい。

	コース専門科目		他コース科目・選択専門科目	
2年	国際法総論 A	2	行政学 B	2
	国際政治経済論	2	公共政策論	2
	国際機構論	2		
	外交史 A	2		
	外交史 B	2		
	コース導入演習	2		
3年	国際法総論 B	2	自治体法務	2
	国際法各論 A	2	政策評価論	2
	国際法各論 B	2		
	国際政治論 B	2		
	外交政策論	2		
	国際法政実践演習 B	2		

コース紹介 ～2020年度以前入学生～

政治システムコース

I. コースの趣旨

政治システムコースは、政治学科学生限定のコースです。このコースは、政治と行政ならびに公共政策についての専門的知識を学ぶとともに、政治学的な分析能力や思考方法を身につけ、こうした政治学的素養を活かして社会の広範な領域で活動できる有能な市民の育成をめざします。

コース卒業生の進路としては、一般企業や公務員はもとより、政治学研究者やジャーナリスト、シンクタンクのアナリスト、NPO/NGOの職員など、政治学的素養を活かすことのできる多様な職種が考えられます。また、将来、地方議員や国会議員などの政治家のスタッフとして、さらには政治家本人として、直接政治の世界で活躍することもその選択肢に含まれるでしょう。

II. 実践演習の内容

政治システム実践演習では、現役の地方議員をはじめ実際の政治・行政の領域やNPO/NGOの現場、さらにはジャーナリズムの現場で活躍する（またはかつて活躍した）学外講師を招くなど、政治の実際の現場に即した、より実践的な内容の授業を展開します。

III 履修モデル

【モデル1】 ジャーナリスト志望。政治ブロックと公共政策ブロックを中心に履修。現実の政治と社会が抱える諸問題について学びたい。

	コース専門科目	他コース科目・選択専門科目
2 年	表象文化論 2	憲法C 2
	政治学原論B 2	刑事政策A（犯罪・非行と法） 2
	公共政策論 2	
	NPO/NGOと市民社会 2	
	公共政策学概論 2	
	政治哲学 2	
3 年	現代政治分析 2	刑事政策B 2
	政治社会学 2	国際政治論B 2
	政治心理学 2	外交政策論 2
	政策評価論 2	
	メディアと政治 2	
	政治システム実践演習A 2	

【モデル2】 一般企業への就職を希望。政治ブロックを中心に履修。政治という人間の営みについて原理的・体系的に学びたい。

	コース専門科目	他コース科目・選択専門科目
2 年	近代啓蒙論 2	憲法C 2
	政治学原論B 2	外交史A 2
	西洋政治史 2	外交史B 2
	政治哲学 2	
	日本政治史 2	
	西洋政治思想史 2	
3 年	現代政治分析 2	国際政治論B 2
	政治社会学 2	外交政策論 2
	日本政治思想史 2	
	政治心理学 2	
	地方政治論 2	
	メディアと政治 2	

履修登録

I 履修登録手続きの流れ

II 履修登録の注意点

1. 履修単位数制限
2. 所属による履修の制約
3. クラス指定科目
4. 申込科目
 - (1) 法学部開講申込科目一覧
 - (2) 再履修登録
 - (3) 言語科目のクラス変更
 - (4) 英語の同時履修
5. 先修条件
6. 専門導入科目の履修制限
7. ペア履修科目
8. 専門科目のナンバリング
9. 留学プログラム、外国語インテンシブ・プログラム等 履修上の注意
10. 他学部履修
11. 同一名称科目等
12. 資格関連科目
13. 隔年開講科目

III 全学開講科目

1. 2021年度 全学科目 開講一覧・履修登録（事前申込含む）について
2. 2021年度 全学科目申込・履修についての諸注意

I 履修登録手続きの流れ

- ◎スケジュールは表紙裏面参照（履修登録は、春学期と秋学期の年2回行われます）
 履修登録は Web で行い、登録内容を Web 履修登録照会画面で確認することで完了します。
 登録を所定期間に行わなかった場合、授業科目を履修、単位を修得できません。

Step 1. 履修心得・授業時間割・クラス指定表を受け取る

①クラス指定科目を確認

スタディスキル演習、言語科目等の必修科目は、予め履修するクラスが指定されています。
 まず「クラス指定表」で自分のクラスを確認してください。

②申込科目の申請

定員などが設けられている「申込科目」は、本登録期間前に手続きが必要です。

③上記以外の履修科目を選択

カリキュラムを理解した上で、シラバスや授業時間割から履修する科目を選択してください。

Step 2. Web での本登録、確認、修正（教学 Web サービス）（※）

履修登録スケジュールは表紙裏面のとおりです。
 所定の期間を過ぎると、履修登録の手続きは一切できません。
 履修登録の方法は教学 Web サービス上のマニュアルを参照してください。

Step 3. 時間割照会で履修内容を確認（教学 Web サービス）（※）

Step 4. 履修中止申請（教学 Web サービス）（※）

※申込科目については、履修中止ができません。

（※）教学 Web サービスは2021年夏に新しいポータルサイトに移行します。

《 要 注 意 》

- ① 履修登録を完了する際に、必ず最後に **申請/Apply** ボタンを押すこと。
- ② **申請/Apply** が完了すると、関学アドレス（…@kwansei.ac.jp）に履修登録完了メールが届くので、必ず確認すること。
- ③ 一度申請した後、再度修正を加える場合も必ず最後に **申請/Apply** ボタンを押すこと。（押さなければ修正内容が反映されないので注意すること）

※ 履修登録（申込科目・本登録・修正・履修中止）は必ず本人が行うこと。

※ ①～③を正しく行わなければ、履修を受け付けることができません。

Ⅱ 履修登録の注意点

履修計画を立てる際は、次の点に注意してください。

法学部のカリキュラムをまずよく理解してください。	⇒	I. 1. 法学部の卒業に必要な単位
1学期間に履修登録できる単位数は制限されています。	⇒	1. 履修単位数制限
所属する学科・コースによって履修が限定される科目があります。	⇒	2. 所属による履修の制約
履修クラスが予め設定されている科目があります。	⇒	3. クラス指定科目
事前申し込みが必要な科目があります。	⇒	4. 申込科目
履修するための条件が設定されている科目があります。	⇒	5. 先修条件
週に2～3コマ開講される科目があります。	⇒	7. ペア履修科目
他学部開講の授業科目も履修できます。 (「+」印は不可)	⇒	10. 他学部履修
同一名称、同一内容の科目は履修できません。 (2020年度以前入学生の読み替え措置の対象科目)	⇒	11. 同一名称科目等

1. 履修単位数制限

- ・各学年の各学期において履修登録をすることができる単位数は「24単位」です。
- ・通年科目の単位数は各学期2分の1で計算します。(通年4単位：春2単位、秋2単位と計算)
- ・集中講義科目は開講学期の単位数に算入します。

単位数制限緩和について

- ① 特修コースまたは司法特修コース所属の学生およびMSプログラムを履修している学生は、2年次以降、各学期28単位まで履修を認めます。
- ② 2年次終了時点で成績がGPA上位5%以内の学生は、3年次以降各学期28単位まで履修を認めます。
- ③ 本学の交換留学制度で留学した学生は帰学後各学期28単位まで履修を認めます。
- ④ マルチプル・ディグリー制度による編入学生は各学期28単位まで履修を認めます。
- ⑤ 3年次編入学生で入学後最初の学期において、20単位以上修得かつGPA 2.00以上である場合、次学期以降は各学期28単位まで履修を認めます。

次の授業科目は、単位数制限の対象にはなりません。

○印：卒業単位に算入される科目、×印：卒業単位に算入されない外科目

法学部開講科目		グローバルスタディーズ科目	
議員インターンシップ実習	卒業単位 ○	海外異文化体験セミナー	卒業単位 ○
法学・政治学グローバル演習A・B・C・D	卒業単位 ○	短期海外インターンシップ	卒業単位 ○
海外フィールドワーク演習A・B・C・D	卒業単位 ○	国連セミナー	卒業単位 ○
ライフデザイン科目		海外フィールドワーク	卒業単位 ○
キャリアゼミA・B・C ※ただしキャリアゼミAは、2018年度以降入学生は単位数制限内	2017以前入学 卒業単位 ×	海外学習活動（ドイツ）	卒業単位 ○
	2018以降入学 卒業単位 ○	国際ボランティアゼミⅠ	卒業単位 ○
霞が関セミナー	2017以前入学 卒業単位 ×	グローバルPBL	卒業単位 ○
	2018以降入学 卒業単位 ○	インドネシア交流セミナーA・B	卒業単位 ○
インターンシップ実習	卒業単位 ○	トルコ交流セミナーA・B	卒業単位 ○
社会探究実習Ⅰ・Ⅱ （瀬戸内海・豊島環境FW） （広島・江田島平和FW）	卒業単位 ○	国連・外交フィールドワーク	卒業単位 ○
平和学特別演習「ヒロシマ」	卒業単位 ○	CCC Joint Seminar in Japan	卒業単位 ○
PBL 特別演習002・003・006・008	卒業単位 ○	CCC Joint Seminar in Canada	卒業単位 ○
ライフ・キャリア リーダーシップ実習	卒業単位 ○	CCC Global Internship in Japan	卒業単位 ○
基盤・学際科目		CCC Global Internship in Canada	卒業単位 ○
ハンズオン・インターンシップⅠ・Ⅱ	卒業単位 ○	CCC Global Career Seminar in Japan	卒業単位 ○
		CCC Global Career Seminar in Canada	卒業単位 ○
		CCC Cross-Cultural Workshop	卒業単位 ○
		CCC Field Study in Canadian Business	卒業単位 ○
		「交換留学」「中期留学」「認定留学」 「外国語研修」など各種海外派遣 プログラムに関連する科目	卒業単位 ○
その他の科目			
教職に関する科目／教育の基礎的理解に関する科目等			卒業単位 ×
各教科の指導法			卒業単位 ×
学校図書館司書教諭課程関連科目			卒業単位 ×
国際バカロレア教員養成プログラム関連科目			卒業単位 ×
資格科目			卒業単位 ×

2. 所属による履修の制約

所属する学科やコースによって履修が限定される科目があります。

(1) コース導入演習（2020年度以前入学生のみ履修可）

各コースのコアとなる専門科目の基本を少人数ゼミ形式で学びます。コース毎に開講されますが、どのクラスを修得しても最終的に選択したコースのコース科目に算入されます。

なお、コース導入演習の開講は2021年度までです。

〈注意〉

- ① 法律学科生は、政治システムコースの導入演習を履修できません。
- ② 政治学科生は、司法コース・企業法務コースの導入演習を履修できません。
- ③ 司法特修コースの学生は、コース導入演習を履修できません。

(2) コース実践演習

講義科目で得た知識をより深く理解し、実社会で活用できるようになるための演習科目です。実務家メンバーが講師を務め、専門性の高度化を図りながら、社会で通用する実践力を磨きます。

〈注意〉

選択するコース以外のコース実践演習は履修できません。

(3) その他

下記の科目は、司法特修コースに所属する学生のみが履修可能な科目です。

〈該当科目〉

法曹入門、民法発展演習、憲法発展演習、刑法発展演習、民事訴訟法発展演習、ケースメソッド民法演習、ライティング演習

3. クラス指定科目

言語科目（必修・選択必修）と一部の専門科目は、予め履修クラスが決まっています。1・2年生は自分の指定クラスを『クラス指定表』で確認してください。

必修外国語（英語など）	選択必修外国語
スタディスキル演習（旧・スタートアップ演習）	キリスト教学A・B（再履修は指定なし）
民法入門（1・2年生ともクラス指定）	民法総則（1年生はクラス指定）
日本国憲法（2年生はクラス指定）	憲法A（2年生はクラス指定）
ビジネスと法（1・2年生ともクラス指定）	犯罪と法（1・2年生ともクラス指定）
地域政策入門A（1・2年生ともクラス指定）	

〈注意〉

- ① 入学時に選択した選択必修科目の外国語は、途中での変更は一切認めません。
- ② 法学部では、各種語学検定試験による単位認定は一切行っていない。
- ③ クラス指定の外国語科目は、所定期間に手続きをすることで履修中止が可能ですが、春学期に履修中止しても、秋学期には春学期と同じクラスが自動的に登録されます。

4. 申込科目

申込科目とは、Web で本登録を行う前に履修申し込み手続きが必要な授業科目です。

(☞ 申込科目スケジュールは、P. 10～参照)

- ① 申込科目は所定の期間しか手続きをすることができません。
- ② 申込科目は、一度当選すると取り消し・変更することはできません。必ず、シラバス等で授業内容を理解した上で、申し込むようにしてください。
- ③ 手続きをしていない申込科目は履修できません。
- ④ 必修科目やクラス指定科目と絶対に重複してはいけません。**※重複した場合は無効**

(1) 法学部開講申込科目一覧

法学部開講科目のうち、次の授業科目は所定期間に申し込み手続きが必要です。

申し込みが定員を超えた場合、抽選または選考を行い、選考結果は教学 Web サービスで発表します。

■春学期（通年） 申込科目

授業科目	履修基準年度	クラス定員	複 数 クラス	備 考
人文演習 A	2 年	25	☆	2 年生を優先
キリスト教学演習 A	2 年	20		2 年生を優先
模擬裁判演習	2 年	20		2 年生を優先
英会話（特）Ⅰ	1 年	25	☆	
英会話（特）Ⅱ	2 年	25		
英作文（特）	2 年	25		
コース導入演習※ ¹	2 年	25	☆	
法政教養演習	2 年	20	☆	2 年生を優先
哲学 A	1 年	400		
心理学 A	1 年	300		
日本文学 A	1 年	500		
ジェンダーと法 B	2 年	500		2 年生を優先
地域データ分析	2 年	75		経済学部から申し込むこと
地域政策演習 A ※ ²	2 年	24	☆	
司法実践演習 A	3 年	25	☆	司法コース限定
国際法政実践演習 A 1クラス/ 企業法務実践演習 A 1クラス	3 年	25		国際法政コース・ 企業法務コース限定
公共政策実践演習 A 2クラス※ ² / 企業法務実践演習 A 2クラス	3 年	25		公共政策コース・ 企業法務コース限定
企業法務実践演習 B	3 年	25		企業法務コース限定
公共政策実践演習 A ※ ² 1クラス・3クラス	3 年	25	☆	公共政策コース限定
公共政策実践演習 B ※ ²	3 年	25		公共政策コース限定

授業科目	履修基準年度	クラス定員	複 数 クラス	備 考
政治システム実践演習 A 1クラス/ 公共政策実践演習 A 5クラス	3 年	25		政治システムコース・ 公共政策コース限定
◆国内フィールドワーク演習 D (公共政策) 1クラス※2	2 年	約10		定員を超えた場合は選考
◆法学・政治学国際交流セミナー 1クラス	1 年	30		〈オンライン型：アメリカ〉 定員を超えた場合は選考
法学・政治学国際交流セミナー 10クラス	1 年	20		〈対面演習型〉 日本人学生と留学生の人数バランス を考慮の上抽選
◆議員インターンシップ実習	1 年	—		
司法特修実践演習 B	3 年	20		司法特修コース限定
ケースメソッド民法演習	3 年	20		司法特修コース限定
ライティング演習	3 年	20	☆	司法特修コース限定
社会学原論 A	1 年	—		教職等関連科目 社会学部から申し込むこと 定員等詳細は教学 Web にてお知らせ します
社会学概説	1 年	—		教職等関連科目 社会学部から申し込むこと 定員等詳細は教学 Web にてお知らせ します
異文化理解	1 年	—		
英米文学作品研究 I	2 年	—	☆	教職等関連科目 別途文学部の履修心得参照
英米文学作品研究 II	3 年	—	☆	
英米文学資料研究	3 年	—	☆	

■秋学期 申込科目

授業科目	履修基準年度	クラス定員	複 数 クラス	備 考
人文演習 B	2 年	25	☆	2 年生を優先
キリスト教学演習 B	2 年	20		2 年生を優先
基本演習	1 年	25	☆	1 年生を優先
コース導入演習※ ¹	2 年	25	☆	
法政教養演習	2 年	20		2 年生を優先
哲学 B	1 年	400		
心理学 B	1 年	300		商学部から申し込むこと
日本文学 B	1 年	500		
関西経済論	2 年	500		経済学部から申し込むこと
地域政策演習 B ※ ²	2 年	24	☆	
司法実践演習 B	3 年	25		司法コース限定
企業法務実践演習 B 1クラス	3 年	25		企業法務コース限定
企業法務実践演習 B 3クラス	3 年	25		企業法務コースで「労働法概論」を修得した者限定
◆国際法政実践演習 B 4クラス/ ◆企業法務実践演習 B 4クラス	3 年	25		国際法政コース・ 企業法務コース限定
公共政策実践演習 B 5クラス※ ² / 企業法務実践演習 B 5クラス	3 年	25		公共政策コース・ 企業法務コース限定
公共政策実践演習 A ※ ²	3 年	25		公共政策コース限定
公共政策実践演習 B ※ ² 2クラス・3クラス	3 年	25	☆	公共政策コース限定
政治システム実践演習 B 1クラス/ 公共政策実践演習 B 1クラス※ ²	3 年	25		政治システムコース・ 公共政策コース限定
国内フィールドワーク演習 C ※ ² (公共政策) 1クラス	2 年	約15		定員を超えた場合は選考
◆法学・政治学グローバル演習 C 2クラス	1 年	約15		〈台湾〉定員を超えた場合は選考 ※開講できる場合は別途案内
◆法学・政治学グローバル演習 D 2クラス	1 年	約30		〈アメリカ〉定員を超えた場合は選考 ※開講できる場合は別途案内
◆法学・政治学国際交流セミナー 3クラス	1 年	約15		〈オンライン型：インド〉 定員を超えた場合、志望理由書及 び GPA で選考
◆議員インターンシップ実習	1 年	—		
民事訴訟法発展演習	2 年	20		司法特修コース限定・定員を超えた場合 GPA で選考
司法特修実践演習 A	2 年	20		司法特修コース限定・定員を超えた場合 GPA で選考
司法特修実践演習 C・D	3 年	20		司法特修コース限定・定員を超えた場合 GPA で選考

授業科目	履修基準年度	クラス定員	複数クラス	備 考
社会学原論B	1年	—		教職等関連科目 社会学部から申し込むこと 定員等詳細は教学 Web にてお知らせします
異文化理解	1年	—		教職等関連科目 別途文学部の履修心得参照
英米文学作品研究Ⅰ	2年	—	☆	
英米文学作品研究Ⅱ	3年	—	☆	
英米文学資料研究	3年	—	☆	

☆印は、複数クラス開講されていることを示します。

※1 学科によって履修できないクラスがあります (P.64参照)

※2 経済学部との合同科目です。

◆印の科目は、受付期間・方法が通常とは異なります。詳細は法学部の掲示・教学 Web サービス (※2021年夏に新しいポータルサイトに移行予定) 等を参照してください。

議員インターンシップ実習

履修単位数制限外の科目です。春学期の履修希望者は4月1日(木)～4月15日(木)11時30分の期間に法学部事務室で申し込み手続きを行ってください。秋学期の履修希望者は9月21日(火)～10月8日(金)11時30分の期間に法学部事務室で申し込み手続きを行ってください。卒業直前の学期はエントリーできません。履修登録及び単位認定できるのは1回限りです。

国内フィールドワーク演習D (公共政策) 1クラス (通年: 担当山下先生)

履修希望者は4月1日(木)～4月9日(金)11時30分の期間に法学部事務室で申し込み手続きを行ってください。履修者発表は4月12日(月)です。

国内フィールドワーク演習C (公共政策) 1クラス (秋学期: 担当北山先生)

受付期間・方法については決定次第、法学部の掲示板等で発表します。

法学・政治学国際交流セミナー 1クラス (春学期: 担当小笠原先生)

履修希望者は3月23日(火)～4月3日(土)16時50分の期間に所定フォーム (Microsoft Forms) より申し込み手続きを行ってください。詳細は教学 Web サービスのお知らせを確認してください。

法学・政治学国際交流セミナー 3クラス (秋学期: 担当水戸考道先生・ヘアマンセン先生)

受付期間・方法については決定次第、法学部の掲示板等で発表します。

法学・政治学グローバル演習C・D (秋学期: 台湾、アメリカ)

履修単位数制限外の科目です。クラス (渡航先) によって、受付期間・方法が異なります。詳細は決定次第、法学部の掲示等で発表します。

※当該学期に卒業する者は、渡航時期の関係で卒業判定の単位に含めることはできません。

〈注意〉

- ① 上記に記載されていない以外でも、さまざまな事情で申込科目に変わる場合があります。変更が発生した場合は、掲示等でお知らせします。
- ② 各学部が開講する申込科目は、個別各学部で確認してください。
- ③ 全学開講科目の申込方法は、「Ⅲ 全学開講科目（P.79～）」を参照してください。

(2) 再履修登録**①言語科目（必修・選択必修）の再履修**

単位を修得できず再履修となる場合は、翌学期に自動的に登録されます。学期開始時に各自で教学 Web（※2021年夏に新しいポータルサイトに移行予定）の履修画面を確認して、登録されている授業を受講してください。学期開始時に、再履修対象の科目が登録されていない場合は、法学部事務室へ個別問い合わせてください。

外国語インテンシブ・プログラム、必修日本語、基礎英語の再履修については法学部事務室へ個別問い合わせてください。

②キリスト教学A・Bの再履修

1年生の指定クラス（1・2クラス）と再履修クラス（3クラス）があります。再履修者はどのクラスを履修しても構いません。履修登録期間に Web で登録してください。

キリスト教学は、A・B同時履修を認めています。春学期にAを修得できなくても、秋学期にA・Bを同時に履修することができます。

③スタディスキル演習

予め再履修クラスが指定されるため、自身で登録する必要はありません。再履修の場合は、秋学期の再履修クラスを受講しなければなりません。

(3) 言語科目のクラス変更

次の場合に限り、言語科目の指定クラスを変更することが可能です。該当者は所定期間に法学部事務室に申し出てください。ただし、言語科目の開講状況により変更が難しい場合があります。

- ①司法特修コースに所属しており、司法特修コースの演習科目と、言語科目の指定クラスが重複した場合。
- ②司法特修コース所属で法曹養成連携プログラムに登録しており、法曹養成連携プログラム指定科目と、言語科目の指定クラスが重複した場合。

(4) 英語の同時履修

法学部では、英語のA・B同時履修はできません。ただし、次の場合に限り、履修単位数制限を超えない範囲で英語A・Bの同時履修登録を認めます。該当者は授業開始迄に法学部事務室に申し出てください。

①2年生以上

→ 研究演習Ⅰの履修希望者で、秋学期に同時履修することにより先修条件充足見込みとなる場合。

②4年生以上

→ 3月卒業をめざす者で、秋学期に同時履修することにより卒業見込みとなる場合。

→ 9月卒業をめざす者で、春学期に同時履修することにより卒業見込みとなる場合。

5. 先修条件

履修にあたり、その内容や段階に応じて一定の条件が設けられている科目があります。この条件を「先修条件」といいます。先修条件が設けられている授業科目は次のとおりです（○数字が記載しているものは、いずれかを満たすことが条件となります）。

系 列		授 業 科 目	左の授業科目を履修するための先修条件
基礎 科目 群	言 語 科 目	英語Ⅱ A (LR) 英語Ⅱ B (LR)	英語Ⅰ A (LR) および英語Ⅰ B (LR) ※2020年度以前入学生は、P.76の同一名称科目を参照のこと
		英語Ⅱ A (SW) 英語Ⅱ B (SW)	英語Ⅰ A (SW) および英語Ⅰ B (SW) ※2020年度以前入学生は、P.76の同一名称科目を参照のこと
		入門英語Ⅱ A	入門英語Ⅰ A (2単位)
		入門英語Ⅱ B	入門英語Ⅰ B (2単位)
		基礎英語Ⅱ A (LR) 基礎英語Ⅱ B (LR)	基礎英語Ⅰ A (LR) および基礎英語Ⅰ B (LR) ※2020年度以前入学生は、P.76の同一名称科目を参照のこと
		基礎英語Ⅱ A (SW) 基礎英語Ⅱ B (SW)	基礎英語Ⅰ A (SW) および基礎英語Ⅰ B (SW) ※2020年度以前入学生は、P.76の同一名称科目を参照のこと
		フランス語 AⅡ	フランス語 AⅠ
		フランス語 BⅡ	フランス語 BⅠ
		フランス語 AⅢ フランス語 BⅢ	フランス語 AⅡ およびフランス語 BⅡ
		フランス語 AⅣ	フランス語 AⅢ
		フランス語 BⅣ	フランス語 BⅢ
		ドイツ語 AⅡ	ドイツ語 AⅠ
		ドイツ語 BⅡ	ドイツ語 BⅠ
		ドイツ語 AⅢ ドイツ語 BⅢ	ドイツ語 AⅡ およびドイツ語 BⅡ
		ドイツ語 AⅣ	ドイツ語 AⅢ
		ドイツ語 BⅣ	ドイツ語 BⅢ
		中国語Ⅱ	中国語Ⅰ
		中国語Ⅲ	中国語Ⅱ
		中国語Ⅳ	中国語Ⅲ
		朝鮮語Ⅱ	朝鮮語Ⅰ
		朝鮮語Ⅲ	朝鮮語Ⅱ
		朝鮮語Ⅳ	朝鮮語Ⅲ
		スペイン語Ⅱ	スペイン語Ⅰ
		スペイン語Ⅲ	スペイン語Ⅱ
		スペイン語Ⅳ	スペイン語Ⅲ

系 列	授 業 科 目	左の授業科目を履修するための先修条件
基礎科目群	言語科目 日本語Ⅱ	日本語Ⅰ
	日本語Ⅲ	日本語Ⅱ
	日本語Ⅳ	日本語Ⅲ
	インテンシブ・イングリッシュ※	①スプリング・インテンシブ・イングリッシュ ②英語ⅠA (LR)・ⅠA (SW) (2単位) ③入門英語ⅠA・ⅠB (2単位)
	フランス語インテンシブ初級Ⅰ※	フランス語AⅠおよびフランス語BⅠ
	ドイツ語インテンシブ初級Ⅰ※	ドイツ語AⅠ およびドイツ語BⅠ
	フランス語インテンシブ初級Ⅱ※	フランス語インテンシブ初級Ⅰ
	ドイツ語インテンシブ初級Ⅱ※	ドイツ語インテンシブ初級Ⅰ

※ 外国語インテンシブ・プログラムの詳しい先修条件は、言語教育研究センターが発行する冊子を参照してください。

系 列	授 業 科 目	左の授業科目を履修するための先修条件
教職等関連科目	英語（特）Ⅲ	①英語ⅡA・B (LR) および英語ⅡA・B (SW) ②入門英語ⅡA (2単位) および 入門英語ⅡB (2単位) ③インテンシブ・イングリッシュ (6単位)
	英会話（特）Ⅱ	英会話（特）Ⅰ
専門科目群	演習科目 法学研究演習Ⅰ 政治学研究演習Ⅰ 法政文化研究演習Ⅰ	(a) 2カ年以上（休学期間を除く）在学 (b) 言語科目の必修科目から4単位。 (c) 言語科目の選択必修科目から4単位。 (d) 専門科目群の授業科目のうち次の科目 i 専門導入科目6単位 ただし、政治学科生は政治学入門A又はB 2単位を含む。 ii スタディスキル演習又はスタートアップ演習2単位 iii 法律学科生は専門基幹科目の実定法科目4単位 (e) 上記以外に履修基準年度が1年および2年の科目より法律学科生は22単位以上。政治学科生は26単位以上。 〈注意〉 以下の学生については、法学部内規を確認してください。 ・編入学生 ・外国人留学生入学試験を受けて入学した学生
	法学研究演習Ⅱ	法学研究演習Ⅰ※
	政治学研究演習Ⅱ	政治学研究演習Ⅰ※
	法政文化研究演習Ⅱ	法政文化研究演習Ⅰ※

※研究演習Ⅰと異なる担当者の研究演習Ⅱは履修できません。

6. 専門導入科目の履修制限

専門導入科目は、専門科目を学ぶにあたっての基礎的な科目です。
「研究演習Ⅰ」を履修登録した年度以降は、専門導入科目を履修することができません。

法律 学科	現代の人権	ビジネスと法	国際社会と法	犯罪と法
	法のしくみと考え方	地域政策入門 A	地域政策入門 B	

政治 学科	現代の人権	国際社会と法	政治学入門 A	政治学入門 B
	地域政策入門 A	地域政策入門 B		

7. ペア履修科目

法学部開講科目のうち以下の科目は、週2コマまたは3コマ履修登録しなければならない授業科目です。曜日時限は時間割で確認してください。

週 2 コマ	スタディスキル演習（初回に配付する授業スケジュールに従うこと）		
	中国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	朝鮮語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	スペイン語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
	民法総則	債権総論	債権各論
	物権法	民事訴訟法	会社法 A
	有価証券法	法政文化研究演習Ⅰ （オストハイダ先生クラス）	政治学研究演習Ⅰ （山田真裕先生・武藤先生クラス）
	日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	スプリング・インテンシブ・ イングリッシュ	ドイツ語インテンシブ 初級Ⅲ・中級
	フランス語インテンシブ 初級Ⅲ・中級		
週 3 コマ	インテンシブ・イングリッシュ	ドイツ語インテンシブ 初級Ⅰ・Ⅱ	フランス語インテンシブ 初級Ⅰ・Ⅱ

8. 専門科目のナンバリング

法学部では、専門科目群の体系的性と難易度を分かり易く示すために、教育課程表の「専門教育科目」の科目左にコード番号をナンバリングしています。各コード番号の位置づけは下表のとおりです。ナンバリングを参考に体系的な履修登録を行ってください。

コード番号	位置付け
100	法律学・政治学を学ぶ上でのスタディ・スキルを身につける科目
200・250	法律学・政治学を学ぶ上での基礎知識を身につける科目
300・350	法律学・政治学を学ぶ上での応用的要素の強い科目
400・450	300番台よりもさらに応用的要素の強い科目
500	大学院開設科目と連携して開講する科目

9. 留学プログラム、外国語インテンシブ・プログラム等 履修上の注意

※留学における履修上の注意

留学する学期は、履修登録することができません。留学した時点で履修登録が自動的に削除されます（秋学期に留学する場合は、通年科目も削除されます）。

(1) 中期留学（英語・フランス語・ドイツ語・スペイン語）

留学前に語学必修単位（8単位）を満たしていない場合、中期留学で修得した単位を法学部の必修単位としてカウントすることができます。中期留学で修得できる単位数は、参加するプログラムによって異なります。

☞ 詳細は国際教育・協力センターが発行する冊子を参照してください。
ドイツ語中期留学は文学部開講のプログラムです。

(2) 国連ユースボランティア、国際社会貢献活動

「国連ユースボランティア」または「国際社会貢献活動」に参加する学生は、国際教育・協力センター発行の冊子で明記する単位認定に加え、法学部の国際法政コースの「コース科目」としても単位認定を受けることができます。

「コース科目」として単位認定を受けるためには、出国前に法学部で説明を受け、プログラム完遂後に法学部へ報告レポートを提出することが必要です。

派遣が決定次第、法学部事務室に申し出てください。

〈留学等から帰学した学生に対する履修の弾力化〉

大学・学部が実施する交換留学・長期留学（学部科目履修型）・認定留学、中期留学、中期海外インターンシッププログラム、国際ボランティア等から帰学した学期の履修は、原則として認められません。ただし、以下の科目については特例措置を設けています。

■通年科目

学部が特に認めた通年科目に限り、原則としてその年度の5月末までに帰学し、学部が定める履修指導を受けることを条件として、当該科目の履修を許可する。

■春・秋学期後半開講科目

帰学した学期の後半開講科目については、当該学生が全学授業日程に出席可能であることを条件として、帰学の時期を問わず、履修を許可する。

■集中講義科目

帰学した学期の集中講義科目については、当該学生が全授業日程に出席可能であることを条件として、帰学の時期を問わず、履修を許可する。

上記科目の履修を希望する学生は、所定の期間に自ら履修登録を行った上で、帰国後速やかに法学部事務室にて所定の手続を取らなければなりません。

(3) 入門英語

入学前に受験する英語プレースメントテスト（GTEC）の結果によって入門英語を履修することになった場合、必修科目は以下のとおりです。

1 年春	入門英語Ⅰ A（1 単位）・入門英語Ⅰ B（1 単位）
1 年秋	入門英語Ⅰ A（1 単位）・入門英語Ⅰ B（1 単位）
2 年春	入門英語Ⅱ A（1 単位）・入門英語Ⅱ B（1 単位）
2 年秋	入門英語Ⅱ A（1 単位）・入門英語Ⅱ B（1 単位）

入門英語から学部レギュラークラスの英語に移動を希望する場合、以下の手続きが必要です。詳細は法学部事務室へ問い合わせてください。なお、申請の結果、希望が通らないこともあります。

申請時期：1 年次の秋学期成績発表日から 2 月末まで

申請書類：①移動申請書 ②入門英語の担当教員からの推薦書

※学部レギュラークラスの英語を履修する者が入門英語に移動することはできません。

(4) 外国語インテンシブ・プログラム

外国語インテンシブ・プログラムに登録した場合、必修・選択必修科目は以下のとおりです。また、インテンシブ・イングリッシュに進んだ者は、学部の英語コースに戻ることはできません。

☞ 詳細は言語教育研究センターが発行する冊子を参照してください。

■英語インテンシブ・プログラム（8 単位）

1 年春	英語Ⅰ A（LR）（1 単位）・英語Ⅰ A（SW）（1 単位）または スプリング・インテンシブ・イングリッシュ（2 単位）
1 年秋	インテンシブ・イングリッシュ（3 単位）
2 年春	インテンシブ・イングリッシュ（3 単位）

■フランス語／ドイツ語インテンシブ・プログラム（8 単位）

1 年春	フランス語 AⅠ・BⅠ（各 1 単位）または ドイツ語 AⅠ・BⅠ（各 1 単位）
1 年秋	フランス語インテンシブ初級Ⅰ※（3 単位）または ドイツ語インテンシブ初級Ⅰ※（3 単位）
2 年春	フランス語インテンシブ初級Ⅱ（3 単位）または ドイツ語インテンシブ初級Ⅱ（3 単位）

※初級Ⅰが不合格になった場合は、通常の学部コースに戻り、AⅡ・BⅡから履修しなければなりません。

10. 他学部履修

関西学院大学では総合大学の特色を活かし他学部が開講する授業科目も履修することができます。他学部履修によって修得した単位は、他学部開設科目の単位として、卒業必要単位数に算入されます。

シラバス（授業実施要綱）および授業時間割に「十」の印がついている他学部の授業科目は履修できません。ただし、MS プログラム履修生はこの限りではありません。

キャンパス間移動が伴う場合の履修制限

神戸三田キャンパスまたは西宮聖和キャンパスの授業科目を履修する場合、移動時間の関係で西宮上ヶ原キャンパスの履修が以下のとおり制限されます。

		西宮上ヶ原				
		I	II	III	IV	V
神戸三田	I 時限 履修	×	×	○	○	○
	II 時限 履修	×	×	×	○	○
	III 時限 履修	○	×	×	×	○
	IV 時限 履修	○	○	×	×	×
	V 時限 履修	○	○	○	×	×

		西宮上ヶ原				
		I	II	III	IV	V
西宮聖和	I 時限 履修	×	○	○	○	○
	II 時限 履修	○	×	○	○	○
	III 時限 履修	○	○	×	×	○
	IV 時限 履修	○	○	×	×	×
	V 時限 履修	○	○	○	×	×

11. 同一名称科目等

(1) 同一名称科目（2020年度以前入学生の読み替え措置の対象科目）

左科目（旧科目）の単位を既に修得している場合、右科目（新科目）は履修できません。

なお、2020年度以前入学生は、旧科目の履修登録を行う場合は、新科目で履修登録を行ってください。ただし、単位数は当該科目を履修・修得した年度の情報が適用されます。

2017年度以前科目		2018年度以降科目	
旧 科 目 名	単位数	新 科 目 名	単位数
学習心理学	2	学習心理学（学習・言語心理学）	2

2019年度以前科目		2020年度以降科目	
旧 科 目 名	単位数	新 科 目 名	単位数
公共政策論 A	2	公共政策論	2
公共政策論 B	2		

2020年度以前科目		2021年度以降科目	
旧 科 目 名	単位数	新 科 目 名	単位数
スタートアップ演習	2	スタディスキル演習	2
英語 I 甲 A	1	英語 I A（LR）	1
英語 I 甲 B	1	英語 I B（LR）	1
英語 II 甲 A	1	英語 II A（LR）	1
英語 II 甲 B	1	英語 II B（LR）	1
英語 I 乙 A	1	英語 I A（SW）	1
英語 I 乙 B	1	英語 I B（SW）	1
英語 II 乙 A	1	英語 II A（SW）	1
英語 II 乙 B	1	英語 II B（SW）	1
基礎英語 I 甲 A	1	基礎英語 I A（LR）	1
基礎英語 I 甲 B	1	基礎英語 I B（LR）	1
基礎英語 II 甲 A	1	基礎英語 II A（LR）	1
基礎英語 II 甲 B	1	基礎英語 II B（LR）	1
基礎英語 I 乙 A	1	基礎英語 I A（SW）	1
基礎英語 I 乙 B	1	基礎英語 I B（SW）	1
基礎英語 II 乙 A	1	基礎英語 II A（SW）	1
基礎英語 II 乙 B	1	基礎英語 II B（SW）	1
知的財産法	2	知的財産法 A	2
		知的財産法 B	2

(2) その他 他学部履修不可科目

他学部開講の授業科目のうち、「†」印のついている科目以外に、次の科目は法学部開講科目と名称が同一、内容が同一、その他の理由で履修できません。

開講学部	授 業 科 目
神 学 部	日本国憲法、政治学原論 A、国際政治論 A
文 学 部	日本国憲法、政治学原論 A、国際政治論 A
社 会 学 部	仕事と法、日本国憲法、政治学原論 A、国際政治論 A、公共政策論、NPO／NGO の社会学
経 済 学 部	民法 A・B、商法 A・B、日本国憲法、政治学原論 A、国際政治論 A、財政学 A・B、社会保障論 A・B
商 学 部	民法 A・B、企業法入門、会社法、国際経済論、法学 A・B、政治学 A・B、ビジネスエコノミクス I・II、日本国憲法、政治学原論 A、国際政治論 A、経済学基礎、国際取引法 I・II、国際経済政策論
総 合 政 策 学 部	経済学概論、企業法論、行政法、財政学、経済地理学、国際経済学、国際法、政治学概論、法学概論、行政学、国際政治学、日本国憲法、経営学、政策評価論、環境法、言語政策論、国際機構論、国際協力論、環境経済学、社会学概論、心理学概論、論理学、社会保障論
人 間 福 祉 学 部	法学、政治学、経済学、日本国憲法、NPO 論、財政と社会保障、自治体経営論、芸術（音楽）、芸術（美術）、社会学、心理学、統計学
教 育 学 部	現代社会と法、日本国憲法、数理の科学
国 際 学 部	哲学・思想基礎、政治学基礎、国際法基礎、国際紛争論、経済学基礎、日本国憲法、現代国際法、国際政治経済論、環境経済学、経営学基礎、表象文化論、外交政策論、英米文学概論、簿記基礎、アメリカの政治、韓国の政治と外交、中国の政治と外交
理 学 部	日本国憲法、法学、経済学、社会学
工 学 部	日本国憲法、法学、経済学、社会学
生 命 環 境 学 部	日本国憲法、法学、経済学、社会学
建 築 学 部	日本国憲法、心理学概論、論理学

(3) 重複履修

既に単位を修得した授業科目を再び履修することはできませんが、次の科目は例外です。

①法学・政治学特講 A・B

科目名称の記号にかかわらず、講義内容が異なる場合は重複して履修できます。

②法学・政治学外書講読

語種が異なる場合は重複して履修することができます。

③選択専門演習 A・B

科目名称の記号にかかわらず、講義内容が異なる場合は重複して履修できます。

④イギリス文学特殊講義・アメリカ文学特殊講義・英米文学作品研究 I・II・

英米文学資料研究・実践英語学特殊講義

一度単位を修得した科目でも、再び履修することができます。

12. 資格関連科目

(1) 教職課程

教職関連科目については、『法学部授業時間割』に記載された科目を登録してください（他学部時間割記載の科目は登録できません）。他学部で同じ名称の科目が開講されている場合がありますが、免許状取得のための「教科に関する科目（2018年度以前入学生）」、「教科に関する専門的事項（2019年度以降入学生）」としては認められませんので、十分確認のうえ履修登録してください。詳細は、『教職課程等履修要項』を参照してください。

(2) 博物館学芸員課程

(3) 社会教育主事課程

☞ 詳細は『教職課程等履修要項』を参照

2014年度以降入学生は社会教育主事資格の取得不可

(4) 学校図書館司書教諭資格

(5) 国際バカロレア教員養成プログラム

※履修にあたっては、事前申込等が必要な科目がありますので注意してください。

「教育実習A」、「教育実習B」、「博物館実習」、「教職実践演習（中・高）」

「教職免許状取得のための他学部（他学科）履修」等

13. 隔年開講科目

次の授業科目は原則として隔年で開講される予定です。（○：開講 ×：不開講）

授業科目	2021年度	2022年度	2023年度
環 境 法	×	○	×
社 会 保 障 法	○	×	○
イスラームの法と社会	○	×	○

Ⅲ 全学開講科目

2021年度 全学科目 開講一覧・履修登録（事前申込含む）について

2021年度の全学科目の開講は以下のとおりです。

各授業科目の授業形態は、シラバスの「授業方法」欄で確認してください。

履修登録については、下記とともに、P.88以降の履修上の注意または各窓口発行の冊子をよく確認してください。

担当窓口の略称は以下のとおり

共通教育センター（教務機構）…共通

スポーツ科学・健康科学教育プログラム室（教務機構）…スポ

言語教育研究センター（教務機構）…言セン

ハンズオン・ラーニングセンター…HoLC

国際教育・協力センター、日本語教育センター・・・CIEC

国連・外交統括センター…国連・外交

◎申込方法

「教学 Web サービス」は2021年夏に新しいポータルサイトに移行します。アクセス方法など詳細は2021年夏までに教学 Web サービス等でお知らせします。

A	Web での事前申込のみ	日程：春学期 4/ 1(木) 9:00~4/ 3(土) 16:50 発表：4/ 7(水) 9:00 秋学期 9/ 9(木) 9:00~9/10(金) 16:00 発表：9/15(水) 9:00
B	Web での事前申込 + 担当窓口への英語要件スコア原本持参	スコア原本持参期間は Web 事前申込と同じ ※スコアを事前登録済（自動登録も含む）の 学生は Web での事前申込のみで可
■	別日程での申込期間は 各要項で確認（右記） 配布は学部事務室・各窓口	担当窓口： 言セン…『Language Programs 2021 インテンシブ・プログラムと言語学習のすすめ』 HoLC…教学 Web（※2021年夏に新しいポータルサイトに移行予定）、 各科目個別の募集要項にてお知らせ 国連・外交…教学 Web（※2021年夏に新しいポータルサイトに移行 予定）、各科目個別の募集要項等で案内
空白	Web 履修登録・修正期間に Web 登録	

* 注意事項に※のあるものは、P.88以降の「全学科目申込・履修についての諸注意」を確認してください。

* 事前申込科目について、定員に満たないクラス等で追加受付を行う場合がありますので、スケジュール、教学 Web（※2021年夏に新しいポータルサイトに移行予定）を適宜確認してください。

* 担当窓口 言セン、HoLC については、必ず担当窓口発行の要項（上記表）を確認してください。

* CIEC 提供科目および海外留学プログラムについては『国際教育・協力プログラム募集要項』を参照してください。

春学期開講科目

春 言語教育科目											
申込 方法	注意 事項	担当 窓口	科目名	クラス	開講期	単位	履修 基準 年度	英語 実施	開講場所	受講者 数制限	特記事項
■		言セン	入門英語Ⅰ A	1～10	春	1	1	◎	上ヶ原・三田	25	クラス指定あり
■		言セン	入門英語Ⅰ B	1～10	春	1	1	◎	上ヶ原・三田	25	クラス指定あり
■		言セン	入門英語Ⅱ A	1～10	春	1	2	◎	上ヶ原・三田	25	クラス指定あり
■		言セン	入門英語Ⅱ B	1～10	春	1	2	◎	上ヶ原・三田	25	クラス指定あり
■		言セン	スプリング・インテンシブ・イングリッシュ	1～5	春	2	1	◎	西宮上ヶ原	25	選考あり（入学前）
■		言セン	インテンシブ・イングリッシュ	31～60	春	3	1	◎	西宮上ヶ原	25	選考あり
A		言セン	Skills-based English (Basic)	1～7	春	1	1	◎	上ヶ原・三田	25	
A		言セン	Skills-based English (Speaking & Listening)	1～2	春	2	1	◎	西宮上ヶ原	25	
B		言セン	Skills-based English (Speaking & Listening) L1	1	春	2	1	◎	西宮上ヶ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Speaking & Listening) L2	1	春	2	1	◎	西宮上ヶ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Speaking & Listening) L3	1	春	2	1	◎	西宮上ヶ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Writing) L1	1	春	1	1	◎	西宮上ヶ原	20	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Writing) L3	1	春	1	1	◎	西宮上ヶ原	20	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Reading) L1	1	春	1	1	◎	西宮上ヶ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Reading) L3	1	春	1	1	◎	西宮上ヶ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Academic) L3	1～2	春	2	1	◎	上ヶ原・三田	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Academic) L4	1	春	2	1	◎	西宮上ヶ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Business A) L2	1～2	春	1	1	◎	上ヶ原・三田	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Business B) L2	1	春	1	1	◎	西宮上ヶ原	25	英語要件あり
A		言セン	Skills-based English (TOEFL)	1～2	春	1	1	◎	上ヶ原・三田	25	
B		言セン	Skills-based English (TOEFL) L2	1～2	春	1	1	◎	西宮上ヶ原	25	英語要件あり
A		言セン	Skills-based English (TOEIC)	1～4	春	1	1	◎	上ヶ原・三田	25	
B		言セン	Skills-based English (TOEIC) L2	1	春	1	1	◎	西宮上ヶ原	25	英語要件あり
A		言セン	Skills-based English (IELTS)	1～3	春	1	1	◎	上ヶ原・三田	25	
A		言セン	Special English Seminar	1	春集中	1	1	◎	西宮上ヶ原	75	9/6～10の5日間 予備日9/11
■		言セン	フランス語インテンシブ初級Ⅱ	1～3	春	3	2		西宮上ヶ原	約20	履修要件あり
■		言セン	フランス語インテンシブ初級Ⅲ	1	春	2	2		西宮上ヶ原	約20	履修要件あり
■		言セン	フランス語インテンシブ中級	1	春	2	3		西宮上ヶ原	約20	履修要件あり
■		言セン	ドイツ語インテンシブ初級Ⅱ	1～2	春	3	2		西宮上ヶ原	約20	履修要件あり
■		言セン	ドイツ語インテンシブ初級Ⅲ	1	春	2	2		西宮上ヶ原	約20	履修要件あり
■		言セン	ドイツ語インテンシブ中級	1	春	2	3		西宮上ヶ原	約20	履修要件あり
A		言セン	基礎フランス語Ⅰ	1～2	春	1	1		西宮上ヶ原	40	
		言セン	基礎フランス語Ⅲ	1	春	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セン	フランス語アラカルト（読む）	1	春	1	2		西宮上ヶ原	—	
		言セン	フランス語アラカルト（書く）	1	春	1	2		西宮上ヶ原	—	
A		言セン	フランス語アラカルト（聞く・話す） A	1～2	春	1	1		西宮上ヶ原	30	
		言セン	フランス語アラカルト（聞く・話す） B	1	春	1	1		西宮上ヶ原	—	
		言セン	フランス語アラカルト（聞く・話す） C	1	春	1	1		西宮上ヶ原	—	
		言セン	基礎ドイツ語Ⅰ	1	春	1	1		西宮上ヶ原	—	
		言セン	基礎ドイツ語Ⅲ	1	春	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セン	ドイツ語アラカルト（読む）	1	春	1	2		西宮上ヶ原	—	
		言セン	ドイツ語アラカルト（書く）	1	春	1	2		西宮上ヶ原	—	
		言セン	ドイツ語アラカルト（聞く・話す） A	1	春	1	1		西宮上ヶ原	—	
		言セン	ドイツ語アラカルト（聞く・話す） B	1	春	1	1		西宮上ヶ原	—	
		言セン	ロシア語初級Ⅰ	1	春	1	1		西宮上ヶ原	—	
		言セン	ロシア語初中級	1	春	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セン	イタリア語初級Ⅰ	1～4	春	1	1		西宮上ヶ原	—	
		言セン	イタリア語初級Ⅱ	1	春	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セン	イタリア語初中級	1	春	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セン	スペイン語初級Ⅰ	1～2	春	1	1		西宮上ヶ原	—	
		言セン	スペイン語初級Ⅲ	1	春	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セン	スペイン語中級	1	春	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セン	ポルトガル語初級Ⅰ	1	春	1	1		西宮上ヶ原	—	
		言セン	ポルトガル語初中級	1	春	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セン	アラビア語初級Ⅰ	1	春	1	1		西宮上ヶ原	—	
		言セン	アラビア語初級Ⅱ	1	春	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セン	基礎中国語Ⅰ	1～2	春	1	1		西宮上ヶ原	—	
		言セン	基礎中国語Ⅲ	1	春	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セン	中国語中級	1～2	春	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セン	朝鮮語初級Ⅰ	1～4	春	1	1		西宮上ヶ原	—	
		言セン	朝鮮語初級Ⅲ	1～2	春	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セン	インドネシア語初級Ⅰ	1～2	春	1	1		西宮上ヶ原	—	
		言セン	インドネシア語初中級	1	春	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
A		言セン	日本手話初級Ⅰ	1	春	1	1		西宮上ヶ原	16	
A		CIEC	ビジネス日本語 A	1	春	1	3		西宮上ヶ原	15	留学生対象/「日本語科目履修案内」参照
A		CIEC	ビジネス日本語 B	1	春	1	3		西宮上ヶ原	15	留学生対象/「日本語科目履修案内」参照
A		CIEC	ビジネス日本語 C	1	春	1	3		西宮上ヶ原	15	留学生対象/「日本語科目履修案内」参照

春 スポーツ科学・健康科学科目（P.88以降の「全学科目申込・履修についての諸注意」を必ず確認すること）

申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	コース名・副題	クラス	代表者／コーディネータ	単位	履修基準年度	曜日・時限	開講場所	受講者数制限	特記事項
A		スポ	スポーツ科学講義A	スポーツパフォーマンス	1	浦田 達也	2	1	火2	西宮上ヶ原	200	
A		スポ	健康科学講義A	心と健康	1	永石 高敏	2	1	月5	西宮上ヶ原	200	
A		スポ	体育方法学講義C	体育講義	1	溝畑 潤	2	1	木1	西宮上ヶ原	200	
A		スポ	体育方法学講義C	体育講義 KSC	2	山下 伸一	2	1	水1	神戸三田	200	
A		スポ	スポーツ科学演習A	卓球	1	高島 規郎	2	1	木1	西宮上ヶ原	30	
A	※	スポ	スポーツ科学演習A	卓球	2	高島 規郎	2	1	木2	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	卓球	3	高島 規郎	2	1	木3	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	テニス	11	廣田 音奏	2	1	水2	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	バドミントン	21	仲田 秀臣	2	1	木2	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	バドミントン	22	仲田 秀臣	2	1	木3	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習C	フットサル	1	森 祐貴	2	1	月2	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習C	サッカー	2	山根 誠	2	1	水2	西宮上ヶ原	30	

A		スポ	スポーツ科学演習C	ソフトボール	11	浦田 達也	2	1	火3	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習D	バスケットボール	1	廣田 音奏	2	1	水3	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習D	バスケットボール	2	山本 浩二	2	1	金2	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習D	バレーボール	11	森 祐貴	2	1	月1	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習E	格技	1	山本 浩二	2	1	金3	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習F	水泳・水球	1	川上 光宣	2	1	火1	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習F	水泳・水球	2	川上 光宣	2	1	火3	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	健康科学演習A	フィットネス	1	廣田 音奏	2	1	木2	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	健康科学演習C	ニュースポーツ	1	林 直也	2	1	水2	西宮上ヶ原	30	
A	※	スポ	体育方法学演習C	体育実技	1	森 祐貴	2	1	月3	西宮上ヶ原	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技	2	山根 誠	2	1	水1	西宮上ヶ原	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技	3	佐藤 博信	2	1	木1	西宮上ヶ原	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	4	木谷 織信	2	1	火1	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	5	木谷 織信	2	1	火2	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	6	木谷 織信	2	1	火3	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	7	山下 伸一	2	1	水2	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	8	山下 伸一	2	1	水3	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	9	溝畑 潤	2	1	金1	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	10	溝畑 潤	2	1	金2	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	11	溝畑 潤	2	1	金3	神戸三田	35	
A		スポ	余暇生活学演習C	夏期アウトドア (キャンプ)	1~2	林 直也	2	1	集中 西宮上ヶ原・ 学外	40 (各20)	4月～7月に2回事前授業あり 8月実施	
春 情報科学科目 (P.88以降の「全学科目申込・履修についての諸注意」を必ず確認すること)												
申込 方法	注意 事項	担当 窓口	科目名	クラス	代表者／ コーディネータ	単位	履修 基準 年度	曜日 時限	開講場所	受講者 数制限	特記事項	
A		共通	コンピュータ基礎	1	岩田 一男	2	1年	水1	西宮上ヶ原	78		
A		共通	コンピュータ基礎	2	岩田 一男	2	1年	水2	西宮上ヶ原	78		
A		共通	コンピュータ基礎	3	岩田 一男	2	1年	水3	西宮上ヶ原	78		
A		共通	コンピュータ基礎	4	古隅 弘樹	2	1年	木1	西宮上ヶ原	78		
A		共通	コンピュータ基礎	5	西本 実苗	2	1年	火3	西宮上ヶ原	78		
A		共通	コンピュータ基礎	6	西本 実苗	2	1年	火4	西宮上ヶ原	78		
A		共通	コンピュータ基礎	7	西本 実苗	2	1年	火5	西宮上ヶ原	78		
A		共通	コンピュータ基礎	8	玉本 拓郎	2	1年	水4	西宮上ヶ原	78		
A		共通	コンピュータ基礎	9	橋本 幸枝	2	1年	金4	西宮上ヶ原	78		
A		共通	コンピュータ基礎	10	後藤 達也	2	1年	水5	西宮上ヶ原	78		
A		共通	コンピュータ基礎	11	谷村 要	2	1年	金5	西宮上ヶ原	78		
A		共通	コンピュータ基礎	12	近藤 晶子	2	1年	火2	西宮上ヶ原	78		
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	1	玉本 拓郎	2	1年	水5	西宮上ヶ原	30		
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	2	谷村 要	2	1年	金3	西宮上ヶ原	30		
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	3	森際 孝司	2	1年	月5	西宮上ヶ原	30		
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	4	周防 節雄	2	1年	木4	西宮上ヶ原	30		
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	5	島野 達雄	2	1年	月2	西宮上ヶ原	30		
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	6	島野 達雄	2	1年	月3	西宮上ヶ原	30		
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	7	島野 達雄	2	1年	水3	西宮上ヶ原	30		
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	8	内田啓太郎	2	1年	火2	西宮上ヶ原	30		
A	※	共通	コンピュータ実践 (表計算)	9	箱井 英寿	2	1年	金1	西宮上ヶ原	30		
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	10	高田 茂樹	2	1年	木2	西宮上ヶ原	30		
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	11	高田 茂樹	2	1年	木3	西宮上ヶ原	30		
A		共通	コンピュータ実践 (データ分析)	1	周防 節雄	2	1年	木3	西宮上ヶ原	30		
A		共通	コンピュータ実践 (データ分析)	2	箱井 英寿	2	1年	金2	西宮上ヶ原	30		
A		共通	コンピュータ実践 (データ分析)	3	池田 瑞穂	2	1年	木4	西宮上ヶ原	30		
A		共通	プログラミング言語基礎 (ActionScript)	1	鍵本 聡	2	1年	水4	西宮上ヶ原	30		
A		共通	プログラミング言語基礎 (ActionScript)	2	鍵本 聡	2	1年	水5	西宮上ヶ原	30		
A		共通	プログラミング言語基礎 (ActionScript)	3	森 巧尚	2	1年	火3	西宮上ヶ原	30		
A		共通	プログラミング言語基礎 (ActionScript)	4	森 巧尚	2	1年	火4	西宮上ヶ原	30		
A		共通	プログラミング言語基礎 (Excel VBA)		古隅 弘樹	2	1年	木2	西宮上ヶ原	30		
A		共通	プログラミング言語基礎 (Java)	1	岩田 一男	2	1年	火1	西宮上ヶ原	30		
A		共通	プログラミング言語基礎 (JavaScript)	1	西本 実苗	2	1年	月5	西宮上ヶ原	30		
A		共通	プログラミング言語基礎 (JavaScript)	2	西本 実苗	2	1年	火2	西宮上ヶ原	30		
A		共通	プログラミング言語基礎 (Processing)	1	鍵本 聡	2	1年	水2	西宮上ヶ原	30		
A		共通	プログラミング言語基礎 (Processing)	2	高田 茂樹	2	1年	月3	西宮上ヶ原	30		
A		共通	プログラミング言語基礎 (Processing)	3	高田 茂樹	2	1年	月4	西宮上ヶ原	30		
A		共通	プログラミング言語基礎 (Python)	1	後藤 達也	2	1年	水4	西宮上ヶ原	30		
A		共通	プログラミング言語応用 (PHP)	1	池田 瑞穂	2	2年	木3	西宮上ヶ原	30		
		共通	文科系学生のための情報技術入門	1	高田 茂樹	2	1年	月2	指定なし	—	授業形態はオンデマンドA型	
		共通	情報技術概論	1	池田 瑞穂	2	1年	木2	西宮上ヶ原	—		
春 AI 活用人材育成科目 (P.88以降の「全学科目申込・履修についての諸注意」を必ず確認すること)												
申込 方法	注意 事項	担当 窓口	科目名	クラス	担当者	単位	履修 基準 年度	曜日 時限	開講場所	受講者 数制限	特記事項	
A		共通	AI 活用入門	1	巳波 弘佳 西野 均	2	1	指定 なし	指定なし	—	授業形態はオンデマンドB型	
A		共通	AI 活用導入演習 A	1	西野 均	2	1	指定 なし	指定なし	—	履修要件あり、授業形態はオンデマンドB型	
A		共通	AI 活用導入演習 B	1	西野 均	2	1	指定 なし	指定なし	—	履修要件あり、授業形態はオンデマンドB型	
A		共通	AI 活用アプリケーションデザイン入門	1	巳波 弘佳 西野 均	2	1	指定 なし	指定なし	—	履修要件あり、授業形態はオンデマンドB型	
A	※	共通	AI 活用実践演習 A (Java による Web アプリケーションデザイン)	1	陰山 真矢	2	1	集中	西宮上ヶ原	50	履修要件あり、8月～9月予定	
A		共通	AI 活用実践演習 B (Python による機械学習・深層学習)	1	岩森 俊哉	2	1	集中	西宮上ヶ原	50	履修要件あり、8月～9月予定	
A		共通	AI 活用実践演習 C (Web デザイン)	1	陰山 真矢	2	1	集中	西宮上ヶ原	50	履修要件あり、8月～9月予定	
A		共通	AI 活用データサイエンス入門	1	巳波 弘佳 西野 均	2	1	指定 なし	指定なし	—	履修要件あり、授業形態はオンデマンドB型	
A		共通	AI 活用データサイエンス実践演習Ⅱ	1	西野 均	2	3	集中	西宮上ヶ原	50	履修要件あり、8月～9月予定	
A		共通	AI 活用発展演習Ⅰ	1	西野 均	2	2	集中	西宮上ヶ原	30	履修要件あり、8月～9月予定	
A		共通	AI 活用発展演習Ⅱ	1	西野 均	2	3	集中	西宮上ヶ原	30	履修要件あり、8月～9月予定	

春 グローバルスタディーズ科目												
申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	開講期	単位	履修基準年度	英語実施	開講場所	受講者数制限	特記事項	
B		言セン	Language and Communication	1～7	春	2	1	◎	上ヶ原・三田	12	英語要件あり	
B		言セン	Culture and Society	1～8	春	2	1	◎	上ヶ原・三田	12	英語要件あり	
B		言セン	Academic Writing and Presentation	1～3	春	2	1	◎	西宮上ヶ原	12	英語要件あり	
B		言セン	Project-based Seminar in English (Study Abroad)	1～2	春	2	1	◎	西宮上ヶ原	20	英語要件あり	
B		言セン	Project-based Seminar in English (Career English)	1～2	春	2	1	◎	西宮上ヶ原	15	英語要件あり	
B		言セン	Project-based Seminar in English (Critical Writing)	1	春	2	1	◎	西宮上ヶ原	12	英語要件あり	
B		言セン	Project-based Seminar in English (Area Studies)	1～3	春	2	1	◎	西宮上ヶ原	12	英語要件あり	
A		CIEC	English for Cross-Cultural Studies A (Level 1)		春	2	1	◎	西宮上ヶ原	15	英語能力目安あり／CIEC 募集要項参照	
A		CIEC	English for Cross-Cultural Studies A (Level 2)		春	2	1	◎	西宮上ヶ原	15	英語能力目安あり／CIEC 募集要項参照	
A		CIEC	English for Cross-Cultural Studies A (Level 3)		春	2	1	◎	西宮上ヶ原	15	英語能力目安あり／CIEC 募集要項参照	
A		CIEC	国際情報分析	1～5	春	2	1		上ヶ原・三田	24		
A		CIEC	プロジェクトマネジメントⅠ	1～2	春集中	2	1		西宮上ヶ原	24		
A		CIEC	グローバル社会の課題と持続可能な未来	1	春	2	1		西宮上ヶ原	100		
		CIEC	SDGs スタディーズ入門		春	2	1		西宮上ヶ原	—		
		CIEC	カナダ研究入門 A		春	2	1		西宮上ヶ原	—		
A		CIEC	Topics in Canadian Studies C		春	2	1	◎	西宮上ヶ原	—		
A		CIEC	Topics in Canadian Studies D		春	2	1	◎	西宮上ヶ原	—		
		CIEC	留学とキャリア設計		春	2	1		西宮上ヶ原	—		
A		CIEC	グローバルスタディーズ入門	1～4	春	2	1		上ヶ原・三田	30		
A		CIEC	多文化共修科目		春	1～3	1		西宮上ヶ原	15		
B		CIEC	総合日本学習科目		春 春集中	2～3	1	◎	西宮上ヶ原	15		
B		CIEC	CCC Introduction to Multicultural Studies	1	春	2	1	◎	西宮上ヶ原	100		
A		CIEC	日本語教育基礎	1～3	春	2	1		西宮上ヶ原	25		
A		CIEC	日本語教育基礎演習	1	春	2	1		西宮上ヶ原	20		
■		国連・外交	国連・外交入門（開発）		春	2	2	◎	西宮上ヶ原	—	MS 国連・外交プログラム履修許可者対象	
■		国連・外交	Career Seminar for International Organizations	1	春	2	3	◎	西宮上ヶ原	15	英語要件あり。MS 国連・外交プログラム履修許可者対象	
■		国連・外交	国連・外交フィールドワーク		春集中	2	1	◎	上ヶ原・東ティモール	10	選考あり。詳細は教学 Web、募集要項等参照	
■		国連・外交	国連セミナー		春集中	2 又は 4	2	◎	上ヶ原・学外	20	選考あり。詳細は教学 Web、募集要項等参照	
春 ライフデザイン科目 [2012年度以前入学生：学際・連携科目]												
申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	代表者／コーディネータ	単位	履修基準年度	曜日・時限	開講場所	受講者数制限	特記事項	
A	※	HoLC	ライフ・キャリア概論	1	阪口 悟	2	1	水 3	西宮上ヶ原	250	「社会の中での自分（インターンシップ講義）」の単位修得者は履修不可	
A	※	HoLC	ライフ・キャリア概論	2	富岡 克彦	2	1	木 2	西宮上ヶ原	250	「社会の中での自分（インターンシップ講義）」の単位修得者は履修不可	
A	※	HoLC	ライフ・キャリア概論	3	富岡 克彦	2	1	水 4	神戸三田	250	「社会の中での自分（インターンシップ講義）」の単位修得者は履修不可	
A		HoLC	ライフデザインと仕事 A 【日本企業編】	1	石田 秀朗	2	1	金 4	西宮上ヶ原	42		
A		HoLC	ライフデザインと仕事 A 【日本企業編】	2	石田 秀朗	2	1	金 5	西宮上ヶ原	42		
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	1	渡辺 一成	2	1	木 3	西宮上ヶ原	30	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可	
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	2	渡辺 一成	2	1	木 4	西宮上ヶ原	30	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可	
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	3	渡辺 一成	2	1	木 5	西宮上ヶ原	30	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可	
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	4	渡辺 一成	2	1	金 1	西宮上ヶ原	30	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可	
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	5	渡辺 一成	2	1	水 3	神戸三田	30	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可	
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	6	渡辺 一成	2	1	水 4	神戸三田	30	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可	
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	1	渡辺 一成	2	1	火 3	西宮上ヶ原	30		
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	2	渡辺 一成	2	1	火 4	西宮上ヶ原	30		
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	3	渡辺 一成	2	1	火 5	西宮上ヶ原	30		
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	4	渡辺 一成	2	1	金 2	西宮上ヶ原	30		
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	5	渡辺 一成	2	1	水 1	神戸三田	30		
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	6	渡辺 一成	2	1	水 2	神戸三田	30		
A		HoLC	ライフ・キャリア発展演習	1	佐藤 裕	2	2	火 5	西宮上ヶ原	30		
A		HoLC	ライフ・キャリア発展演習	2	佐藤 裕	2	2	火 3	神戸三田	30		
■	※	HoLC	ライフ・キャリア リーダーシップ実習		佐藤 裕	2	1	集中	未定	20	詳細は「募集要項」を参照	
■	※	HoLC	インターンシップ実習	1	奥貫 麻紀	1 もしくは 2	1	集中	各企業・団体	なし	詳細は「募集要項」を参照	
A	※	HoLC	キャリアゼミ A	1	森 隆史	2	1	木 2	西宮上ヶ原	45	土曜日にも数回授業あり	
A	※	HoLC	キャリアゼミ A	2	森 隆史	2	1	木 4	神戸三田	25	土曜日にも数回授業あり	
■	※	HoLC	キャリアゼミ B		森 隆史	2	1	集中	未定	40	詳細は「募集要項」を参照	
春 基盤・学際科目 [2012年度以前入学生：学際・連携科目]												
申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	コース名・副題	クラス	代表者／コーディネータ	単位	履修基準年度	曜日・時限	開講場所	受講者数制限	特記事項
A		共通	「関学」学	関西学院の歴史	1	大宮 有博	2	1	指定なし	指定なし	150	授業形態はオンデマンド B 型
		共通	人権教育科目002	在日朝鮮人と人権 A		高島 千代	2	1	火 4	西宮上ヶ原	—	
A		共通	人権教育科目004	ジェンダーと人権 A		倉島 哲	2	1	火 3	西宮上ヶ原	200	
A		共通	人権教育科目010	セクシュアリティと人権		澤田有希子	2	1	金 2	西宮上ヶ原	200	
		共通	人権教育科目011	部落差別と人権 A		宮下 博幸	2	1	月 4	西宮上ヶ原	—	
A		共通	人権教育科目013	差別と人権		細見 和志	2	1	木 4	神戸三田	200	
A	※	共通	災害復興学 A	被災者支援		斉藤 容子	2	1	金 2	西宮上ヶ原	100	
A	※	共通	総合コース808	リーダーシップ論入門		志南 啓	2	1	火 4	西宮上ヶ原	50	
		共通	寄附講座207	手話の世界		松岡 克尚	2	1	火 5	西宮上ヶ原	—	
		共通	連携講座004	医学入門 A		鈴木敬一郎	2	1	水 2	神戸三田	—	
A	※	共通	連携講座006	早期臨床体験実習		鈴木敬一郎	1	1	集中	兵庫医大	20	

A	※	共通	連携講座008	医療入門		鈴木敬一郎	2	1	集中	兵庫医大	10	
A	※	共通	連携講座009	東洋医学入門		戴 毅	1	2	集中	兵庫医大	10	
A	※	共通	連携講座014	臨床ゲノム医学		大村谷昌樹	1	1	集中	兵庫医大	10	
A		共通	スタディスキルセミナー (読む・書く・話す・聴く)		1	渡辺 一成	2	1	月1	西宮上ヶ原	30	
A		共通	スタディスキルセミナー (読む・書く・話す・聴く)		2	渡辺 一成	2	1	火1	西宮上ヶ原	30	
A		共通	スタディスキルセミナー (読む・書く・話す・聴く)		3	渡辺 一成	2	1	火2	西宮上ヶ原	30	
A		共通	スタディスキルセミナー (読む・書く・話す・聴く)		4	渡辺 一成	2	1	木1	西宮上ヶ原	30	
A		共通	スタディスキルセミナー (読む・書く・話す・聴く)		5	渡辺 一成	2	1	木2	西宮上ヶ原	30	
A		共通	スタディスキルセミナー (読む・書く・話す・聴く)		6	渡辺 一成	2	1	月3	神戸三田	30	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		1	西口 啓太	2	1	月2	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		2	西口 啓太	2	1	月3	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		3	西口 啓太	2	1	金2	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		4	福山 佑樹	2	1	水2	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		5	福山 佑樹	2	1	水3	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		6	福山 佑樹	2	1	水4	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		7	福山 佑樹	2	1	木2	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		8	福山 佑樹	2	1	木3	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		9	福山 佑樹	2	1	木4	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		10	三井 規裕	2	1	金3	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		11	三井 規裕	2	1	金4	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		12	野瀬由季子	2	1	火1	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		13	野瀬由季子	2	1	火2	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		14	野瀬由季子	2	1	火3	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		15	西口 啓太	2	1	木2	神戸三田	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		16	西口 啓太	2	1	木3	神戸三田	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		17	野瀬由季子	2	1	水3	神戸三田	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		18	時任 隼平	2	1	火3	西宮聖和	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (プレゼンテーション)		1	三井 規裕	2	1	金2	西宮上ヶ原	30	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (プレゼンテーション)		2	三井 規裕	2	1	金5	西宮上ヶ原	30	
■	※	HoLC	平和学特別演習「ヒロシマ」			澤村 雅史	2	1	集中	上ヶ原・広島	25	詳細は「募集要項」を参照
A	※	HoLC	ハンズオン・ブラクティス		1	向井光太郎 木本 浩一	2	1	木4	西宮上ヶ原	60	
A	※	HoLC	ハンズオン・ブラクティス		2	向井光太郎 木本 浩一	2	1	木2	神戸三田	60	
A		HoLC	社会探究入門		1	木本 浩一 向井光太郎	2	1	火2	西宮上ヶ原	45	
A		HoLC	社会探究入門		2	木本 浩一 向井光太郎	2	1	火3	西宮上ヶ原	45	
A		HoLC	社会探究入門		3	木本 浩一 向井光太郎	2	1	水2	神戸三田	45	
A		HoLC	社会探究リサーチ・ベーシックA (定量編)		1	時任 隼平	2	1	金3	西宮上ヶ原	30	
A		HoLC	社会探究リサーチ・ベーシックA (定量編)		2	時任 隼平	2	1	月3	神戸三田	30	
A	※	HoLC	社会探究実践演習Ⅰ (篠山・今田コミュニティ・ガバナンス FW)		1	木本 浩一	4	1	水3, 水4	神戸三田 丹波篠山	20	数回現地実習あり
A	※	HoLC	社会探究実践演習Ⅰ (朝来・竹田城下町活性化 PJ)		1	奥貴 麻紀	4	1	木3, 木4	上ヶ原・朝来	20	数回現地実習あり
A	※	HoLC	社会探究実践演習Ⅰ (大阪・上本町)		1	向井光太郎	4	1	月3, 月4	上ヶ原・上本町	20	数回現地実習あり
A	※	HoLC	社会探究実践演習Ⅱ (篠山・今田コミュニティ・ガバナンス FW)		1	木本 浩一	4	1	水3, 水4	神戸三田 丹波篠山	5	数回現地実習あり
A	※	HoLC	社会探究実践演習Ⅱ (朝来・竹田城下町活性化 PJ)		1	奥貴 麻紀	4	1	木3, 木4	上ヶ原・朝来	5	数回現地実習あり
■	※	HoLC	社会探究実習Ⅰ (瀬戸内海・豊島環境 FW)		1	木本 浩一	2	1	集中	香川県豊島	15	詳細は「募集要項」を参照
■	※	HoLC	社会探究実習Ⅱ (瀬戸内海・豊島環境 FW)		1	木本 浩一	2	1	集中	香川県豊島	5	詳細は「募集要項」を参照
■	※	HoLC	ハンズオン・インターンシップⅠ		1	向井光太郎 木本 浩一	6	1	集中	全国各地	各受入先 2	8月上旬から9月中旬の約1ヶ月間受入企業・ 団体でインターン
■	※	HoLC	ハンズオン・インターンシップⅡ		1	向井光太郎 木本 浩一	6	1	集中	全国各地	各受入先 1	8月上旬から9月中旬の約1ヶ月間受入企業・ 団体でインターン
■	※	HoLC	PBL 特別演習002【JETRO×産研連携講座】			シュラーデ アンナ 広瀬 憲三 小林 伸生	2	1	集中	西宮上ヶ原	30	詳細は「募集要項」を参照
A	※	HoLC	PBL 特別演習007【阪急阪神 HD (株)と挑む社会課題】			奥貴 麻紀	4	1	水4, 水5	西宮上ヶ原	20	学期期間中に数回企業訪問あり
■	※	HoLC	PBL 特別演習008【福島で学ぶ復興と原発問題】			村尾 信尚 時任 隼平	2	1	集中	上ヶ原・福島	25	詳細は「募集要項」を参照
A	※	HoLC	PBL 特別演習009【三木市・旧市街地 FW】		1	奥貴 麻紀	2	1	火2	上ヶ原・三木	15	数回現地実習あり

春学期集中科目は、2021年度春学期卒業見込者は履修できません。
ただし、CCC プログラム (Certificate Program、MS 特別プログラム「クロス・カルチュラル・スタディーズ」) 登録者及び実践型「世界市民」育成プログラム・グローバルリーダーコース登録者で CIEC 開講の集中科目の履修を希望する場合は、CIEC 事務室まで個別相談に来てください。

秋学期開講科目

秋	言語教育科目										
申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	開講期	単位	履修基準年度	英語実施	開講場所	受講者数制限	特記事項
■		言セン	入門英語Ⅰ A	11～20	秋	1	1	○	上ヶ原・三田	25	クラス指定あり
■		言セン	入門英語Ⅰ B	11～20	秋	1	1	○	上ヶ原・三田	25	クラス指定あり
■		言セン	入門英語Ⅱ A	11～20	秋	1	2	○	上ヶ原・三田	25	クラス指定あり
■		言セン	入門英語Ⅱ B	11～20	秋	1	2	○	上ヶ原・三田	25	クラス指定あり
■		言セン	インテンシブ・イングリッシュ	1～30	秋	3	1	○	西宮上ヶ原	25	選考あり
A		言セン	Skills-based English (Basic)	8～14	秋	1	1	○	上ヶ原・三田	25	
A		言セン	Skills-based English (Speaking & Listening)	3～4	秋	2	1	○	西宮上ヶ原	25	
B		言セン	Skills-based English (Speaking & Listening) L1	2～3	秋	2	1	○	西宮上ヶ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Speaking & Listening) L2	2～3	秋	2	1	○	西宮上ヶ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Speaking & Listening) L3	2～4	秋	2	1	○	上ヶ原・三田	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Writing) L1	2	秋	1	1	○	西宮上ヶ原	20	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Writing) L3	2	秋	1	1	○	西宮上ヶ原	20	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Reading) L1	2	秋	1	1	○	西宮上ヶ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Reading) L3	2	秋	1	1	○	西宮上ヶ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Academic) L3	3	秋	2	1	○	西宮上ヶ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Academic) L4	2	秋	2	1	○	西宮上ヶ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Business A) L2	3	秋	1	1	○	西宮上ヶ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Business B) L2	2～3	秋	1	1	○	上ヶ原・三田	25	英語要件あり
A		言セン	Skills-based English (TOEFL)	3～6	秋	1	1	○	上ヶ原・三田	25	
B		言セン	Skills-based English (TOEFL) L2	3～4	秋	1	1	○	西宮上ヶ原	25	英語要件あり
A		言セン	Skills-based English (TOEIC)	5～8	秋	1	1	○	上ヶ原・三田	25	
B		言セン	Skills-based English (TOEIC) L2	2～3	秋	1	1	○	西宮上ヶ原	25	英語要件あり
A		言セン	Skills-based English (TOEIC) L2	4～5	秋	1	1	○	西宮上ヶ原	25	
■		言セン	フランス語インテンシブ初級Ⅰ	1～3	秋	3	1		西宮上ヶ原	約20	選考あり
■		言セン	フランス語インテンシブ初級Ⅲ	2～3	秋	2	2		西宮上ヶ原	約20	履修要件あり
■		言セン	フランス語インテンシブ中級	2	秋	2	3		西宮上ヶ原	約20	履修要件あり
■		言セン	ドイツ語インテンシブ初級Ⅰ	1～2	秋	3	1		西宮上ヶ原	約20	選考あり
■		言セン	ドイツ語インテンシブ初級Ⅲ	2	秋	2	2		西宮上ヶ原	約20	履修要件あり
■		言セン	ドイツ語インテンシブ中級	2	秋	2	3		西宮上ヶ原	約20	履修要件あり
		言セン	基礎フランス語Ⅱ	1	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セン	基礎フランス語Ⅳ	1	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セン	フランス語アラカルト（読む）	2	秋	1	2		西宮上ヶ原	—	
		言セン	フランス語アラカルト（書く）	2	秋	1	2		西宮上ヶ原	—	
A		言セン	フランス語アラカルト（聞く・話す）A	3	秋	1	1		西宮上ヶ原	30	
		言セン	フランス語アラカルト（聞く・話す）B	2	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	
		言セン	フランス語アラカルト（聞く・話す）C	2	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	
		言セン	基礎ドイツ語Ⅱ	1	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セン	基礎ドイツ語Ⅳ	1	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セン	ドイツ語アラカルト（読む）	2	秋	1	2		西宮上ヶ原	—	
		言セン	ドイツ語アラカルト（書く）	2	秋	1	2		西宮上ヶ原	—	
		言セン	ドイツ語アラカルト（聞く・話す）A	2	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	
		言セン	ドイツ語アラカルト（聞く・話す）B	2	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	
		言セン	ロシア語初級Ⅱ	1	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セン	ロシア語初中級	2	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セン	イタリア語初級Ⅰ	5～6	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	
		言セン	イタリア語初級Ⅱ	2～4	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セン	イタリア語初中級	2	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セン	スペイン語初級Ⅱ	1	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セン	スペイン語中級	2～3	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セン	ポルトガル語初級Ⅱ	1	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セン	ポルトガル語初中級	2	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セン	アラビア語初級Ⅰ	2	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	
		言セン	アラビア語初級Ⅱ	2	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セン	アラビア語初中級	1	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セン	基礎中国語Ⅱ	1～2	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セン	基礎中国語Ⅳ	1	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セン	中国語中級	3～4	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セン	朝鮮語初級Ⅱ	1～3	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セン	朝鮮語中級	1～2	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セン	インドネシア語初級Ⅱ	1～2	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セン	インドネシア語初中級	2	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セン	日本手話初級Ⅱ	1	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
A		CIEC	ビジネス日本語 A	2～3	秋	1	3		上ヶ原・三田	15	留学生対象/「日本語科目履修案内」参照
A		CIEC	ビジネス日本語 C	2～3	秋	1	3		上ヶ原・三田	15	留学生対象/「日本語科目履修案内」参照

秋 スポーツ科学・健康科学科目（P.88以降の「全学科目申込・履修についての諸注意」を必ず確認すること）

申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	コース名・副題	クラス	代表者／ コーディネータ	単位	履修基準年度	曜日 時限	開講場所	受講者数制限	特記事項
A		※	スポ	スポーツ科学講義A	スポーツパフォーマンス	2	浦田 達也	2	1	火2	西宮上ヶ原	200
A		※	スポ	健康科学講義A	心と健康	2	永石 高敏	2	1	月5	西宮上ヶ原	200
A		※	スポ	体育方法学講義C	体育講義	3	溝畑 潤	2	1	木1	西宮上ヶ原	200
A		※	スポ	体育方法学講義C	体育講義 KSC	4	山下 伸一	2	1	水3	神戸三田	200
A		※	スポ	スポーツ科学演習A	卓球	4	高島 規郎	2	1	木1	西宮上ヶ原	30
A		※	スポ	スポーツ科学演習A	卓球	5	高島 規郎	2	1	木2	西宮上ヶ原	30
A		※	スポ	スポーツ科学演習A	卓球	6	高島 規郎	2	1	木3	西宮上ヶ原	30
A		※	スポ	スポーツ科学演習A	テニス	12	廣田 音奏	2	1	水2	西宮上ヶ原	30
A		※	スポ	スポーツ科学演習A	バドミントン	23	仲田 秀臣	2	1	木2	西宮上ヶ原	30
A		※	スポ	スポーツ科学演習A	バドミントン	24	仲田 秀臣	2	1	木3	西宮上ヶ原	30
A		※	スポ	スポーツ科学演習A	バドミントン	25	山本 浩二	2	1	金2	西宮上ヶ原	30
A		※	スポ	スポーツ科学演習C	サッカー	3	森 祐貴	2	1	月2	西宮上ヶ原	30
A		※	スポ	スポーツ科学演習C	ソフトボール	12	浦田 達也	2	1	火3	西宮上ヶ原	30
A		※	スポ	スポーツ科学演習D	バスケットボール	3	廣田 音奏	2	1	水3	西宮上ヶ原	30
A		※	スポ	スポーツ科学演習D	バレーボール	12	森 祐貴	2	1	月1	西宮上ヶ原	30

A	※	スポ	スポーツ科学演習D	バレーボール	13	高見 和至	2	1	金2	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習E	格技	2	山本 浩二	2	1	金3	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習F	水泳・水球	3	川上 光宣	2	1	火1	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習F	水泳・水球	4	川上 光宣	2	1	火3	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	健康科学演習A	フィットネス	2	廣田 音楽	2	1	水1	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	健康科学演習C	ニュースポーツ	2	林 直也	2	1	水2	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技	12	森 祐貴	2	1	月3	西宮上ヶ原	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技	13	林 直也	2	1	水1	西宮上ヶ原	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技	14	山根 誠	2	1	水3	西宮上ヶ原	35	
A	※	スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	15	木谷 織信	2	1	火1	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	16	木谷 織信	2	1	火2	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	17	木谷 織信	2	1	火3	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	18	山下 伸一	2	1	水1	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	19	山下 伸一	2	1	水2	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	20	溝畑 潤	2	1	金1	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	21	溝畑 潤	2	1	金2	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	22	溝畑 潤	2	1	金3	神戸三田	35	
A		スポ	余暇生活学演習D	冬期アウトドア (スキー・スノーボード)	1～4	佐藤 博信	2	1	集中	西宮上ヶ原・ 学外	32 (各8)	9月～1月に3回事前授業あり 2月実施
秋 情報科学科目 (P.88以降の「全学科目申込・履修についての諸注意」を必ず確認すること)												
申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	代表者／ コーディネータ	単位	履修 基準 年度	曜日 時限	開講場所	受講者 数制限	特記事項	
A		共通	コンピュータ基礎	15	岩田 一男	2	1年	水1	西宮上ヶ原	78		
A		共通	コンピュータ基礎	16	岩田 一男	2	1年	水2	西宮上ヶ原	78		
A		共通	コンピュータ基礎	17	岩田 一男	2	1年	水3	西宮上ヶ原	78		
A		共通	コンピュータ基礎	18	古隅 弘樹	2	1年	金1	西宮上ヶ原	78		
A		共通	コンピュータ基礎	19	西本 実苗	2	1年	火3	西宮上ヶ原	78		
A		共通	コンピュータ基礎	20	西本 実苗	2	1年	火4	西宮上ヶ原	78		
A		共通	コンピュータ基礎	21	西本 実苗	2	1年	火5	西宮上ヶ原	78		
A		共通	コンピュータ基礎	22	玉本 拓郎	2	1年	水4	西宮上ヶ原	78		
A		共通	コンピュータ基礎	23	橋本 幸枝	2	1年	金4	西宮上ヶ原	78		
A		共通	コンピュータ基礎	24	後藤 達也	2	1年	水5	西宮上ヶ原	78		
A		共通	コンピュータ基礎	25	谷村 要	2	1年	金5	西宮上ヶ原	78		
A		共通	コンピュータ基礎	26	近藤 晶子	2	1年	火2	西宮上ヶ原	78		
A		共通	コンピュータ基礎	27	近藤 晶子	2	1年	火4	西宮上ヶ原	78		
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	13	玉本 拓郎	2	1年	水5	西宮上ヶ原	30		
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	14	谷村 要	2	1年	金3	西宮上ヶ原	30		
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	15	森際 孝司	2	1年	月3	西宮上ヶ原	30		
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	16	森際 孝司	2	1年	月5	西宮上ヶ原	30		
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	17	周防 節雄	2	1年	木4	西宮上ヶ原	30		
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	18	島野 達雄	2	1年	月2	西宮上ヶ原	30		
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	19	島野 達雄	2	1年	月4	西宮上ヶ原	30		
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	20	島野 達雄	2	1年	水3	西宮上ヶ原	30		
A	※	共通	コンピュータ実践 (表計算)	21	内田啓太郎	2	1年	木5	西宮上ヶ原	30		
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	22	箱井 英寿	2	1年	金1	西宮上ヶ原	30		
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	23	高田 茂樹	2	1年	木2	西宮上ヶ原	30		
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	24	高田 茂樹	2	1年	木3	西宮上ヶ原	30		
A		共通	コンピュータ実践 (データ分析)	4	後藤 達也	2	1年	水4	西宮上ヶ原	30		
A		共通	コンピュータ実践 (データ分析)	5	周防 節雄	2	1年	木3	西宮上ヶ原	30		
A		共通	コンピュータ実践 (データ分析)	6	箱井 英寿	2	1年	金2	西宮上ヶ原	30		
A		共通	プログラミング言語基礎 (ActionScript)	5	鍵本 聡	2	1年	水4	西宮上ヶ原	30		
A		共通	プログラミング言語基礎 (ActionScript)	6	鍵本 聡	2	1年	水5	西宮上ヶ原	30		
A		共通	プログラミング言語基礎 (ActionScript)	7	森 巧尚	2	1年	火3	西宮上ヶ原	30		
A		共通	プログラミング言語基礎 (C)		古隅 弘樹	2	1年	金2	西宮上ヶ原	30		
A		共通	プログラミング言語基礎 (Java)	2	岩田 一男	2	1年	火1	西宮上ヶ原	30		
A		共通	プログラミング言語基礎 (JavaScript)	3	西本 実苗	2	1年	月5	西宮上ヶ原	30		
A		共通	プログラミング言語基礎 (JavaScript)	4	西本 実苗	2	1年	火2	西宮上ヶ原	30		
A		共通	プログラミング言語基礎 (Processing)	4	鍵本 聡	2	1年	水2	西宮上ヶ原	30		
A		共通	プログラミング言語基礎 (Processing)	5	高田 茂樹	2	1年	月2	西宮上ヶ原	30		
A		共通	プログラミング言語基礎 (Processing)	6	高田 茂樹	2	1年	月3	西宮上ヶ原	30		
A		共通	プログラミング言語基礎 (Python)	2	池田 瑞穂	2	1年	木4	西宮上ヶ原	30		
A		共通	プログラミング言語基礎 (Python)	3	森 巧尚	2	1年	火4	西宮上ヶ原	30		
A		共通	プログラミング言語応用 (PHP)	2	池田 瑞穂	2	2年	木3	西宮上ヶ原	30		
A		共通	文科系学生のための情報技術入門	2	高田 茂樹	2	1年	火5	指定なし	—	授業形態はオンデマンドA型	
		共通	情報技術概論	2	池田 瑞穂	2	1年	木2	西宮上ヶ原	—		
秋 AI 活用人材育成科目 (P.88以降の「全学科目申込・履修についての諸注意」を必ず確認すること)												
申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	担当者	単位	履修 基準 年度	曜日 時限	開講場所	受講者 数制限	特記事項	
A		共通	AI 活用入門	2	巳波 弘佳 西野 均	2	1	指定なし	指定なし	—	授業形態はオンデマンドB型	
A		共通	AI 活用導入演習A	2	西野 均	2	1	指定なし	指定なし	—	履修要件あり、授業形態はオンデマンドB型	
A		共通	AI 活用導入演習B	2	西野 均	2	1	指定なし	指定なし	—	履修要件あり、授業形態はオンデマンドB型	
A		共通	AI 活用アプリケーションデザイン入門	2	巳波 弘佳 西野 均	2	1	指定なし	指定なし	—	履修要件あり、授業形態はオンデマンドB型	
A		共通	AI 活用アプリケーションデザイン実践演習	1	西野 均	2	2	木2	西宮上ヶ原	50	履修要件あり	
A		共通	AI 活用アプリケーションデザイン実践演習	2	西野 均	2	2	水4	神戸三田	50	履修要件あり	
A	※	共通	AI 活用実践演習A (JavaによるWebアプリケーションデザイン)	2	陰山 真矢	2	1	集中	西宮上ヶ原	50	履修要件あり、2月～3月予定	
A		共通	AI 活用実践演習B (Pythonによる機械学習・深層学習)	2	岩森 俊哉	2	1	集中	西宮上ヶ原	50	履修要件あり、2月～3月予定	
A		共通	AI 活用実践演習C (Webデザイン)	2	陰山 真矢	2	1	集中	西宮上ヶ原	50	履修要件あり、2月～3月予定	
A		共通	AI 活用データサイエンス入門	2	巳波 弘佳 西野 均	2	1	指定なし	指定なし	—	履修要件あり、授業形態はオンデマンドB型	
A		共通	AI 活用データサイエンス実践演習Ⅱ	2	西野 均	2	3	集中	西宮上ヶ原	50	履修要件あり、2月～3月予定	
A		共通	AI 活用データサイエンス実践演習	1	西野 均	2	2	木3	西宮上ヶ原	50	履修要件あり	
A		共通	AI 活用データサイエンス実践演習	2	西野 均	2	2	水5	神戸三田	50	履修要件あり	

A	※	共通	AI活用発展演習Ⅰ	2	西野 均	2	2	集中	西宮上ヶ原	30	履修要件あり、2月～3月予定
A		共通	AI活用発展演習Ⅱ	2	西野 均	2	3	集中	西宮上ヶ原	30	履修要件あり、2月～3月予定
秋 グローバルスタディーズ科目											
申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	開講期	単位	履修基準年度	英語実施	開講場所	受講者数制限	特記事項
B		言セン	Language and Communication	8～16	秋	2	1	◎	上ヶ原・三田	12	英語要件あり
B		言セン	Culture and Society	9～18	秋	2	1	◎	上ヶ原・三田	12	英語要件あり
B		言セン	Academic Writing and Presentation	4～6	秋	2	1	◎	西宮上ヶ原	12	英語要件あり
B		言セン	Project-based Seminar in English (Study Abroad)	3～5	秋	2	1	◎	西宮上ヶ原	20	英語要件あり
B		言セン	Project-based Seminar in English (Career English)	3～4	秋	2	1	◎	西宮上ヶ原	15	英語要件あり
B		言セン	Project-based Seminar in English (Critical Writing)	2	秋	2	1	◎	西宮上ヶ原	12	英語要件あり
B		言セン	Project-based Seminar in English (Area Studies)	4～6	秋	2	1	◎	西宮上ヶ原	12	英語要件あり
A		CIEC	English for Cross-Cultural Studies B (Level 1)		秋	2	1	◎	西宮上ヶ原	15	
A		CIEC	English for Cross-Cultural Studies B (Level 2)		秋	2	1	◎	西宮上ヶ原	15	
A		CIEC	English for Cross-Cultural Studies B (Level 3)		秋	2	1	◎	西宮上ヶ原	15	
A		CIEC	国際情報分析	6～10	秋	2	1		上ヶ原・三田	24	
		CIEC	国際平和構築論		秋	2	1		西宮上ヶ原	—	
		CIEC	教育開発論		秋集中	2	1		西宮上ヶ原	—	
A		CIEC	プロジェクトマネジメントⅠ	3～4	秋集中	2	1		西宮上ヶ原	24	
A		CIEC	グローバル社会の課題と持続可能な未来	2	秋	2	1		西宮上ヶ原	100	
A		CIEC	グローバルスタディーズ入門	5～8	秋	2	1		上ヶ原・三田	30	
		CIEC	日本文化総論		秋	2	1		西宮上ヶ原	—	留学生対象
		CIEC	日本政治総論		秋	2	1		西宮上ヶ原	—	留学生対象
		CIEC	カナダ研究入門B		秋	2	1		西宮上ヶ原	—	
A		CIEC	Topics in Canadian Studies A		秋	2	1	◎	西宮上ヶ原	—	
A		CIEC	Topics in Canadian Studies B		秋	2	1	◎	西宮上ヶ原	—	
A		CIEC	多文化共修科目		秋	1～3	1		西宮上ヶ原	15	
B		CIEC	総合日本学習科目		秋集中	2	1	◎	西宮上ヶ原	15	
B		CIEC	CCC Introduction to Multicultural Studies	2～3	秋集中	2	1	◎	西宮上ヶ原	100	
B		CIEC	CCC Introduction to International Relations		秋集中	2	1	◎	西宮上ヶ原	100	
A		CIEC	日本語教育基礎	4～6	秋	2	1		上ヶ原・三田	25	
A		CIEC	日本語教育基礎演習	2	秋	2	1		西宮上ヶ原	20	
■		国連・外交	国連・外交入門（平和・人権・人道）		秋	2	2	◎	西宮上ヶ原	—	MS国連・外交プログラム履修許可者対象
■		国連・外交	国際教養としての時事問題		秋集中	1	1		西宮上ヶ原	50	1年生のみ履修可。選考あり。詳細は教学Web(※)、募集要項等参照
■		国連・外交	Career Seminar for International Organizations	2	秋	2	3	◎	西宮上ヶ原	15	MS国連・外交プログラム履修許可者対象

※教学Webは2021年夏に新しいポータルサイトに移行します。

秋 ライフデザイン科目 [2012年度以前入学生：学際・連携科目]											
申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	代表者／コーディネータ	単位	履修基準年度	曜日・時限	開講場所	受講者数制限	特記事項
A	※	HoLC	ライフ・キャリア概論	4	阪口 悟	2	1	水2	西宮上ヶ原	250	「社会の中での自分（インターンシップ講義）」の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア概論	5	阪口 悟	2	1	水3	西宮上ヶ原	250	「社会の中での自分（インターンシップ講義）」の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア概論	6	富岡 克彦	2	1	木2	西宮上ヶ原	250	「社会の中での自分（インターンシップ講義）」の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア概論	7	富岡 克彦	2	1	水4	神戸三田	250	「社会の中での自分（インターンシップ講義）」の単位修得者は履修不可
A		HoLC	ライフデザインと仕事A【日本企業編】	3	石田 秀朗	2	1	金4	西宮上ヶ原	42	
A		HoLC	ライフデザインと仕事A【日本企業編】	4	石田 秀朗	2	1	金5	西宮上ヶ原	42	
A		HoLC	ライフデザインと仕事B【外資系企業編】	1	森 隆史	2	1	木3	西宮上ヶ原	120	
A		HoLC	ライフデザインと仕事B【外資系企業編】	2	森 隆史	2	1	木4	西宮上ヶ原	120	
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	7	未定	2	1	木3	西宮上ヶ原	30	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	8	未定	2	1	木4	西宮上ヶ原	30	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	9	渡辺 一成	2	1	木5	西宮上ヶ原	30	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	10	渡辺 一成	2	1	金1	西宮上ヶ原	30	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	11	渡辺 一成	2	1	水3	神戸三田	30	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	12	渡辺 一成	2	1	水4	神戸三田	30	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	7	未定	2	1	火3	西宮上ヶ原	30	
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	8	未定	2	1	火4	西宮上ヶ原	30	
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	9	渡辺 一成	2	1	火5	西宮上ヶ原	30	
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	10	渡辺 一成	2	1	金2	西宮上ヶ原	30	
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	11	渡辺 一成	2	1	水1	神戸三田	30	
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	12	渡辺 一成	2	1	水2	神戸三田	30	
A		HoLC	ライフ・キャリア発展演習	3	佐藤 裕	2	2	火5	西宮上ヶ原	30	
A		HoLC	ライフ・キャリア発展演習	4	佐藤 裕	2	2	火3	神戸三田	30	
■	※	HoLC	インターンシップ実習	2	奥貫 麻紀	1もしくは2	1	集中	各企業・団体	なし	詳細は「募集要項」を参照
■	※	HoLC	キャリアゼミC		森 隆史	2	1	集中	未定	40	詳細は「募集要項」を参照
■	※	HoLC	霞が関セミナー		向井光太郎 神余 隆博 村尾 信尚 原田賢一郎	2	1	集中	上ヶ原・東京	60	詳細は「募集要項」を参照

秋 基盤・学際科目 [2012年度以前入学生：学際・連携科目]												
申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	コース名・副題	クラス	代表者・コーディネータ	単位	履修基準年度	曜日・時間	開講場所	受講者数制限	特記事項
A		共通	「関学」学	関西学院の歴史	2	大宮 有博	2	1	指定なし	指定なし	150	授業形態はオンデマンドB型
		共通	人権教育科目003	在日朝鮮人と人権B		李 恩子	2	1	火4	西宮上ヶ原	—	
A		共通	人権教育科目005	ジェンダーと人権B		倉島 哲	2	1	火3	西宮上ヶ原	200	
A		共通	人権教育科目009	多文化社会と人権		高井由起子	2	1	月2	西宮上ヶ原	200	
		共通	人権教育科目012	部落差別と人権B		宮下 博幸	2	1	月4	西宮上ヶ原	—	
A	※	共通	人権教育科目017	障害と人権		小谷 正登	2	1	木3	西宮上ヶ原	200	授業形態はオンデマンドA型
		共通	人権教育科目018	人権と共生		白川 俊介	2	1	木3	神戸三田	—	
A	※	共通	災害復興学B	人の復興・まちの復興		斉藤 容子	2	1	金2	西宮上ヶ原	100	
		共通	総合コース215	インターネットとヘイトスピーチ		河村 克俊	2	1	火5	西宮上ヶ原	—	
		共通	連携講座002	たからづか学		加藤 哲弘	2	1	木2	西宮上ヶ原	—	
		共通	連携講座005	医学入門B		石戸 聡	2	1	木4	西宮上ヶ原	—	
A		共通	スタディスキルセミナー (読む・書く・話す・聴く)		7	渡辺 一成	2	1	月1	西宮上ヶ原	30	
A		共通	スタディスキルセミナー (読む・書く・話す・聴く)		8	渡辺 一成	2	1	火1	西宮上ヶ原	30	
A		共通	スタディスキルセミナー (読む・書く・話す・聴く)		9	渡辺 一成	2	1	火2	西宮上ヶ原	30	
A		共通	スタディスキルセミナー (読む・書く・話す・聴く)		10	渡辺 一成	2	1	木1	西宮上ヶ原	30	
A		共通	スタディスキルセミナー (読む・書く・話す・聴く)		11	渡辺 一成	2	1	木2	西宮上ヶ原	30	
A		共通	スタディスキルセミナー (読む・書く・話す・聴く)		12	渡辺 一成	2	1	月3	神戸三田	30	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		19	西口 啓太	2	1	月2	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		20	西口 啓太	2	1	月3	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		21	西口 啓太	2	1	木2	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		22	西口 啓太	2	1	木3	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		23	西口 啓太	2	1	木4	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		24	福山 佑樹	2	1	火3	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		25	福山 佑樹	2	1	水2	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		26	福山 佑樹	2	1	水3	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		27	福山 佑樹	2	1	水4	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		28	三井 規裕	2	1	金3	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		29	三井 規裕	2	1	金4	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		30	野瀬由季子	2	1	火1	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		31	野瀬由季子	2	1	火2	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		32	野瀬由季子	2	1	金2	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		33	福山 佑樹	2	1	木4	神戸三田	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		34	福山 佑樹	2	1	木3	神戸三田	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		35	野瀬由季子	2	1	水3	神戸三田	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		36	時任 隼平	2	1	水4	西宮聖和	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (プレゼンテーション)		3	三井 規裕	2	1	金2	西宮上ヶ原	30	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (プレゼンテーション)		4	三井 規裕	2	1	金5	西宮上ヶ原	30	
A	※	HoLC	ハンズオン・ブラクティス		3	向井光太郎 木本 浩一	2	1	木4	西宮上ヶ原	60	
A	※	HoLC	ハンズオン・ブラクティス		4	向井光太郎 木本 浩一	2	1	木2	神戸三田	60	
A		HoLC	社会探究入門		4	木本 浩一 向井光太郎	2	1	火2	西宮上ヶ原	45	
A		HoLC	社会探究入門		5	木本 浩一 向井光太郎	2	1	火3	西宮上ヶ原	45	
A		HoLC	社会探究入門		6	木本 浩一 向井光太郎	2	1	水2	神戸三田	45	
A		HoLC	社会探究リサーチ・ベーシックB (定性編)		1	時任 隼平	2	1	火2	西宮上ヶ原	30	
A		HoLC	社会探究リサーチ・ベーシックB (定性編)		2	時任 隼平	2	1	月3	神戸三田	30	
A	※	HoLC	社会探究実践演習Ⅰ (篠山・今田コミュニティ・ガバナンスFW)		2	木本 浩一	4	1	水3, 水4	神戸三田 丹波篠山	20	数回現地実習あり
A	※	HoLC	社会探究実践演習Ⅰ (朝来・竹田城下町活性化PJ)		2	奥貫 麻紀	4	1	木3, 木4	上ヶ原・朝来	20	数回現地実習あり
A	※	HoLC	社会探究実践演習Ⅰ (大阪・上本町)		2	向井光太郎	4	1	月3, 月4	上ヶ原・上本町	20	数回現地実習あり
A	※	HoLC	社会探究実践演習Ⅱ (篠山・今田コミュニティ・ガバナンスFW)		2	木本 浩一	4	1	水3, 水4	神戸三田 丹波篠山	5	数回現地実習あり
A	※	HoLC	社会探究実践演習Ⅱ (朝来・竹田城下町活性化PJ)		2	奥貫 麻紀	4	1	木3, 木4	上ヶ原・朝来	5	数回現地実習あり
A	※	HoLC	社会探究実践演習Ⅱ (大阪・上本町)			向井光太郎	4	1	月3, 月4	上ヶ原・上本町	5	数回現地実習あり
■	※	HoLC	社会探究実習Ⅰ (瀬戸内海・豊島環境FW)		2	木本 浩一	2	1	集中	香川県豊島	15	詳細は「募集要項」を参照
■	※	HoLC	社会探究実習Ⅰ (広島・江田島平和FW)			木本 浩一	2	1	集中	広島県江田島	15	詳細は「募集要項」を参照
■	※	HoLC	社会探究実習Ⅱ (瀬戸内海・豊島環境FW)		2	木本 浩一	2	1	集中	香川県豊島	5	詳細は「募集要項」を参照
■	※	HoLC	社会探究実習Ⅱ (広島・江田島平和FW)			木本 浩一	2	1	集中	広島県江田島	5	詳細は「募集要項」を参照
■	※	HoLC	ハンズオン・インターンシップⅠ		2	向井光太郎 木本 浩一	6	1	集中	全国各地	各受入先2	2月上旬から3月中旬の約1ヶ月間受入企業・団体でインターン
■	※	HoLC	ハンズオン・インターンシップⅡ		2	向井光太郎 木本 浩一	6	1	集中	全国各地	各受入先1	2月上旬から3月中旬の約1ヶ月間受入企業・団体でインターン
■	※	HoLC	ハンズオン・アドバンストⅠ			木本 浩一 向井光太郎	2	2	集中	全国各地	15	詳細は「募集要項」を参照
A		HoLC	PBL 特別演習005【アントレプレナー養成講座】		1	西元 涼	2	1	月5	西宮上ヶ原	25	
A		HoLC	PBL 特別演習005【アントレプレナー養成講座】		2	西元 涼	2	1	月3	神戸三田	25	
A	※	HoLC	PBL 特別演習009【三木市・旧市街地FW】		2	奥貫 麻紀	2	1	火2	上ヶ原・三木	15	数回現地実習あり

秋学期集中科目は、2021年度秋学期卒業見込者は履修できません。(ただし、ハンズオン・ラーニングセンター開講「ハンズオン・アドバンスト」を除く)
ただし、CCC プログラム (Certificate Program, MS 特別プログラム「クロス・カルチュラル・スタディーズ」) 登録者及び実践型「世界市民」育成プログラム・グローバルリーダーコース登録者で CIEC 開講の集中科目の履修を希望する場合は、CIEC 事務室まで個別相談に来てください。

2021年度 全学科目申込・履修についての諸注意

《スポーツ科学・健康科学科目》

スポーツ科学・健康科学科目は、**全科目申込手続き**が必要です。

履修を希望する方は下記および教学 Web サービス「お知らせ」(※) を参照してください。

■優先申込について

事前申込より前に、下記対象者は優先申込をすることができます。

※履修希望者が優先申込定員を上回った場合は、抽選となります。

対 象 者	教育職員免許状取得のために履修する必要のある3年生以上の未履修者
対象科目	「体育方法学講義C」・「体育方法学演習C」
申込方法	教学 Web サービス (URL : https://webinfo.kwansei.ac.jp/) (※) ※講義・演習科目ともに第2希望まで申し込むことができます。
発 表	教学 Web サービス (※)

(※) 教学 Web サービスは2021年夏に新しいポータルサイトに移行します。

◆春 学 期：申込期間 2021年3月23日(火) 9:00～3月24日(水) 16:50締切

発 表 2021年3月26日(金) 9:00～

◆秋 学 期：申込期間 2021年9月6日(月) 9:00～9月7日(火) 16:00締切

発 表 2021年9月9日(木) 9:00～

I. 申込にあたっての注意事項

1. 1学期(春学期又は秋学期)に履修できる科目は講義1科目、演習1科目の2科目4単位までです。
2. 同一名称科目は、異なるクラス・種目であっても重複して履修することはできません。
例) 【スポーツ科学演習A1：卓球】を履修済みの場合は【スポーツ科学演習A21：バドミントン】を履修できません(同じ「スポーツ科学演習A」であるため)。
3. 講義科目は開講科目数まで、演習科目は第5希望まで申し込むことができます。
(ただし、教職希望者の優先申込については、この限りではありません。※「優先申込について」参照のこと)
4. 科目には、西宮上ヶ原キャンパス開講と神戸三田キャンパス開講のものがああります。確認の上、履修可能な科目を申し込むようにしてください。

※キャンパスを間違えて申込みをした場合でも、申込期間を過ぎると取消は出来ません。

スポーツ科学・健康科学科目は、全科目が申込科目のため

履修の中止を申請することはできません。

学部の必修科目等と重複しないように注意してください。

Ⅱ. 履修にあたっての諸注意

1. 卒業要件との関係

全学部自由選択（時間が許す範囲で履修することができます）

2. 教職課程を履修する場合

スポーツ科学・健康科学科目は、教育職員免許状を取得する学生（教育学部生を除く）にとって種類・教科に関係なく、必修の科目です。「体育方法学講義C」と「体育方法学演習C」を履修することが望ましいですが、その他の科目（「健康科学」、「余暇生活学」を除く）の講義科目および演習科目からそれぞれ1科目2単位の合計2科目4単位を選択し履修しても構いません。

※理工学部生、理学部生、工学部生、生命環境学部生、総合政策学部生、建築学部生、人間福祉学部生および国際学部生は必ず「体育方法学講義C」と「体育方法学演習C」を履修してください。

※優先申込制度があります（教育学部を除く）。

※履修に際しては、教職教育研究センターの『教職課程等履修要項』を参照してください。

3. 養護コース

身体活動を制限および禁止されている学生のために、「体育方法学演習C」の中に「養護コース」を設けています。授業内容は健康・体力状態等により決定します。養護コースを希望する学生は、教務機構事務部まで申し出てください。

申込期間：春学期 2021年4月2日(金) 16:50まで

秋学期 2021年9月2日(木) 16:00まで

4. 集中講義

春学期開講の「余暇生活学演習C（夏期アウトドア：キャンプ）」および、秋学期開講の「余暇生活学演習D（冬期アウトドア：スキー・スノーボード）」は集中講義として開講されます。集中講義は、受講にあたり別途実習参加費等の負担が発生します。また、実習の前に行われる全ての事前授業に出席しなければ実習への参加が最終的に認められません。必ず事前授業を含めた全授業日程に参加できることを確認した上で申し込みをしてください。集中講義実施の詳細内容については「教学 Web サービス」（※2021年夏に新しいポータルサイトに移行予定）のシラバスを参照してください。

なお、集中講義は当該科目が開講される学期末に卒業見込みの方は履修申込ができません。

5. 演習科目の履修についての諸注意

1) 第1回目の授業

演習科目の第1回目の授業はオリエンテーションを行います。更衣はせずに下記の場所に集合してください。また、集合場所が変更になる場合は、教学 Web サービスの「お知らせ」（※2021年夏に新しいポータルサイトに移行予定）にてお知らせします。

学期	科 目 名	集 合 場 所
春	西宮上ヶ原キャンパス開講 全演習科目	総合体育館 2 F
	神戸三田キャンパス開講 全演習科目	未定※
秋	西宮上ヶ原キャンパス開講 全演習科目	総合体育館 2 F
	神戸三田キャンパス開講 全演習科目	未定※

※上記未定の教室は決定次第、教学 Web サービスの「お知らせ」（※2021年夏に新しいポータルサイトに移行予定）にてお知らせします。

2) 授業場の指示（毎回の授業開始前に必ず確認してください）

西宮上ヶ原キャンパス：当日、総合体育館 1F エントランスホールの掲示板にて指示。

神戸三田キャンパス：当日、体育館ロビーのホワイトボードにて指示。

3) 受講時の服装など

動きやすく通気性のよいトレーニングウェアを着用し、体育館内では屋内専用の運動靴を用意してください。また、グラウンド等の屋外では運動に適したシューズを用意してください。

4) 「総合体育館」（西宮上ヶ原キャンパス）および「体育館アリーナ」（神戸三田キャンパス）の利用際の注意事項

①ロッカー、下足箱は授業に際しての利用に限ります。授業終了後は私物を持ち帰ってください。また、貴重品の管理は各自で十分注意してください。

②シャワー室は基本的に授業終了後に利用可能です。

③屋外授業で靴に着いた泥や砂は、入り口のマットでよく払ってから入館してください。

5) 成績評価

演習科目の特性上、成績評価には授業予定開講回数の3/4以上の出席を必要とし、出席態度、技術・体力、レポート等により総合評価します（講義科目と集中講義は「教学 Web サービス」（※2021年夏に新しいポータルサイトに移行予定）のシラバスを参照してください）。

《情報科学科目》

情報科学科目の一部の科目以外は、申込み手続きが必要です。履修を希望する方は下記および教学 Web サービス「お知らせ」（※2021年夏に新しいポータルサイトに移行予定）を参照してください。

I. 申込にあたっての注意事項

1. 申込グループ

以下の5グループにつき、1学期間にそれぞれ1クラスずつ、合計5クラス履修できます。ただし、事前申込後に定員に余裕があり、追加募集を行う場合はこの限りではありません。

グループ	科 目
コンピュータ基礎	コンピュータ基礎
コンピュータ実践	表計算、データ分析
プログラミング言語基礎(1)	C（秋のみ）、Excel VBA（春のみ）、Java、JavaScript、Python
プログラミング言語基礎(2)	ActionScript、Processing
プログラミング言語応用	PHP

事前申込時には各グループにつき、最大第3希望のクラスまで申し込むことができます。なお、履修発表後は、原則として履修を取り消すことはできません。

2. 同一名称科目

下表の科目は同一名称科目として取り扱うので、表の右の科目（旧科目）の単位を既に修得している場合、左の科目（現科目）を履修できません。

現 科 目	旧 科 目
プログラミング言語基礎（C）	コンピュータ言語（C言語） 《2019年度まで開講》
プログラミング言語基礎（Java）	コンピュータ言語（Java言語） 《2019年度まで開講》
プログラミング言語基礎（Excel VBA）	コンピュータ実践（Excel VBA） 《2019年度まで開講》
プログラミング言語応用（PHP）	コンピュータ実践（Web コンピューティング） 《2019年度まで開講》 コンピュータ実践（データベース） 《2011年度まで開講》

Ⅱ. 履修にあたっての諸注意

1. 「コンピュータ実践」、「プログラミング言語基礎」、「プログラミング言語応用」は、すでにある程度のコンピュータに関する知識や利用経験を持つ学生を対象として開講するもので、「コンピュータ基礎」の授業内容を踏まえた科目です。スマートフォンしか使用したことがない学生、Word、Excel 等の入力程度しか経験がない学生はまず「コンピュータ基礎」を履修してください。
2. 所属学部により次のとおり履修できない科目があるので注意してください。

所属学部	履修できない科目
文学部、教育学部	コンピュータ基礎
経済学部 (2021年度以降入学生)	コンピュータ基礎、コンピュータ実践（データ分析）
理工学部、理学部、 工学部、生命環境学部	全学科目の情報科学科目のすべての科目
総合政策学部	コンピュータ基礎、文科系学生のための情報技術入門、 情報技術概論
建築学部	文科系学生のための情報技術入門

《AI 活用人材育成科目》

AI 活用人材育成科目は全科目申込手続きが必要です。履修を希望する方は下記及び教学 Web サービス「お知らせ」（※2021年夏に新しいポータルサイトに移行予定）を参照してください。

I. 申込にあたっての諸注意

1. 先修条件

下表の科目は、以下のとおり先修条件が設けられています。科目申込み時に先修科目を修得していることが必要です。

授業科目	先修科目
「AI 活用導入演習 A」 「AI 活用導入演習 B」 「AI 活用アプリケーションデザイン入門」 「AI 活用実践演習 A （Java による Web アプリケーションデザイン）」 「AI 活用実践演習 B （Python による機械学習・深層学習）」 「AI 活用実践演習 C（Web デザイン）」 「AI 活用データサイエンス入門」	「AI 活用入門」
「AI 活用アプリケーションデザイン実践演習」	「AI 活用アプリケーションデザイン入門」
「AI 活用データサイエンス実践演習」	「AI 活用データサイエンス入門」
「AI 活用発展演習 I」	「AI 活用導入演習 A」 「AI 活用導入演習 B」 「AI 活用実践演習 A （Java による Web アプリケーションデザイン）」 「AI 活用実践演習 B （Python による機械学習・深層学習）」 「AI 活用実践演習 C（Web デザイン）」 のすべての科目 または 「AI 活用アプリケーションデザイン実践演習」 「AI 活用実践演習 A （Java による Web アプリケーションデザイン）」 「AI 活用実践演習 B （Python による機械学習・深層学習）」 「AI 活用実践演習 C（Web デザイン）」 のすべての科目
「AI 活用発展演習 II」	「AI 活用発展演習 I」 「AI 活用データサイエンス実践演習 II」 のすべての科目 または 「AI 活用発展演習 I」 「AI 活用データサイエンス実践演習」 のすべての科目
「AI 活用データサイエンス実践演習 II」	「AI 活用データサイエンス実践演習 I」 （2020年度まで開講）

2. 新旧科目群の取扱い

下表の科目群は旧科目群のコンテンツを組み替えて、講義中心の科目（「～入門」）と演習中心の科目（「～実践演習」）に分けて開講します。表の右の科目群（旧科目群）と左の科目群（現科目群）は同一内容となるため、旧科目群の2科目の単位を既に修得している場合、現科目群を履修できません。

なお、旧科目群の2科目の単位をともに修得した場合、現科目群の2科目の単位を修得したと同等と認定します。

現科目群	旧科目群
「AI 活用アプリケーションデザイン入門」 「AI 活用アプリケーションデザイン実践演習」	「AI 活用導入演習 A」 「AI 活用導入演習 B」
「AI 活用データサイエンス入門」 「AI 活用データサイエンス実践演習」	「AI 活用データサイエンス実践演習 I」 「AI 活用データサイエンス実践演習 II」

（例1：旧科目群の2科目の単位を既に修得している場合）

「AI 活用導入演習 A」と「AI 活用導入演習 B」の単位を既に修得している場合、「AI 活用アプリケーションデザイン入門」を履修できません。

「AI 活用アプリケーションデザイン入門」と「AI 活用アプリケーションデザイン実践演習」の単位を修得したと同等と認定します。

（例2：旧科目群の1科目のみの単位を既に修得している場合）

「AI 活用導入演習 A」の単位を既に修得しているが、「AI 活用導入演習 B」の単位を未修得の場合は、「AI 活用アプリケーションデザイン入門」を履修できます。ただし、AI 活用人材育成プログラムを進むためには「AI 活用アプリケーションデザイン入門」の単位を修得した後、「AI 活用アプリケーションデザイン実践演習」を履修する必要があります。

3. 2021年度入学生への注意事項

2021年度入学生は上記表の旧科目群（「AI 活用導入演習 A」、「AI 活用導入演習 B」、「AI 活用データサイエンス実践演習 I」、「AI 活用データサイエンス実践演習 II」）を履修できません。2021年度からの新カリキュラムとして開講する現科目群（「AI 活用アプリケーションデザイン入門」、「AI 活用アプリケーションデザイン実践演習」、「AI 活用データサイエンス入門」、「AI 活用データサイエンス実践演習」）を履修してください。

4. 2020年度以前入学生への注意事項

上記表の旧科目群の内、「AI 活用導入演習 A」、「AI 活用導入演習 B」、「AI 活用データサイエンス実践演習 II」は2021年度までの開講とし、2022年度以降は開講されません。既に旧科目群の2科目の内、一方の科目の単位を修得していて、旧科目群の単位にて AI 活用人材育成プログラムの修了を計画している場合は、必ず2021年度中にもう一方の旧科目を履修してください。

5. 集中講義

- 1) 集中講義は、当該科目が開講される学期末に卒業見込みの方は履修申込ができません。
- 2) 授業日程の重複する集中講義を同時に複数科目履修することはできません。事前にシラバス等で授業日程を確認し、注意して申込みしてください。

6. 開講キャンパス

科目には、西宮上ヶ原キャンパス開講と神戸三田キャンパス開講のものがああります。確認の上、履修可能な科目を申し込むようにしてください。キャンパスを間違えて申込みをした場合でも、申込期間を過ぎると取り消しはできません。

7. 履修発表後は、原則として履修を取り消すことはできません。学部の必修科目等と重複しないように注意してください。

Ⅱ. 履修にあたっての諸注意

1. AI 活用人材育成科目は、AI やデータサイエンスに対する強い学習意欲を持っている学生を対象として開講する科目です。AI やデータサイエンス、プログラミングに関する知識やスキルがなくても受講可能ですが、基本的な PC スキルやインターネットスキルは事前に身につけておいてください。スマートフォンしか使用したことがない学生、Word や Excel 等の入力程度しか経験がない学生はまず情報科学科目「コンピュータ基礎」等から履修することをお勧めします。
2. AI 活用人材育成科目の対面授業では、履修学生が各自のノート PC を持参し、通常教室で授業を行います。履修に先立ち、各自でノート PC (Microsoft Windows10、または Mac OS X 10.8以上) を必ず準備してください。もし PC の新規購入を検討する場合は、持ち運びが可能な軽量 PC、記憶媒体は HDD ではなく SSD の PC をお勧めします。必要なソフトウェアなどについては、初回授業時に説明します。また、本科目では課題も出され、学内で作業を行うこともあるため、授業開始までに学内ネットワーク（持込デバイス用（無線）KGU-WLAN）の利用申請を済ませておいてください。利用申請の詳細は「情報環境機構 Web サイト『学内ネットワークに接続』のページ」を参照してください。
3. 「AI 活用入門」、「AI 活用アプリケーションデザイン入門」、「AI 活用データサイエンス入門」はオンデマンドB型オンライン授業として開講します。受講時に顔認証による本人確認を行いますので、PC にカメラ機能が備わっていない場合は必ず Web カメラを準備してください。

《ライフデザイン科目 [2012年度以前入学生：学際・連携科目]》

〈ハンズオン・ラーニングセンター (HoLC)〉

次の科目については、後日、別途募集要項を公表します。募集要項の内容を確認の上、申し込んでください。

【募集要項を別途作成・公開する科目】	
●ライフ・キャリア リーダーシップ実習	●キャリアゼミ C
●インターンシップ実習	●霞が関セミナー
●キャリアゼミ B	

I. 申込にあたっての諸注意

1. 同一名称科目

次の科目は同一名称科目として取り扱うので、表の右の科目（旧科目）の単位を既に修得している場合、左の科目（現科目）を履修できません。

現 科 目	旧 科 目
ライフ・キャリア概論	社会の中での自分（インターンシップ講義） 《2017年度まで開講》
ライフ・キャリア入門演習	グローバルキャリアデザイン入門 《2016年度まで開講》

2. 集中講義の申し込みについて

- 1) 次の科目は、2021年9月卒業見込の方は履修申込ができません。
「ライフ・キャリア リーダーシップ実習」「インターンシップ実習1」「キャリアゼミB」
- 2) 次の科目は、2022年3月卒業見込の方は履修申込ができません。
「インターンシップ実習2」「キャリアゼミC」「霞が関セミナー」
- 3) 授業日程の重複する集中講義を同時に複数科目履修することはできません。事前にシラバス等で授業日程を確認し、注意して申し込んでください。
- 4) 次の科目は、当年度の進級判定には含まれません。
「インターンシップ実習2」「キャリアゼミC」「霞が関セミナー」

Ⅱ. 履修にあたっての諸注意

1. ライフ・キャリア リーダーシップ実習 〈春学期集中〉

- ・履修にあたっては、実習先への往復交通費、宿泊費、食費等が必要です。
- ・開講場所、実施形態については検討中です。詳細は、改めて募集要項でお知らせします。

《開講予定日》

- | | |
|------------------|--------|
| 8月25日(水) | : 事前学修 |
| 8月29日(日)～9月1日(水) | : 実習 |
| 9月3日(金) | : 事後学修 |

2. インターンシップ実習 〈春学期集中・秋学期集中〉

キャリアセンター提供の「KG 枠インターンシップ」もしくは、各自でエントリー、参加するインターンシップを活用して履修申込をすることができます。事前に履修申込の上、インターンシップ事前・事後学修の受講が必要です。5日以上かつ実習時間30時間以上60時間未満で1単位、8日以上かつ60時間以上で2単位とします。また、1学期につき、最大2単位まで履修申込が可能です。申込にあたっては、参加日数や各種研修参加など条件がありますので、募集要項を参照してください。

3. キャリアゼミA 〈春学期〉

- ・本科目は木曜日（西宮上ヶ原・神戸三田）だけでなく、土曜日にもクラス合同で開講される回があります。

《開講予定日》

- 4月8日(木)、4月15日(木)、4月22日(木)、5月6日(木)、5月20日(木)、5月27日(木)、
6月10日(木)、6月17日(木)、6月24日(木)、7月1日(木)、7月8日(木)
合同開講：5月15日(土)、7月3日(土)

4. キャリアゼミB 〈春学期集中〉

- ・開講場所、実施形態については検討中です。詳細は、改めて募集要項でお知らせします。

《開講予定日》

- | | |
|-------------------|--------|
| 7月31日(土) | : 事前学修 |
| 8月7日(土)～8月9日(月・祝) | : 実習 |
| 8月11日(水) | : 事後学修 |

5. キャリアゼミC 〈秋学期集中〉

・開講場所、実施形態については検討中です。詳細は、改めて募集要項でお知らせします。

《開講予定日》

2月25日(金) : 事前学修

3月2日(水)～3月6日(日) : 実習

3月11日(金) : 事後学修

6. 霞が関セミナー 〈秋学期集中〉

・開講場所、実施形態については検討中です。詳細は、改めて募集要項でお知らせします。

《開講予定日》

2月9日(水) : 事前学修

2月15日(火)～2月18日(金) : 実習

2月24日(木) : 事後学修

《基盤・学際科目 [2012年度以前入学生：学際・連携科目]》

次の科目については、後日、別途募集要項を公表します。募集要項の内容を確認の上、申し込んでください。

募集要項を別途作成・公表する科目
●平和学特別演習「ヒロシマ」 ●社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（瀬戸内海・豊島環境 FW） ●社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（広島・江田島平和 FW） ●ハンズオン・インターンシップⅠ・Ⅱ ●ハンズオン・アドバンスⅠ ●PBL 特別演習002【JETRO×産研連携講座】 ●PBL 特別演習008【福島で学ぶ復興と原発問題】

I. 申込にあたっての諸注意

1. 先修条件

下表の科目は履修にあたり、先修条件が設けられています。科目申込み時に先修科目を修得していることが必要です。

授業科目	先修科目
社会探究実習Ⅱ（瀬戸内海・豊島環境 FW）	社会探究実習Ⅰ（瀬戸内海・豊島環境 FW）、または社会探究実習Ⅰ（広島・江田島平和 FW）
社会探究実習Ⅱ（広島・江田島平和 FW）	社会探究実習Ⅰ（広島・江田島平和 FW）、社会探究実習Ⅰ（瀬戸内海・豊島環境 FW）、または平和学特別演習「ヒロシマ」
社会探究実践演習Ⅱ（篠山・今田コミュニティ・ガバナンス FW）	社会探究実践演習Ⅰ（篠山・今田コミュニティ・ガバナンス FW）
社会探究実践演習Ⅱ（朝来・竹田城下町活性化 PJ）	社会探究実践演習Ⅰ（朝来・竹田城下町活性化 PJ）
社会探究実践演習Ⅱ（大阪・上本町）	社会探究実践演習Ⅰ（大阪・上本町）
ハンズオン・インターンシップⅡ（ただし、先修科目と同一の受入先での実習に限る）	ハンズオン・インターンシップⅠ ハンズオン・インターンシップ実習

2. 同一名称科目

下表の科目は同一名称科目として取り扱うので、表の右の科目（旧科目）の単位を既に修得している場合、左の科目（現科目）を履修できません。

現 科 目	旧 科 目
人権教育科目017【障害と人権】	人権教育科目006【障害と人権】 人権教育科目014【障害と人権A】 人権教育科目015【障害と人権B】
スタディスキルセミナー （レポート執筆の基礎）	スタディスキルセミナー（論文作成） スタディスキルセミナー（文章力を身につけよう！）
スタディスキルセミナー （プレゼンテーション）	スタディスキルセミナー （プレゼン力を身につけよう！）
災害復興学A	災害復興学入門
災害復興学B	災害復興学
総合コース808	総合コース807
PBL 特別演習007 【阪急阪神 HD(株)と挑む社会課題】	PBL 特別演習007 【阪急阪神ホールディングス(株) 社会課題解決PJ】
PBL 特別演習008 【福島で学ぶ復興と原発問題】	PBL 特別演習001【福島から原発を考える】

3. 集中講義の申し込みについて

1. 次の科目は、2021年9月卒業見込の方は履修申込ができません。

〈共通教育センター〉

連携講座006、連携講座008、連携講座009、連携講座014

〈ハンズオン・ラーニングセンター（HoLC）〉

平和学特別演習「ヒロシマ」

社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（瀬戸内海・豊島環境 FW） 1

ハンズオン・インターンシップⅠ・Ⅱ 1

PBL 特別演習002【JETRO×産研連携講座】

PBL 特別演習008【福島で学ぶ復興と原発問題】

2. 次の科目は、2022年3月卒業見込の方は履修申込ができません。

〈ハンズオン・ラーニングセンター（HoLC）〉

社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（瀬戸内海・豊島環境 FW） 2

社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（広島・江田島平和 FW）

ハンズオン・インターンシップⅠ・Ⅱ 2

ハンズオン・アドバンスⅠ

3. 授業日程の重複する集中講義を同時に複数科目履修することはできません。事前にシラバス等で授業日程を確認し、注意して申し込んでください。

4. 次の科目は、当年度の進級判定には含まれません。

社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（瀬戸内海・豊島環境 FW） 2

社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（広島・江田島平和 FW）

ハンズオン・インターンシップⅠ・Ⅱ 2

ハンズオン・アドバンスⅠ

5. ハンズオン・インターンシップⅠ・Ⅱ 〈春学期集中・秋学期集中〉

本科目は、旧科目「ハンズオン・インターンシップ実習」を修得済であっても履修することができ、「ハンズオン・インターンシップⅠ・Ⅱ」それぞれの重複履修も可能です。ただし、「ハンズオン・インターンシップⅡ」を履修する場合は、「ハンズオン・インターンシップⅠ」または「ハンズオン・インターンシップ実習（2020年度まで開講）」と同一の受入先での実習に限ります。

6. ハンズオン・アドバンスⅠ

本科目は「ハンズオン・アドバンスⅠ」と、2022年度から開講する「ハンズオン・アドバンスⅡ」を続けて履修し、1年間を通じて活動することが条件です。また、オンラインフォーム上でのエントリーが必要です。

Ⅱ. 履修にあたっての諸注意

〈共通教育センター〉

「連携講座006（早期臨床体験実習）」

実習参加にあたっての注意事項

- (1) 関西学院大学の健康診断を受診し感染症などの異常のないこと。（胸部レントゲン検査（結核）を必須とする。）
- (2) 4種ワクチン（麻疹、風疹、流行性耳下腺炎、水痘）の2回接種歴があることを原則とする。

抗体価検査等結果証明書を提出すること。ただし、4月の時点でワクチン接種実施証明書（医療機関等での証明又は母子手帳（写））等により2回の接種歴を証明できない場合は、実習開始までに接種を終えることは困難なため、抗体価検査を行い、抗体検査結果により必要なワクチン接種を実習までに完了すること。なお、抗体価検査は自費となるため注意すること（金額1万円前後）。

※以下の科目について、開講時間や場所等の詳細は受講者に7月中旬頃教学 Web サービス（※2021年夏に新しいポータルサイトに移行予定）で連絡をするので注意してください。

「連携講座006（早期臨床体験実習）」「連携講座008（医療入門）」

「連携講座009（東洋医学入門）」「連携講座014（臨床ゲノム医学）」

〈ハンズオン・ラーニングセンター（HoLC）〉

1. 平和学特別演習「ヒロシマ」〈春学期集中〉

- ・宿泊代等の諸費用として18,000円程度（予定）が必要です（現地までの交通費、現地での移動費、一部飲食代を除く）。

《開講予定日》

5月22日（土）、7月3日（土）：事前学修

8月4日（水）～8月8日（日）：実習

2. ハンズオン・プラクティス

本科目は木曜日（西宮上ヶ原・神戸三田）だけでなく、土曜日、日曜日にも開講される回があります。

1クラス 〈春学期〉

《開講予定日》

4月8日（木）、4月15日（木）、4月22日（木）、5月22日（土）、6月19日（土）、

7月1日（木）、7月8日（木）、7月15日（木）

2 クラス 〈秋学期〉

《開講予定日》

9月30日(木)、10月7日(木)、10月14日(木)、11月13日(土)、12月5日(日)、
12月16日(木)、12月23日(木)、1月6日(木)

3. 社会探究実践演習Ⅰ・Ⅱ（篠山・今田コミュニティ・ガバナンス FW）〈春学期・秋学期〉
学期期間中に数回週末に現地でのフィールドワークを実施予定です。なお、現地への交通費等は原則自己負担です。
 4. 社会探究実践演習Ⅰ・Ⅱ（朝来・竹田城下町活性化 PJ）〈春学期・秋学期〉
学期期間中に数回週末に現地でのフィールドワークを実施予定です。なお、現地への交通費等は原則自己負担です。
 5. 社会探究実践演習Ⅰ・Ⅱ（大阪・上本町）〈春学期・秋学期〉
学期期間中に数回週末に現地でのフィールドワークを実施予定です。なお、現地への交通費等は原則自己負担です。
 6. 社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（瀬戸内海・豊島環境 FW）
 - ・現地での交通費、宿泊代等の諸費用として50,000円程度（予定）が必要です。現地までの交通費は含まれませんので注意してください。
- 1 クラス 〈春学期集中〉
- 《開講予定日》
- 6月12日(土)、7月3日(土)、8月5日(木)：事前学修
8月8日(日)～8月14日(土)：実習
- 2 クラス 〈秋学期集中〉
- 《開講予定日》
- 11月20日(土)、12月11日(土)：事前学修
2月23日(水・祝)～2月28日(月)：実習
7. 社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（広島・江田島平和 FW）〈秋学期集中〉
 - ・現地での交通費、宿泊代等の諸費用として15,000円程度（予定）が必要です。現地までの交通費は含まれませんので注意してください。
- 《開講予定日》
- 11月20日(土)、12月11日(土)：事前学修
2月15日(火)～2月20日(日)：実習
8. PBL 特別演習002【JETRO×産研連携講座】〈春学期集中〉

《開講予定日》

6月5日(土)：事前学修
8月23日(月)～8月27日(金)：集中授業
 9. PBL 特別演習007【阪急阪神 HD(株)と挑む社会課題】〈春学期〉
学期期間中に阪急阪神沿線でフィールドワークを実施予定です。なお、交通費は原則自己負担です。

10. PBL 特別演習008【福島で学ぶ復興と原発問題】〈春学期集中〉

- ・宿泊代等の諸費用として40,000円程度必要です（補助金申請中のため、25,000円になる可能性有）。現地までの交通費は含まれませんので注意してください。

《開講予定日》

7月9日(金) : オリエンテーション

8月10日(火) : 事前学修

8月23日(月)～8月28日(土) : 実習

11. PBL 特別演習009【三木市・旧市街地 FW】〈春学期・秋学期〉

学期期間中に数回週末に現地でのフィールドワークを実施予定です。なお、現地への交通費は自己負担です。

12. ハンズオン・インターンシップⅠ・Ⅱ

夏休みや春休みの約6週間にわたって実施するインターンシッププログラムです。

1 クラス 〈春学期集中〉

5月15日(土)にプロジェクト説明会を実施し、面談を経てインターン先を決定します。なお、インターン期間中の交通費等は原則自己負担となります。

2 クラス 〈秋学期集中〉

10月30日(土)にプロジェクト説明会を実施し、面談を経てインターン先を決定します。なお、インターン期間中の交通費等は原則自己負担となります。

13. ハンズオン・アドバンスⅠ 〈秋学期集中〉

活動に伴う交通費等は原則自己負担となります。

《教職関連科目》

2021年度免許状取得のための他学部履修について

1 免許状取得のための他学部履修に関する取り扱い

本学在学中の者は、所属する学部（学科）において取得できる免許状以外の免許状を、他学部履修に関する取り扱いによって取得することが可能である。この取り扱いを受けようとする者は、教職教育研究センターで以下の申込手続きを行い、所属学部及び受け入れ学部の承認を経て、教職課程委員会の承認を得ること。履修にあたっては、免許状取得に必要なすべての単位を卒業までに修得できるよう計画を立てなければならない。詳細は、「教職課程等履修要項」を参照すること。

2 2021年度免許状取得のための他学部履修希望者の手続き

(1) 申し込み資格

卒業までに、免許状取得のためのすべての単位を修得できる可能性を持つ者。

(2) 申し込み

日 時：

〔通年・春学期科目〕 3月22日(月)～3月26日(金)の事務室開室時間中

〔秋学期科目〕 8月27日(金)～9月2日(木)の事務室開室時間中

※1年生については〔秋学期科目〕からの申し込みとする。

手続き：

手順①「履修申込書」(Excel ファイル) のダウンロード

教学 Web のお知らせ配信にて、取扱い詳細を事前に通知するので、各自で確認の上、ダウンロードすること。ダウンロード可能日については掲示で通知する。

手順②「履修申込書」(Excel ファイル) の印刷

ダウンロードした「履修申込書」(Excel ファイル) に、取扱い詳細を参照しながら必要事項を入力し、完成したものを A4 用紙に印刷すること。

(電子データの提出は不要)

手順③「履修申込書」の提示(確認)(上記申込期間内)

必要事項を入力し、印刷した「履修申込書」(A4 用紙) を教職教育研究センター(上ヶ原キャンパスまたは神戸三田キャンパス)に提示し受付印を押印してもらう。

手順④「履修申込書」の提出(上記申込期間内)

手順③で押印を受けた「履修申込書」(A4 用紙) を各自の所属学部事務室へ提出する。

※事前に申込が必要な授業科目の履修を申し込む場合は、上記「履修申込書」を提出するだけでは履修できないので、各自で授業を履修するために必要な申込手続きを行うこと。申込制科目名、申込手続き方法、手続き期間等の詳細については、各自で受け入れ学部を確認すること。

(3) 履修許可科目の確認

日 時：[通年・春学期科目] 4月8日(木)

[秋学期科目] 9月21日(火)

場 所：所属学部事務室

ただし、同一学部内の他学科履修をしようとする者は、上記手続きは不要とする。

3 「理科」、「数学」、「情報」、「保健体育」、「福祉」(福祉は2018年度以前入学生のみ) の取り扱いについて

【対象：2021年度以降入学生】

- (1) 理学部、工学部および生命環境学部の「理科」は他学部履修できない。
- (2) 理学部(物理・宇宙学科)および工学部の「数学」は他学部履修できない。
- (3) 総合政策学部の「情報」は他学部履修できない。
- (4) 人間福祉学部の「保健体育」は他学部履修できない。

【対象：2020年度以前入学生】

- (1) 理工学部の「理科」および「情報」は他学部履修できない。
- (2) 理工学部物理学科、情報科学科および人間システム工学科の「数学」は他学部履修できない。
- (3) 総合政策学部の「情報」は他学部履修できない。
- (4) 人間福祉学部社会福祉学科の「福祉」は他学部・他学科履修できない。
- (5) 人間福祉学部の「保健体育」は他学部履修できない。

※なお、教育学部に小学校教員・幼稚園教員・特別支援学校教員・保育士を養成する課程が設置されているが、教育学部生以外の学生は履修できないので、注意すること。

2021年度「博物館実習」履修について

I 先修条件・履修者数制限

- 1 2021年度「博物館実習」履修者の先修条件は、つぎの通りとする。
「博物館概論」2単位、「博物館経営論」2単位、「博物館資料論」2単位、
「博物館教育論」2単位、の計4科目8単位を修得すること。
- 2 上記先修条件を満たした履修希望者を対象にオリエンテーションを行う。これに欠席・遅刻した者の履修は原則として認めない。
- 3 先修条件を満たし、「博物館実習オリエンテーション」に出席した履修希望者数が70名を越える場合は、履修者数制限を行う。その方法は以下のとおりとする。
 - (1) 4年生及び科目等履修生を優先とし、残りについて3年生から先修科目の成績およびクラス希望を勘案し選考する。
 - (2) 選考は、オリエンテーション終了後、教職教育研究センターにて教職教育研究センター副長の立ち会いのもと厳正に行う。

II 2021年度「博物館実習」履修希望者の手続き

- 1 オリエンテーション出席
日 時：4月1日(木) 13:30～14:30
場 所：第4別館 202号教室（上ヶ原キャンパス）
- 2 履修者発表の確認
（オリエンテーション出席者が70名を、上回る場合は、上記要領で履修者を決定するので、各自確認すること。）
日 時：4月5日(月) 9:00
場 所：（上ヶ原キャンパス） 教職教育研究センター掲示板
（神戸三田キャンパス） 教職教育研究センター掲示板

（以下は履修が認められた者の手続きである。）

- 3 実習費納入・履修申し込み
日 時：4月5日(月)～6日(火)
場 所：（上ヶ原キャンパス） 教職教育研究センター
（神戸三田キャンパス） 教職教育研究センター
※提出は上ヶ原キャンパス・神戸三田キャンパスのみ
方 法：実習費金額（8,000円）の申請書を証明書自動発行機（学生サービスセンター、図書館、G号館、神戸三田キャンパスⅠ・Ⅵ号館、（聖和キャンパス、大阪梅田キャンパス））で購入し、オリエンテーションの際に配付する実習生カード（要 写真 3.5×4.0 cm）とともに提出すること。
- 4 許可されたクラスの第1回授業に必ず出席すること。

教職課程における「教科に関する専門的事項（2019年度以降入学生）」、「教科に関する科目（2018年度以前入学生）」の履修について

取得しようとする教科の「教科に関する専門的事項（2019年度以降入学生）」、「教科に関する科目（2018年度以前入学生）」は、すべて所属学部で開講されている。他学部で同じ名称の科目が開講されている場合もあるが、免許状取得のための「教科に関する専門的事項（2019年度以降入学生）」、「教科に関する科目（2018年度以前入学生）」としては認められないので、十分確認のうえ履修登録をすること。

試験 レポート 成績評価

-
- I 試験
II レポート
III 成績評価

I 試験

- (1) 法学部の試験は、「成績評価・試験規程」「法学部内規」に基づいて実施します。
- (2) 試験は定期試験、追試験、代替試験と、その他随時行うことがある平常試験に分けられます。
- (3) 定期試験をレポートで実施する場合がありますが、様式・提出方法等は、「レポート」の項目を参照してください。定期試験に代わるレポートは、定期試験に準じて取り扱われますが、追試験の制度は適用されません。
- (4) 定期試験は授業スケジュールに定められた期間に実施します。ただし、定期試験に代わるレポートの受付期間については、この限りではありません。
- (5) 受験についての注意事項
 - ①試験場及び座席を指定しますので、教学 Web サービス（※）（試験日前日の夜間）及び開講学部掲示板（試験当日）で確認してください。複数クラス開講されている授業科目がありますので、自分のクラスを必ず確かめてください。
 - ②必ず「学生証」を携帯してください。万が一、学生証を忘れた場合は、試験前に法学部事務室で手続きをしたうえで試験場に入ってください。
 - ③配付した答案用紙は、放棄・汚損の如何にかかわらず回収しますので、いったん試験場に入場した者は、必ず解答用紙に所属学部・学年・学生番号・氏名を記入して提出してください。
- (6) 不正行為を行った場合は、当該試験期間の全科目を 0 点とし、評価は 0 点（又は F）、GP を 0 とし、GPA に算入します。

外国語必修科目は、定期試験・成績評価にあたり、以下の条件があります。

☞ 詳細は『法学部内規』参照

◆英語・基礎英語・フランス語・ドイツ語・中国語

授業欠席回数の限度は各学期 5 回までとし、6 回以上欠席した場合には不合格となる。

◆朝鮮語

担当者 1 と 2 のそれぞれのクラスで欠席 4 回目から減点となる。

◆スペイン語

週 2 コマの授業のうちどちらか一方の時限を 4 回以上欠席した場合不合格となり、その後の授業に出席することができない。

◆日本語（留学生対象）

8 回以上欠席した場合不合格となり、その後の授業に出席することができない。

（※）教学 Web サービスは2021年夏に新しいポータルサイトに移行します。

Ⅱ リポート

リポートは「平常リポート」、「定期試験に代わるリポート」の2つに区別されます。
いずれの場合も、提出にあたっては所定の様式と期日を守らなければなりません。

※リポートの題目、様式、提出期日、提出場所などは掲示によって指示します。
※提出の際は、必ず表紙を付け、ホチキスで「左上1か所」を止めること。

表紙の作成

表紙は、教務機構ホームページからダウンロードするか、生協で購入することができます。

自分で作成する場合は、「授業科目名（クラス）」
「担当教員」「リポート題目」「学部・学科」
「学年」「学生番号（8ケタ）」「氏名」
を必ず明記してください。

手書きの場合は、ペンまたはボールペンで記入してください。

（表紙ダウンロード URL）

https://www.kwansei.ac.jp/a_affairs/a_affairs_003004.html

／		〈表示例〉	
授 業 科 目 名	○○○○○	ク	ラス○組
担 当 教 員	○○○○○	先	生
リ ポ ー ト 題 目	○○○○○○○○○○○○○		
所 属	法学部	○○	学科
学 年	○	年	
学 生 番 号	○○○○○○○○○（8桁）		
氏 名	○○○○	_____	

提出について

- ① 担当者へ直接提出するリポートについては、事務室では一切取り扱いません。
- ② リポート提出時に発行する「受領証」は、大切に保管してください。
- ③ 法学部事務室に提出するリポートの受付時間は、原則、8時50分から16時50分（11時30分から12時30分は閉室）までです。ただし、提出期間最終日は、8時50分から11時30分ですので、注意してください。また、提出先によって受付時間が異なるため、締め切り時間には十分注意してください。締め切り時間に遅れたもの、提出期日を過ぎたもの、事務室宛の郵送またはその他の方法で提出されたりポートは、一切受領しません。
- ④ 一度受け付けたリポートの変更、追加等は一切認めません。

「剽窃」について

レポートや論文を作成する際、他人が書いた文章を「剽窃（ひょうせつ）」することは、絶対にしてはならない行為です。

学生として許されるべき行為でないだけでなく、違法行為ともなりえます。剽窃は「不正行為」として当該科目の成績、または特に悪質な場合は全科目の成績が無効となる場合がありますので、レポート等作成および提出の際は十分注意してください。

「剽窃」とはなにか

他の人によって書かれた論文、概念、文章などの著作（特に、他の人によって書かれた著作）の一部または全部を、あたかも自分自身が書いたものとして使用すること。あるいは、自分が書いたものと読んだ人に誤解を与えるように表記して「使用」すること。

文章全体を写すのではなく、表現を変えたりするなどして他人の文章のように書いたとしても「剽窃」とみなされます。

インターネット上のテキストの一部をコピー＆ペーストし、表現を変えるなどして自分の意見のように書くことも「剽窃」とみなされます。

正しい「引用」をしましょう

レポートや論文の作成のために、他人の文章を用いる場合は必ずそれが引用であることを明記しなければなりません。どこまでが「他者が記述した内容」の紹介で、どこからが「自分の考え」かをはっきりさせることが必要です。

**故意ではなく、不注意で行った場合も「剽窃」に変わりはありません。
決して「剽窃」をおこなわないように十分に気を付けてください。**



関西学院大学 研究倫理について

▶ 貴方も責任ある研究者です。

「研究者」とは教員に限らず、本学において研究活動に従事する者すべてを含みます。

学部学生も、研究活動（各種調査におけるアンケートの実施やゼミ研究、研究レポート作成、卒業論文執筆など）に関わる際は、「研究者」に準ずる者とみなされます。

「関西学院大学 研究倫理規程 第2条」より

関西学院大学はキリスト教主義によってたつ教育研究機関であり、スクールモットーの Mastery for Service の精神に基づき、社会の信頼に支えられた高い倫理性をもって教育研究を推進し、その成果を積極的に社会に還元することに、その本旨がある。

- 研究者は、研究成果の発表における捏造、改ざん、盗用、重複発表、その他の研究活動における不正行為を行ってはならない。特許出願において虚偽を行ってはならない。また、研究活動における利益相反の発生に十分な注意を払い、相反が発生する場合には情報を開示し、適切な管理を行わねばならない。
- 研究者は、研究活動にあたって、関係する個人の尊厳および人権を尊重しなければならない。また、研究活動に伴う守秘義務を厳守し、活動の過程において知り得た個人情報の保護に努めなければならない。
- 研究者は、研究活動において装置、機器、薬品、材料などを用いるときは、関係する法令、本学の諸規則、学会等の指針を遵守し、環境、安全へ配慮しなければならない。
- 研究者は、研究活動において、学生や共同で研究を行う者に対して正当な理由なくして不利益を与えてはならない。

「関西学院大学 研究活動に関する指針」より抜粋

▶ 研究活動上の不正行為

以下3つの行為は、文部科学省「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」の中で、「特定不正行為」と位置付けられています。

- 試資料等の捏造
- 試資料等の改ざん
- 試資料等の盗用

その他、本学では以下の行為も不正行為として位置付けています。

- 恣意的に取得した試資料等の利用
- 不適切な著作者表示
- 不適切な重複発表
- 訂正の不作為

研究活動の倫理とは？

- 研究者は、研究活動における責任を自覚し、研究成果の客観性を歪めることがないよう、良心と信念に従って研究を遂行しなければならない。
- 研究者は、個人の尊厳及び人権の尊重、並びに個人情報の保護に留意し、科学的かつ社会的に妥当な方法、研究を遂行する義務を負います。
- 研究者は、研究の遂行上、関連する法令等に従うとともに、本学諸規程、所属する学会・団体等の倫理規程等を遵守しなければならない。

「関西学院大学 研究倫理規程」より抜粋

【参考文献】1.「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」文科省 平成26年 2.「研究活動の不正行為への対応のガイドラインについて～研究活動の不正行為に関する特別委員会報告書」文科省 平成18年

研究活動上の不正行為とは？

文科省「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」上の「特定不正行為」	捏造 存在しないデータ、研究結果等を作成すること。	【事例】 デイオバン臨床研究不正事件 K医科大学の教授が行った高血圧治療薬（降圧剤）の臨床研究において、その薬に有利になるようにデータが人為的に操作されていた。 本件においては、薬の販売元であるN製薬会社の日本法人社員が、K医科大学を含む複数の大学で行われた臨床研究で、N製薬会社所属という身分を隠して参加し、論文作成にも関与していた。 【処分】 退職、退職金の自主返納
	改ざん 研究資料・機器・過程を変更する操作を行い、データ、研究活動によって得られた結果等を真正でないものに加工すること。	【事例】 画像の流用等のデータ改ざん 学外の告発者からの指摘により、研究者の研究論文に捏造（方法論が同じ代表的な実験データの流用）、改ざん（見栄えを良くするための画像代用）、二重投稿（3つの論文において、画像及び大部分の文章が他の論文と同一（注）。また、一つのデータを二つの論文に掲載。）が発覚した。 （注）研究者は、投稿した一方の学術誌を、研究会の抄録であると誤認して投稿したものであり、故意によるものではなかった。 【処分】 当該教授は論旨退職、共著者等も処分対象 【参考文献】 「研究者の不正行為についてのお詫びとご報告」D医科大学 HP 平成24年2月3日
	盗用 他の研究者のアイデア、分析・解析方法、データ、研究結果、論文又は用語を、当該研究者の了解又は適切な表示なく流用すること。	【事例】 W大学論文不正問題 平成23年3月に学位取得した博士論文について、著作権侵害行為（インターネットからの文章のコピー・アンド・ペースト、バイオ関連企業サイトの画像との酷似）、意味不明な記載（画像に対応する記載の不備）、整合性がない箇所（根拠論文の記載内容との矛盾）等が指摘された。 【処分】 概ね一年間程度の猶予期間において、博士論文指導と研究倫理の再教育を受け、論文を訂正した場合は、学位が維持できるものとされた。これが適切に履行できないときは、当然に学位は取り消される。 【参考文献】 1.調査報告書 W大学 大学院先進理工学研究科における博士学位論文に関する調査委員会 平成26年7月17日 2.会見発表 W大学 HP 平成26年10月7日

その他、本学では以下の行為も不正行為として位置付けています。

- ・ **恣意的に取得した試資料等の利用**
計測・実験機器の操作や調査方法の決定等を恣意的に行うことによって、正当な方法では得られない試資料等を取得し、利用すること。
- ・ **不適切な著作者表示**
当該の研究活動に無関係の他者を著作者に加えたり、共同研究者を適正な形で著作者に含めなかったりすること。
- ・ **不適切な重複発表**
既発表の成果を新規なものであると偽って再び発表すること。
- ・ **訂正の不作為**
発表した研究成果に重要な間違いを発見しながら、当該成果の取り下げや訂正発表等の適切な処置を行わないこと。

【参考文献】1.「わが国における研究不正～公開情報に基づくマクロ分析（I）」独立行政法人科学技術振興機構 2013 vol.56 no.3
2.「研究活動の不正行為への対応のガイドラインについて～研究活動の不正行為に関する特別委員会報告書」文科省 平成18年

本学の研究活動における不正行為防止等の体制、関係規則、及び事例を URL にて紹介しています。
URL: https://www.kwansei.ac.jp/kenkyu/kenkyu_010053.html 「研究活動上の不正行為防止への取り組み」

研究活動上の不正行為に関する相談・告発等の窓口

研究推進社会連携機構事務局

E-mail: fuseisoudan@kwansei.ac.jp

（西宮上ヶ原キャンパス）TEL 0798-54-6104 / FAX 0798-54-6905

（神戸三田キャンパス）TEL 079-565-9052 / FAX 079-565-7910

※告発者は「関西学院大学における研究活動上の不正行為の防止等に関する規程」に基づき、不利益な取扱いを受けることがないよう保護されます。

Ⅲ 成績評価

(1) 成績評価は、以下のいずれかの方法で行われます。

- ① 定期試験（定期試験に代わるレポートを含む）の成績のみによる評価
- ② 定期試験（定期試験に代わるレポートを含む）の成績および平常評価による評価
- ③ 平常評価のみによる評価

(2) 春学期定期試験の成績発表は8月に、秋学期定期試験の成績発表は2月に行います。成績発表日は、決定次第掲示及び教学 Web（※）で通知します。

※関西学院大学では、保証人宛に成績表を郵送します。
 →春学期成績：9月末頃発送 →秋学期成績：4月上旬頃発送
 保証人宛発送を希望しない場合は、指定期間に所定の手続きをしてください。
 卒業する学期の成績表についても、卒業後に郵送されます。

（※）教学 Web サービスは2021年夏に新しいポータルサイトに移行します。

(3) 成績発表は原則として素点〈100点満点〉で行います。

60点以上：合格

59点以下：不合格

一部の授業科目については、次のように評価します。

〈S・A+・A・B+・B・C+・C・F〉（2019年度以降入学生）

〈S・A・B・C・F〉（2018年度以前入学生）

〈2019年度以降入学生〉		〈2018年度以前入学生〉	
S・A+・A・B+・B・C+・C	：合格	S・A・B・C	：合格
F	：不合格	F	：不合格

(4) GPA・平均点の計算方法

① GPA

📖 P. 21～参照

②平均点

$\frac{\text{合格した科目の合計点}}{\text{合格した科目数}}$

※演習科目の場合は、以下の点数に換算されます。

〈2019年度以降入学生〉 S：95 A+：87 A：82 B+：77 B：72 C+：67 C：62

〈2018年度以前入学生〉 S：95 A：85 B：75 C：65

(5) 成績証明書には、合格した授業科目についてのみ次のように記載されます。

〈2019年度以降入学生〉	〈2018年度以前入学生〉
100点～90点または S : 「S」	100点～90点または S : 「秀」
89点～85点または A + : 「A +」	89点～80点または A : 「優」
84点～80点または A : 「A」	79点～70点または B : 「良」
79点～75点または B + : 「B +」	69点～60点または C : 「可」
74点～70点または B : 「B」	
69点～65点または C + : 「C +」	
64点～60点または C : 「C」	

※59点以下または F の授業科目は成績証明書には記載されません。

(6) 成績調査について

成績評価について疑義ある場合、所定期間内に手続きを行うことで調査が可能になります。期間については掲示及び教学 Web (※) で通知します。

(※) 教学 Web サービスは2021年夏に新しいポータルサイトに移行します。

《参考》

理念・目的・教育目標 チャペル 法学部内規

- I 法学部の理念・目的・教育目標
- II チャペルプログラム
- III 法学部内規

I 法学部の理念・目的・教育目標

〈関西学院大学法学部について〉

法律学科 政治学科

法学部は、関西学院大学の中で最も古い学部の一つであって、1934年旧制大学学部である法文学部として発足し、1946年に文学部と分離し、さらに1948年以降新学制による法学部に発展し、現在にいたったものである。そして、この間を貫く伝統的学風は、キリスト教主義の人格教育に加え、社会の実相の深い洞察を根底としたソーシャル・アプローチを理念とする法律学・政治学の研究および教授であって、この点はすでに学界ならびに一般社会の定評となっている。

本学部は、法律学科および政治学科の2学科にわかれるが、いずれの学科の卒業生でも学士（法学）の学位が授与される。卒業生の進路は、実業界、法曹界、一般官公庁、教育界その他きわめて広汎であり、多くの人材がそれぞれの職域において人物や能力を高く評価されている。また、大学院法学研究科では博士課程前期課程・後期課程を開設し、学問の深奥を究めようとするだけでなく、専門職を目指す人々も多数受け容れており、その修了者は法学、政治学の研究分野以外にもそれぞれ活躍している。

〈理念・目的・教育目標〉

「ソーシャル・アプローチ」とは、H. F. ウッズウォース初代法文学部長の言葉である。その内容は、次の三点に要約することができる。

第一に、日本における法学教育が官僚養成という目的を帯びていたことに対して、民間の自由な精神に基づく教育・研究を目指すこと。

第二に、資格試験の準備教育や狭い意味での法解釈学に止まらず、広く深い社会的視野と教養を重視した教育・研究であること。

第三に、建学の精神にのっとり、社会への貢献、社会的弱者に目を向けさせる視点を重視した教育・研究であること。

すなわち、民間における自由の精神、広く深い社会的視野と教養、社会貢献（奉仕）の精神という三つである。

この理念に基づいて、法学・政治学の研究を中心とした学問研究を行い、かつ本学部の理念に基づき教育された有為な人材を輩出し、それらを通じて、本学建学の精神にのっとり“Mastery for Service”を実践することが、本学部の目的である。

この目的を実現するために、現今では、特に以下の5点を教育目標としている。

1) 科学的な思考方法の修得

対象を直観的・主観的ではなく、客観的・多面的に観察し、論理的に分析を進めていく方法を身につけること。

2) 広範な知識と社会的視野の獲得

法学・政治学の専門教育のみに止まらず、歴史学、哲学、心理学、社会学、経済学などの諸科学が明らかにしてきた広範な知識を身につけ、さらに広範な社会的現実に関心を持ち目を向けられるようにすること。

3) 正しい価値観と豊かな人間性の形成

よりよい社会と人間の幸福の実現に向けて奉仕する精神を育み、自由と正義の実現を目指した明確な価値観を形成すること。

4) 人権感覚の陶冶

法と政治の基本的規範理念としての人権感覚を身につけること。

5) 国際的・地球的な視野の確保

本学の伝統を踏まえ、自由な精神に基づいて常に国際的・地球的な視野を身につけること。

これらの教育目標を、以下の実施目標として具体化している。

- ①学生の多様な進路希望の実現に資する、高い社会的評価が得られる能力の習得
 - (ア) ロースクール進学希望者に対する教育の充実
 - (イ) 企業法務を希望する者に対する教育の充実
 - (ウ) 国際感覚を生かせる職業分野への進出の支援
 - (エ) 市民的公共を踏まえた政策形成人材の養成
- ②少人数教育による学生間・教員学生間での刺激に満ちた人格形成

〈ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）〉

Kwansei コンピテンシーの獲得を念頭において関西学院大学法学部のディプロマ・ポリシーを以下のとおり定める。

関西学院大学法学部は、本学部設立以来の伝統である市民社会における自由な精神に則り、広く深い社会的視野と教養、及び社会貢献（奉仕）の精神の視点を重視するという「ソーシャル・アプローチ」の理念に基づき、法学・政治学の教育をつうじ社会に広く貢献できる人材を育成することを目的としてディプロマ・ポリシーを定める。所定の年限在学し所定の単位を修得し、下記の知識や能力あるいは技能などを習得したと認められる本学部生に、学士号を授与する。

〈法律学科〉

1. 〔関心・意欲〕法学の視座から市民社会における自由の精神や基本的人権の重要性を理解し、社会に貢献しようとする関心と意欲を有する。
2. 〔知識・理解〕広い社会的視野と教養を有し、法学の専門的知識を修得している。
3. 〔技能・表現〕グローバル化する市民生活に不可欠な実践的学習能力とスキルおよびコミュニケーション能力を有する。
4. 〔思考・判断〕課題発見・解決のための総合的思考力と判断力とともに、法的思考（リーガル・マインド）を身につけている。

〈政治学科〉

1. 〔関心・意欲〕政治学の視座から市民社会における自由の精神や基本的人権の重要性を理解し、社会に貢献しようとする関心と意欲を有する。
2. 〔知識・理解〕広い社会的視野と教養を有し、政治学の専門的知識を修得している。
3. 〔技能・表現〕グローバル化する市民生活に不可欠な実践的学習能力とスキルおよびコミュニケーション能力を有する。
4. 〔思考・判断〕課題発見・解決のための総合的思考力と判断力とともに、市民社会的思考（シヴィック・マインド）を身につけている。

〈カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）〉

関西学院大学法学部は、ディプロマ・ポリシーに明記されている人材養成目標を達成するために、下記の重点項目を含むカリキュラムを編成し、これを実施する。

〈法律学科〉

1. 市民社会における自由な精神、人権や社会奉仕の重要性を主体的に深く理解するとともに、広い学際的、国際的な視野を深めることのできる科目
2. 法学の専門的知識をコースごとに系統的に修得する科目
3. 複数の言語によるコミュニケーション能力を習得し、多文化理解を促すことを目的とする科目
4. 基礎的な学修技能を修得することのできる科目
5. 以上の科目により習得した知識や能力を活用して課題発見や解決策を考察・討議する、主に少人数での双方向的な演習科目

〈政治学科〉

1. 市民社会における自由な精神、人権や社会奉仕の重要性を主体的に深く理解するとともに、広い学際的、国際的な視野を深めることのできる科目
2. 政治学の専門的知識をコースごとに系統的に修得する科目
3. 複数の言語によるコミュニケーション能力を習得し、多文化理解を促すことを目的とする科目
4. 基礎的な学修技能を修得することのできる科目
5. 以上の科目により習得した知識や能力を活用して課題発見や解決策を考察・討議する、主に少人数での双方向的な演習科目

〈法学部 カリキュラムマップ（2021年度以降入学生）〉

〈法律学科〉

		総合教育科目					専門科目群				
ディプロマポリシー		キリスト教 科目	言語 科目	教養 科目	教職等関連科目 学校図書館司書 教諭課程・ 国際バカロレア 教員養成プロ グラム関連科目	他学部 開設 科目	専門 導入 科目	専門 基幹 科目	演習 科目	コース 専門 科目	選択 専門 科目
関心・ 意欲	法学の視座から市民社会における自由の精神や基本的人権の重要性を理解し、社会に貢献しようとする関心と意欲を有する。	○		○			○		○		
知識・ 理解	広い社会的視野と教養を有している。	○	○	○		○				○	
	法学の専門的知識を修得している。							○		○	○
技能・ 表現	グローバル化する市民生活に不可欠な実践的学習能力とスキルおよびコミュニケーション能力を有する。	○	○		○				○		
思考・ 判断	課題発見・解決のための総合的思考力と判断力を備えている。			○		○			○	○	
	法的思考（リーガル・マインド）を身につけている。						○	○	○	○	○

〈政治学科〉

		総合教育科目					専門科目群				
ディプロマポリシー		キリスト教 科目	言語 科目	教養 科目	教職等関連科目 学校図書館司書 教諭課程・ 国際バカロレア 教員養成プロ グラム関連科目	他学部 開設 科目	専門 導入 科目	専門 基幹 科目	演習 科目	コース 専門 科目	選択 専門 科目
関心・ 意欲	政治学の視座から市民社会における自由の精神や基本的人権の重要性を理解し、社会に貢献しようとする関心と意欲を有する。	○		○			○		○		
知識・ 理解	広い社会的視野と教養を有している。	○	○	○		○				○	
	政治学の専門的知識を修得している。							○		○	○
技能・ 表現	グローバル化する市民生活に不可欠な実践的学習能力とスキルおよびコミュニケーション能力を有する。	○	○		○				○		
思考・ 判断	課題発見・解決のための総合的思考力と判断力を備えている。			○		○			○	○	
	市民社会的思考（シヴィック・マインド）を身につけている。						○	○	○	○	○

〈法学部 カリキュラムマップ（2020年度以前入学生）〉

〈法律学科〉

ディプロマポリシー		総合教育科目					専門科目群					
		キリスト教科目	言語科目	教養科目	教職等関連科目 学校図書館司書 教諭課程・ 国際バカロレア 教員養成プログラム 関連科目	他学部開設科目	専門導入科目	専門基幹科目	基礎法科目	演習科目	コース専門科目	選択専門科目
関心・意欲	法学の視座から市民社会における自由の精神や基本的人権の重要性を理解し、社会に貢献しようとする関心と意欲を有する。	○		○			○			○		
知識・理解	広い社会的視野と教養を有している。	○	○	○		○			○			
	法学の専門的知識を修得している。							○	○		○	○
技能・表現	グローバル化する市民生活に不可欠な実践的学習能力とスキルおよびコミュニケーション能力を有する。	○	○		○					○		
思考・判断	課題発見・解決のための総合的思考力と判断力を備えている。			○		○				○	○	
	法的思考（リーガル・マインド）を身につけている。						○	○	○	○	○	○

〈政治学科〉

ディプロマポリシー		総合教育科目					専門科目群					
		キリスト教科目	言語科目	教養科目	教職等関連科目 学校図書館司書 教諭課程・ 国際バカロレア 教員養成プログラム 関連科目	他学部開設科目	専門導入科目	専門基幹科目	基礎法科目	演習科目	コース専門科目	選択専門科目
関心・意欲	政治学の視座から市民社会における自由の精神や基本的人権の重要性を理解し、社会に貢献しようとする関心と意欲を有する。	○		○			○			○		
知識・理解	広い社会的視野と教養を有している。	○	○	○		○			○			
	政治学の専門的知識を修得している。							○			○	○
技能・表現	グローバル化する市民生活に不可欠な実践的学習能力とスキルおよびコミュニケーション能力を有する。	○	○		○					○		
思考・判断	課題発見・解決のための総合的思考力と判断力を備えている。			○		○				○	○	
	市民社会的思考（シヴィック・マインド）を身につけている。						○	○	○	○	○	○

Ⅱ チャペルプログラム

「あなたのみ言葉はわが足のともしび、わが道の光です」(詩編119編105節)

法学部本館の一階ロビーには、この言葉がレリーフとして刻まれている。関西学院のスクール・モットーは“Mastery for Service”であり、教育をとおして神と全世界の人々への奉仕に寄与することをその崇高な理想としている。チャペルを始めとする本学のキリスト教諸行事は、教養教育や専門教育に並ぶ独自の一分野を形作っている。市民としての幅広いリベラル・アーツの養成、スペシャリストとしての法学や政治学の習熟とともに、世界を思索して生きる導入(イニシエーション)教育が備えられている。チャペルでのひとときは、そのような教育の三つの柱の一つであると言える。

もちろん信教の自由は日本国憲法の保障するところであって、何人も宗教上の儀式、行事に強制されてはならない。その意味では大学のチャペル・サービスはキリスト教会の礼拝ではない。むしろそれは、私たちが目標とする正義、愛、平和、共生、解放といった人類理想の今と将来を見据え、それに深く思いを至らせる機会である。チャペルの活動は学生諸君と教職員の自発的な営みであって、キリスト教徒、非キリスト教徒を問わず、すべての人々に開かれた対話の時である。新入生の諸君は以上のことがらをよく理解し、自分の精神と歴史世界を省察するチャレンジをそこで十分に受けてほしいものである。

チャペル・サービス

毎週：火曜・水曜・木曜 10:30~11:00 (第Ⅰ時限と第Ⅱ時限の間)

法学部チャペル (法学部本館1階) にて

チャペルでは学生証を持参してください。プログラムに関してはその都度「チャペル週報」に掲載します。その他の宗教活動、チャペルへの要望や提言は宗教主事(大宮教授)まで。

Ⅲ 法学部内規

I 授業履修内規

1 履修登録について

- イ 本学部学生は、履修登録を春学期および秋学期の所定の期日までに行わなければならない。
なお、春学期および通年開講科目の履修登録は春学期に、秋学期開講科目の履修登録は秋学期に行うものとする。
- ロ 所定の期日までに履修登録を行わない者は、その試験を受け単位を修得することができない。
- ハ 言語教育科目、スタディスキル演習等クラス指定のある授業科目は、指定されたクラスで履修しなければならない。
- ニ 履修の中止は所定の科目について期間内に限り認める。

2 履修基準年度について

各学年度で履修できる授業科目は、法学部教育課程表でこれを定める。

3 単位数制限について

(2019年度以降入学生)

- イ 各学期において履修できる単位数は、次のとおりとする。
第1学年度 24単位以内
第2学年度 24単位以内
第3学年度 24単位以内
第4学年度 24単位以内
なお、通年科目の単位数は、春学期・秋学期に二等分して計算する。
- ロ イにかかわらず、特修コース又は司法特修コース所属の学生、およびMSプログラムを履修している学生は2年次以降、各学期28単位まで履修を認める。
- ハ イにかかわらず、2年次終了時点で成績がGPA上位5%以内の学生は3年次以降各学期28単位まで履修を認める。
- ニ イにかかわらず、本学の交換留学、長期留学又は認定留学制度により留学した学生は帰学後各学期28単位まで履修を認める。
- ホ イにかかわらず、マルチプル・ディグリー制度による編入学生は各学期28単位まで履修を認める。
- ヘ イにかかわらず、3年次編入学生で入学後最初の学期において、20単位以上修得かつGPA2.00以上である場合、次学期以降は各学期28単位まで履修を認める。
- ト 学則第30条の教職等関連科目の教職に関する科目、学校図書館司書教諭課程関連科目、国際バカロレア教員養成プログラム関連科目および資格科目は上記単位数制限の対象外とする。
資格科目は以下の科目とする。

博物館概論、博物館経営論、博物館資料論、生涯学習概論、博物館情報メディア論、博物館実習、博物館資料保存論、博物館展示論、博物館教育論

- チ 上記ト以外に卒業単位に算入するが、履修単位数制限の対象外とする授業科目については、「法学部履修心得」でこれを定める。

(2018年度入学生)

- イ 各学期において履修できる単位数は、次のとおりとする。
第1学年度 24単位以内
第2学年度 24単位以内
第3学年度 24単位以内
第4学年度 24単位以内

なお、通年科目の単位数は、春学期・秋学期に二等分して計算する。

- ロ イにかかわらず、司法特修コース所属の学生、およびMSプログラムを履修している学生は2年次以降、各学期28単位まで履修を認める。
- ハ イにかかわらず、2年次終了時点で成績がGPA上位5%以内の学生は3年次以降各学期28単位まで履修を認める。
- ニ イにかかわらず、本学の交換留学、長期留学又は認定留学制度により留学した学生は帰学後各学期28単位まで履修を認める。
- ホ イにかかわらず、マルチプル・ディグリー制度による編入学生は各学期28単位まで履修を認める。
- ヘ イにかかわらず、3年次編入学生で入学後最初の学期において、20単位以上修得かつGPA2.00以上である場合、次学期以降は各学期28単位まで履修を認める。
- ト 学則第30条の教職等関連科目の教職に関する科目、学校図書館司書教諭課程関連科目および資格科目は上記単位数制限の対象外とする。資格科目は以下の科目とする。
博物館概論、博物館経営論、博物館資料論、生涯学習概論、博物館情報メディア論、博物館実習、博物館資料保存論、博物館展示論、博物館教育論
- チ 上記ト以外に卒業単位に算入するが、履修単位数制限の対象外とする授業科目については、「法学部履修心得」でこれを定める。

(2017年度以前入学生)

- イ 各学期において履修できる単位数は、次のとおりとする。
 - 第1学年度 24単位以内
 - 第2学年度 24単位以内
 - 第3学年度 24単位以内
 - 第4学年度 24単位以内なお、通年科目の単位数は、春学期・秋学期に二等分して計算する。
- ロ イにかかわらず、司法特修コース所属の学生、およびMSプログラムを履修している学生は2年次以降、各学期28単位まで履修を認める。
- ハ イにかかわらず、2年次終了時点で成績がGPA上位5%以内の学生は3年次以降各学期28単位まで履修を認める。
- ニ イにかかわらず、本学の交換留学、長期留学又は認定留学制度により留学した学生は帰学後各学期28単位まで履修を認める。
- ホ イにかかわらず、マルチプル・ディグリー制度による編入学生は各学期28単位まで履修を認める。
- ヘ イにかかわらず、3年次編入学生で入学後最初の学期において、20単位以上修得かつGPA2.00以上である場合、次学期以降は各学期28単位まで履修を認める。
- ト 学則第24条のライフデザイン科目群のうち、キャリアゼミA・B・C、霞が関セミナー、海外インターンシップ、学則第30条の教職等関連科目の教職に関する科目、学校図書館司書教諭課程関連科目および資格科目は上記単位数制限の対象外とする。資格科目は以下の科目とする。
博物館概論、博物館経営論、博物館資料論、生涯学習概論、社会教育概論、博物館情報メディア論、博物館実習、博物館資料保存論、博物館展示論、博物館教育論、社会教育計画、社会教育実習、社会教育課題研究、社会教育特講Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、社会体育、社会教育行政、職業指導
- チ 上記ト以外に卒業単位に算入するが、履修単位数制限の対象外とする授業科目については、「法学部履修心得」でこれを定める。

4 卒業単位に算入されない授業科目について

以下の科目は単位を修得しても卒業単位には算入されない。

(2019年度以降入学生)

- イ 学則第30条の教職等関連科目の教職に関する科目、学校図書館司書教諭課程関連科目、国際バカロレア教員養成プログラム関連科目
- ロ 下記資格科目
博物館概論、博物館経営論、博物館資料論、生涯学習概論、博物館情報メディア論、博物館実習、博物館資料保存論、博物館展示論、博物館教育論

(2018年度入学生)

- イ 学則第30条の教職等関連科目の教職に関する科目、学校図書館司書教諭課程関連科目
- ロ 下記資格科目
博物館概論、博物館経営論、博物館資料論、生涯学習概論、博物館情報メディア論、博物館実習、博物館資料保存論、博物館展示論、博物館教育論

(2017年度以前入学生)

- イ 学則第24条のライフデザイン科目群のうち、キャリアゼミ A・B・C、霞が関セミナー、海外インターンシップ
- ロ 学則第30条の教職等関連科目の教職に関する科目、学校図書館司書教諭課程関連科目
- ハ 下記資格科目
博物館概論、博物館経営論、博物館資料論、生涯学習概論、社会教育概論、博物館情報メディア論、博物館実習、博物館資料保存論、博物館展示論、博物館教育論、社会教育計画、社会教育実習、社会教育課題研究、社会教育特講 I・II・III、社会体育、社会教育行政、職業指導

5 重複履修について

すでに単位を修得した授業科目は再び履修することはできない。ただし、法学・政治学特講 A・Bについては、科目名称の記号にかかわらず講義内容が異なる場合には重複して履修することができる。法学・政治学外書講読については、語種が異なる場合には重複して履修することができる。

6 他学部開講科目の履修について

本学部生は本学部において開講する授業科目を履修しなければならない。ただし、次の事項に該当する場合はこの限りではない。

- イ 本学部で開講していない授業科目については他学部開講科目を履修することができる。ただし、私法関連授業科目は履修できない。
- ロ 他学部で履修する授業科目の先修科目、履修基準年度および試験に関する規程等は、その授業科目の開講学部の規程が適用される。ただし、不正行為を行った学生に対する措置は本学部教授会の決定による。

7 先修条件について

イ 言語教育科目の先修条件は次のとおりとする。

(2021年度以降入学生)

- a 英語 I A (LR) および英語 I B (LR) の単位を修得しなければ英語 II A (LR) および英語 II B (LR) を履修することができない。また、英語 I A (SW) および英語 I B (SW) の単位を修得しなければ英語 II A (SW) および英語 II B (SW) を履修することができない。
- b 基礎英語 I A (LR) および基礎英語 I B (LR) の単位を修得しなければ基礎英語 II A (LR) および基礎英語 II B (LR) を履修することができない。また、基礎英語 I A (SW) および基礎英語 I B (SW) の単位を修得しなければ基礎英語 II A (SW) および基礎英語 II B (SW) を履修することができない。

- c 入門英語ⅠAを2単位修得しなければ入門英語ⅡAを履修することができない。また、入門英語ⅠBを2単位修得しなければ入門英語ⅡBを履修することができない。
- d 英語ⅠA（LR）および英語ⅠA（SW）の単位、スプリング・インテンシブ・イングリッシュの単位又は入門英語ⅠAおよびⅠBの単位を修得しなければインテンシブ・イングリッシュを履修することができない。
- e フランス語AⅠの単位を修得しなければフランス語AⅡを、フランス語AⅢの単位を修得しなければフランス語AⅣを履修することができない。フランス語BⅠの単位を修得しなければフランス語BⅡを、フランス語BⅢの単位を修得しなければフランス語BⅣを履修することができない。また、フランス語AⅡおよびフランス語BⅡの単位を修得しなければフランス語AⅢ・BⅢを履修することができない。
- f ドイツ語AⅠの単位を修得しなければドイツ語AⅡを、ドイツ語AⅢの単位を修得しなければドイツ語AⅣを履修することができない。ドイツ語BⅠの単位を修得しなければドイツ語BⅡを、ドイツ語BⅢの単位を修得しなければドイツ語BⅣを履修することができない。また、ドイツ語AⅡおよびドイツ語BⅡの単位を修得しなければドイツ語AⅢ・BⅢを履修することができない。
- g フランス語インテンシブ初級Ⅰの単位を修得しなければフランス語インテンシブ初級Ⅱを、ドイツ語インテンシブ初級Ⅰの単位を修得しなければドイツ語インテンシブ初級Ⅱを履修することができない。
- h 中国語Ⅰの単位を修得しなければ中国語Ⅱを、中国語Ⅱの単位を修得しなければ中国語Ⅲを、中国語Ⅲの単位を修得しなければ中国語Ⅳを履修することができない。
- i 朝鮮語Ⅰの単位を修得しなければ朝鮮語Ⅱを、朝鮮語Ⅱの単位を修得しなければ朝鮮語Ⅲを、朝鮮語Ⅲの単位を修得しなければ朝鮮語Ⅳを履修することができない。
- j スペイン語Ⅰの単位を修得しなければスペイン語Ⅱを、スペイン語Ⅱの単位を修得しなければスペイン語Ⅲを、スペイン語Ⅲの単位を修得しなければスペイン語Ⅳを履修することができない。
- k 日本語Ⅰの単位を修得しなければ日本語Ⅱを、日本語Ⅱの単位を修得しなければ日本語Ⅲを、日本語Ⅲの単位を修得しなければ日本語Ⅳを履修することができない。

（2020年度以前入学生）

- a 英語Ⅰ甲A・Bの単位を修得しなければ英語Ⅱ甲A・Bを履修することができない。また、英語Ⅰ乙A・Bの単位を修得しなければ英語Ⅱ乙A・Bを履修することができない。
- b 基礎英語Ⅰ甲A・Bの単位を修得しなければ基礎英語Ⅱ甲A・Bを履修することができない。また、基礎英語Ⅰ乙A・Bの単位を修得しなければ基礎英語Ⅱ乙A・Bを履修することができない。
- c 入門英語ⅠAを2単位修得しなければ入門英語ⅡAを履修することができない。また、入門英語ⅠBを2単位修得しなければ入門英語ⅡBを履修することができない。
- d 英語Ⅰ甲Aおよび英語Ⅰ乙Aの単位、スプリング・インテンシブ・イングリッシュの単位又は入門英語ⅠAおよびⅠBの単位を修得しなければインテンシブ・イングリッシュを履修することができない。
- e フランス語AⅠの単位を修得しなければフランス語AⅡを、フランス語AⅢの単位を修得しなければフランス語AⅣを履修することができない。フランス語BⅠの単位を修得しなければフランス語BⅡを、フランス語BⅢの単位を修得しなければフランス語BⅣを履修することができない。また、フランス語AⅡおよびフランス語BⅡの単位を修得しなければフランス語AⅢ・BⅢを履修することができない。
- f ドイツ語AⅠの単位を修得しなければドイツ語AⅡを、ドイツ語AⅢの単位を修得しなければドイツ語AⅣを履修することができない。ドイツ語BⅠの単位を修得しなければドイツ語BⅡを、ドイツ語BⅢの単位を修得しなければドイツ語BⅣを履修することができない。

- い。また、ドイツ語AⅡおよびドイツ語BⅡの単位を修得しなければドイツ語AⅢ・BⅢを履修することができない。
- g フランス語インテンシブ初級Ⅰの単位を修得しなければフランス語インテンシブ初級Ⅱを、ドイツ語インテンシブ初級Ⅰの単位を修得しなければドイツ語インテンシブ初級Ⅱを履修することができない。
- h 中国語Ⅰの単位を修得しなければ中国語Ⅱを、中国語Ⅱの単位を修得しなければ中国語Ⅲを、中国語Ⅲの単位を修得しなければ中国語Ⅳを履修することができない。
- i 朝鮮語Ⅰの単位を修得しなければ朝鮮語Ⅱを、朝鮮語Ⅱの単位を修得しなければ朝鮮語Ⅲを、朝鮮語Ⅲの単位を修得しなければ朝鮮語Ⅳを履修することができない。
- j スペイン語Ⅰの単位を修得しなければスペイン語Ⅱを、スペイン語Ⅱの単位を修得しなければスペイン語Ⅲを、スペイン語Ⅲの単位を修得しなければスペイン語Ⅳを履修することができない。
- k 日本語Ⅰの単位を修得しなければ日本語Ⅱを、日本語Ⅱの単位を修得しなければ日本語Ⅲを、日本語Ⅲの単位を修得しなければ日本語Ⅳを履修することができない。
- ロ 専門科目群の先修条件は次のとおりとする。
- a 研究演習Ⅰを履修するためには2ヵ年以上在学し（休学期間は在学期間に算入しない）、次の①～④の授業科目の単位を修得しなければならない。
- ① 言語科目の必修科目から4単位。
 - ② 言語科目の選択必修科目から4単位。
 - ③ 専門科目群の授業科目のうち次の科目
 - i 専門導入科目6単位
ただし、政治学科生は政治学入門A又はB2単位を含む。
 - ii スタディスキル演習又はスタートアップ演習2単位
 - iii 法律学科生は専門基幹科目の実定法科目4単位
 - ④ 上記以外に履修基準年度が1年および2年の科目より法律学科生は22単位以上。政治学科生は26単位以上。
- （第3学年度編入学生）
- 第3学年度編入学生については、2ヵ年以上在学したものとみなし、先修条件を以下のとおりとする。
- ① 言語科目の必修科目、選択必修科目から8単位。
 - ② 専門科目群の授業科目のうち次の科目
 - i 専門導入科目6単位
ただし、政治学科生は政治学入門A又はB2単位を含む。
 - ii スタディスキル演習又はスタートアップ演習2単位
 - iii 法律学科生は専門基幹科目の実定法科目4単位
 - ③ 上記以外に履修基準年度が1年および2年の科目より法律学科生は22単位以上。政治学科生は26単位以上
法律学科生は②のiiスタディスキル演習2単位およびiii専門基幹科目の実定法科目4単位を、政治学科生は②のiiスタディスキル演習2単位および②のiの政治学入門A又はB2単位を、研究演習Ⅰと並行履修することができるものとする。
- （第4学年度編入学生）
- 第4学年度編入学生については、2ヵ年以上在学したものとみなし、②のi専門導入科目6単位およびiii専門基幹科目の実定法科目4単位を、専門科目群の授業科目（スタディスキル演習およびスタートアップ演習を除く）8単位とする。
- b 研究演習Ⅰの単位を修得しなければ研究演習Ⅱを履修することができない。

8 欠席回数制限について

言語教育科目のうち、英語Ⅰ・Ⅱ、基礎英語Ⅰ・Ⅱ、フランス語AⅠ・AⅡ・AⅢ・AⅣ・BⅠ・BⅡ・BⅢ・BⅣ、ドイツ語AⅠ・AⅡ・AⅢ・AⅣ・BⅠ・BⅡ・BⅢ・BⅣ、中国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの授業欠席回数の限度は各学期5回までとし、6回以上欠席した場合、不合格となる。スペイン語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳについては週2時限の授業のうちどちらか一方の時限を4回以上欠席した場合、日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳについては8回以上欠席した場合、不合格となり、その後の授業に出席することができない。また、朝鮮語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳについては、週2時限の授業のうちどちらか一方の時限を4回以上欠席した場合、減点となる。

9 その他

- イ 言語教育科目のうち選択必修科目は入学手続時の選択に従い、途中での変更は認めない。
- ロ 研究演習Ⅰの履修登録をした年度以降は専門導入科目の履修登録をすることができない。
- ハ その他の履修に関する事項は「法学部履修心得」による。

Ⅱ 試験内規

1 試験について

- イ 試験は定期試験、追試験、代替試験とし、そのほかに随時行うことがある。
- ロ 定期試験は各学期末に実施する。
- ハ 追試験は、次の事由により定期試験を受けられなかった者に対し一定期間に実施する。ただし、追試験を受験するためには、所定の期日内に証明書、診断書又はその事由を説明する書面等を添えて追試験願を提出し、本学部の許可を得なければならない。
 - a 二親等以内の親族の死亡
 - b 本人の病気
 - c 試験当日の事故
 - d 学校において予防すべき感染症による登校停止
 - e 裁判員制度により、候補者として裁判員等選任手続に参加又は裁判員・補充裁判員として職務に従事する場合
 - f 公共交通機関の遅延又は運行停止等
 - g 学生連盟加盟団体に所属する学生が、各競技等の国内統括団体主催協議会等に参加資格を有し、春学期・秋学期定期試験期間と競技会等の日程が重複する場合
 - h その他、追試験を受けるに相当する理由と教授会が認めるものなお、上記 a、d、e、f、g の場合を除き追試験の評点は20%減じる。
- ニ 代替試験は、自然災害又は公共交通機関の運行停止等の事由により定期試験又は追試験を受けられなかった者に対し一定期間に実施する。ただし、代替試験を受験するためには、所定の期日内に証明書またはその事由を説明する書面等を添えて代替試験願を提出し、本学部および大学の許可を得なければならない。なお、代替試験の評点は減じない。ただし、追試験の代替試験の評点は追試験に準ずる。
- ホ 試験において不正行為を行った者は、当該試験期間の全科目を0点とする。
- ヘ 成績調査について
学業成績について疑義ある場合は、一定期間内に所定の手続により調査を願い出ることができる。

Ⅲ 聴講生・科目等履修生内規

1 聴講生

- イ 本学部の特定の授業科目について聴講を希望する者がある場合、教授会の議を経て聴講生として許可することができる。
- ロ 聴講生の出願および選考に関する事項は別に定める。
- ハ 検定料・受講料は別に定める。
- ニ 聴講生に聴講を許可する授業科目は別に定める。
- ホ 聴講生がその聴講した授業科目の試験を受け、合格した場合は証明書を発行することができる。ただし、単位の修得は認めない。

2 科目等履修生

- イ 本学部の特定の授業科目を履修し、単位の修得を希望する者がある場合、教授会の議を経て科目等履修生として許可することができる。
- ロ 科目等履修生の出願および選考に関する事項は別に定める。
- ハ 検定料・受講料は別に定める。
- ニ 科目等履修生に履修を許可する授業科目は別に定める。
- ホ 科目等履修生がその履修した授業科目の試験を受け、合格した場合は単位を与える。

Ⅳ 転科内規

- 1 転科は、各学科の学生数を勘案し、受け入れ可能な場合に限りこれを認めることがある。
- 2 他学科の第3学年度に転科を希望する場合、転科試験を行い、教授会の議を経てこれを認める。ただし、現在の所属学科における研究演習Ⅰの先修条件を満たさなければならない。
- 3 転科は、第2学年度から第3学年度へ進級する場合のみ可能とする。
- 4 転科試験は、別に定める日程（編入学試験と同日）で実施する。
- 5 試験科目は、別に定める科目（編入学試験と同一問題）とする。
- 6 転科を認められた者は、次年度の4月から認められた学科の所属となる。
- 7 転科を認められなかった者は、現在の所属学科にとどまることができる。
- 8 転科を認められた者は、転科先の卒業条件に従う。

Ⅴ その他

1 学則の適用について

- イ 学則の適用は、原則として、入学年度の学則が適用される。ただし、学則改正が全学年度に適用される場合はこの限りではない。移行措置が講じられた場合は「法学部履修心得」による。
- ロ 編入学生については、入学を許可された学年の学生に適用される学則を適用する。
- ハ 再入学生については、原則として再入学を許可された学年の学生に適用される学則を適用する。

2 学科により選択可能なコースについて

(2021年度以降入学生)

- イ 法律学科生が選択可能なコースは、特修コース、司法・ビジネスコース、公共政策コース、グローバル法政コース、法政社会歴史コースとする。
- ロ 政治学科生が選択可能なコースは、特修コース、公共政策コース、グローバル法政コース、法政社会歴史コースとする。

(2020年度以前入学生)

- イ 法律学科生が選択可能なコースは、司法特修コース、司法コース、企業法務コース、公共政策コース、国際法政コースとする。
- ロ 政治学科生が選択可能なコースは、公共政策コース、国際法政コース、政治システムコースとする。

3 選抜制コースについて

(2021年度以降入学生)

- イ 特修コースを定員50名の選抜制コースとし、法学部1年生を対象に募集を行い、1年次秋学期終了時点の成績に基づいて選考を行う。
- ロ 特修コース内に、法曹養成連携プログラムを置き、所定の手続により登録を可能とする。なお、本プログラムを修了した者には法科大学院特別選抜入学試験による法科大学院への進学を認める。
- ハ 法曹養成連携プログラムを修了するためには、原則として3年次終了時点で、次の要件をすべて満たさなければならない。
 - a 別に定める法曹養成連携プログラムに基づき、必修科目50単位を修得すること。
 - b 別に定める法曹養成連携プログラムに基づき、選択必修科目8単位以上を修得すること。
 - c a、bの必修科目および選択必修科目のGPAが2.50以上であること。
 - d 本法学部内規V（その他）第7条に規定される本学法学部の早期卒業の要件を満たしていること。

(2020年度以前入学生)

- イ 司法特修コースを定員40名の選抜制コースとし、法律学科1年生を対象に募集を行い、1年次秋学期終了時点の成績に基づいて選考を行う。
- ロ 司法特修コース内に、法曹養成連携プログラムを置き、所定の手続により登録を可能とする。なお、本プログラムを修了した者には法科大学院特別選抜入学試験による法科大学院への進学を認める。
- ハ 法曹養成連携プログラムを修了するためには、原則として3年次終了時点で、次の要件をすべて満たさなければならない。
 - a 別に定める法曹養成連携プログラムに基づき、必修科目50単位を修得すること。
 - b 別に定める法曹養成連携プログラムに基づき、選択必修科目8単位以上を修得すること。
 - c a、bの必修科目および選択必修科目のGPAが2.50以上であること。
 - d 本法学部内規V（その他）第7条に規定される本学法学部の早期卒業の要件を満たしていること。

4 第4学年度編入学について

学則第46条第3項に規定される第4学年度への編入学については、2004年度以降入学生のマルチプル・ディグリー制度適用者とする。

5 単位認定について

- イ 学則第19条に規定される授業科目の単位は、別に定める基準により、本学部において修得した単位とみなして認定する。国内協定大学において修得した授業科目は国内協定大学科目（専門科目群または基礎科目群）として認定するものとする。
- ロ 学則第20条に規定される授業科目の単位は、別に定める基準により、本学部において修得した単位とみなして認定する。交換留学、長期留学又は認定留学によって修得した授業科目は外国大学科目（専門科目群または基礎科目群）、外国語研修プログラムによって修得した授業科目は外国大学科目（基礎科目群）として認定するものとする。
- ハ 学則第21条に規定される単位認定については次のとおりとする。
 - a ①第3学年度編入学生については、出身校で修得した授業科目の単位を別に定める基準により、本学部において修得した単位とみなして認定する。

- ②第4学年度編入学生の基礎科目群の単位については、卒業に必要なキリスト教科目および言語科目の単位を含めて50単位を修得したものとして一括認定する。
- ③第4学年度編入学生の卒業に必要なスタディスキル演習又はスタートアップ演習の単位については、修得したものとして一括認定する。
- ④編入学前に修得した本学部開講の専門教育科目に関しては個別認定する。なお、出身学部で修得した専門教育科目については本学部の専門教育科目に個別認定することもある。
- ⑤編入学前に出身学部において修得した、教職等関連科目に関しては個別認定することもある。

b 編入学生以外の者については、第3学年度編入学生に準じて単位認定を行う。

ニ 単位認定について疑義ある場合は、学業成績について疑義ある場合に準ずる。ただし、調査を願い出ることができる期間は単位認定の結果発表日から14日間とする。

6 交換留学生、長期留学生又は認定留学生の卒業時期について

第4学年度生で、本学の交換留学、長期留学又は認定留学制度により留学し、留学中に卒業要件を満たした場合の卒業時期は、帰学後の9月以降とする。また、留学中に修得した単位の認定により卒業要件を満たした場合の卒業時期も、帰学後の9月以降とする。

ただし、単位認定が10月以降となった場合の卒業時期は翌年3月以降とする。

7 在学期間が3年以上4年未満での卒業について

次の要件をすべて満たした場合、学則第7条第2項に規定する卒業を認めることができる。

- イ 本学部に3年以上在学し（休学期間は在学期間に算入しない）、卒業に必要な単位をすべて修得すること。
- ロ 卒業に必要な単位に含むことのできる科目の平均点が80点以上またはGPAが2.50以上であること。
- ハ 本学大学院法学研究科の前期課程一般入学試験、前期課程特別入学制度入学試験または本学専門職大学院司法研究科の入学試験または本学専門職大学院経営戦略研究科の入学試験またはマルチプル・ディグリー制度による本学他学部の編入学試験に合格すること。

春学期

時間割プラン作成用紙（本人控）

		月	火	水	木	金
I	春 通年	科目名				
		担当者	単位			
II	春 通年					
III	春 通年					
IV	春 通年					
V	春 通年					

集中講義				

春 _____ 単位

- ・ 通年科目の単位数は各学期 2 分の 1 で計算します。（通年 4 単位：春 2 単位、秋 2 単位と計算）
- ・ 集中講義科目は開講学期の単位数に算入します。

秋学期

時間割プラン作成用紙（本人控）

		月	火	水	木	金
I	秋	科目名				
		担当者	単位			
II	秋					
III	秋					
IV	秋					
V	秋					

集中講義				

秋 _____ 単位

- ・ 通年科目の単位数は各学期 2 分の 1 で計算します。（通年 4 単位：春 2 単位、秋 2 単位と計算）
- ・ 集中講義科目は開講学期の単位数に算入します。

